

令和 5 年度調査
「血液製剤使用実態調査」(千葉県)

令和 7 年 11 月

千葉県合同輸血療法委員会

「血液製剤使用実態調査」（千葉県）データ解析

【目的】

千葉県の血液製剤適正使用推進事業の検討のため

【対象施設】

令和５年度「血液製剤使用実態調査」（別添）に回答した施設

【対象期間】

令和４年度（２０２２年４月１日～２０２３年３月３１日）

【方法】

厚生労働省委託事業「輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査」より千葉県のデータを取得し、全国の状況と比較・検討を行う。

【調査結果】

１ 医療機関の概要について

（１）病床数（表１）

表１．輸血実施施設の病床数別分類

	０～１９床	２０～１９９床	２００～４９９床	５００床以上	合計
回答施設数	４７	７３	３６	１３	１６９

（２）医療機関の種類について（複数回答あり）（表２）

表２．輸血施設種類別にみた病床ごとの施設数

	０～１９床	２０～１９９床	２００～４９９床	５００床以上	合計
地域医療支援病院	０	６	７	９	２２
特定機能病院	０	０	１	５	６
臨床研究中核病院	０	０	１	３	４
一般病院	３	６７	２７	４	１０１
診療所	４１	１	０	０	４２
へき地医療拠点病院	０	０	０	０	０
その他	３	２	２	０	７

(3) 診療科について（複数回答あり）（表3）

表3. 施設規模別の診療科の割合（%）

	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500 床以上		全体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
心臓血管外科	1	2.22	6	8.33	18	50.00	13	100.00	38	22.89
消化器外科	3	6.67	36	50.00	23	63.89	13	100.00	75	45.18
脳神経外科	4	8.89	28	38.89	27	75.00	13	100.00	72	43.37
呼吸器外科	0	0.00	7	9.72	12	33.33	13	100.00	32	19.28
整形外科	6	13.33	58	80.56	35	97.22	13	100.00	112	67.47
産婦人科	7	15.56	15	20.83	21	58.33	13	100.00	56	33.73
皮膚科・形成外科	6	13.33	34	47.22	30	83.33	13	100.00	83	50.00
泌尿器科	10	22.22	40	55.56	34	94.44	13	100.00	97	58.43
その他外科	6	13.33	23	31.94	24	66.67	12	92.31	65	39.16
血液内科	1	2.22	9	12.50	16	44.44	12	92.31	38	22.89
循環器内科	6	13.33	45	62.50	31	86.11	13	100.00	95	57.23
消化器内科	9	20.00	41	56.94	31	86.11	13	100.00	94	56.63
呼吸器内科	6	13.33	33	45.83	28	77.78	13	100.00	80	48.19
腎臓内科	19	42.22	23	31.94	19	52.78	11	84.62	72	43.37
神経内科	3	6.67	24	33.33	25	69.44	12	92.31	64	38.55
膠原病リウマチ科	2	4.44	13	18.06	17	47.22	11	84.62	43	25.90
内分泌代謝科	5	11.11	21	29.17	22	61.11	12	92.31	60	36.14
その他の内科	17	37.78	27	37.50	24	66.67	12	92.31	80	48.19
精神科・心療内科	5	11.11	12	16.67	18	50.00	12	92.31	47	28.31
小児科	4	8.89	19	26.39	29	80.56	13	100.00	65	39.16
腫瘍治療科	0	0.00	1	1.39	4	11.11	8	61.54	13	7.83
救急科	0	0.00	11	15.28	23	63.89	13	100.00	47	28.31
歯科・口腔外科	2	4.44	13	18.06	17	47.22	12	92.31	44	26.51
その他の診療科	3	6.67	13	18.06	13	36.11	9	69.23	38	22.89
回答施設合計	43		72		36		13		166	

2 血液製剤の納入状況

(1) 各製剤の購入量

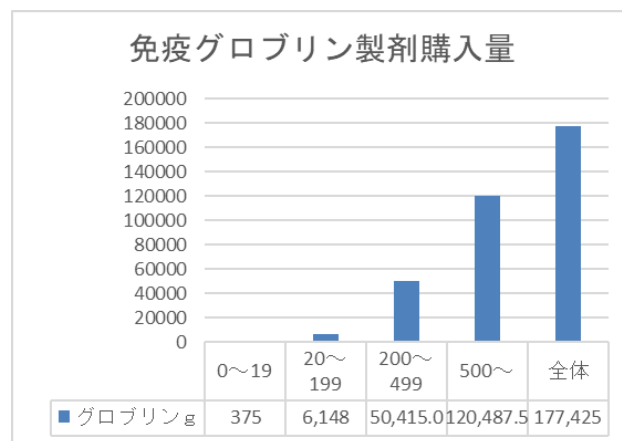
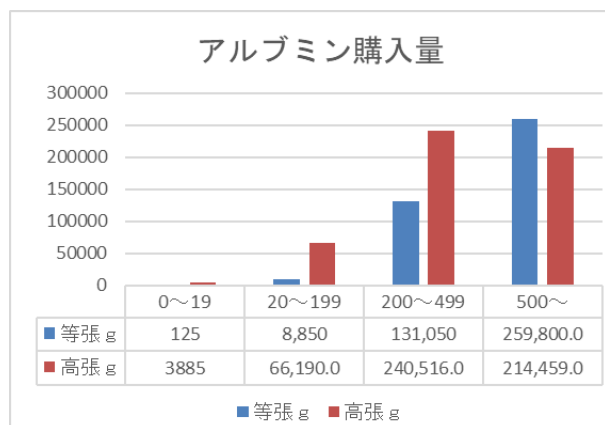
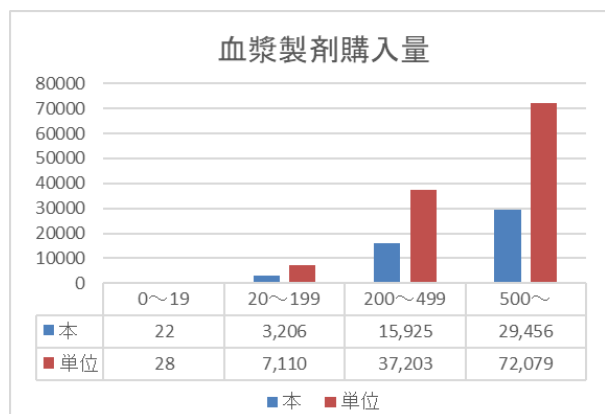
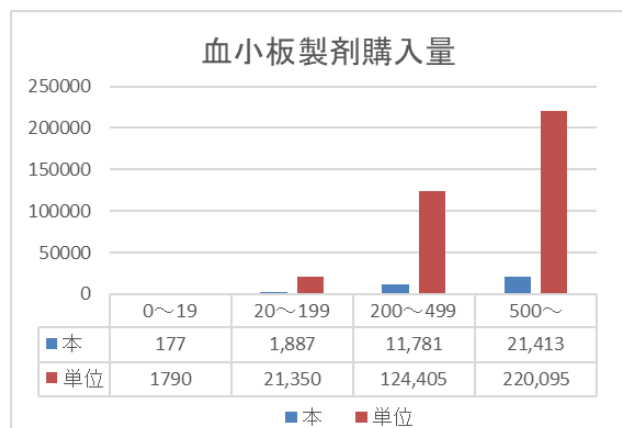
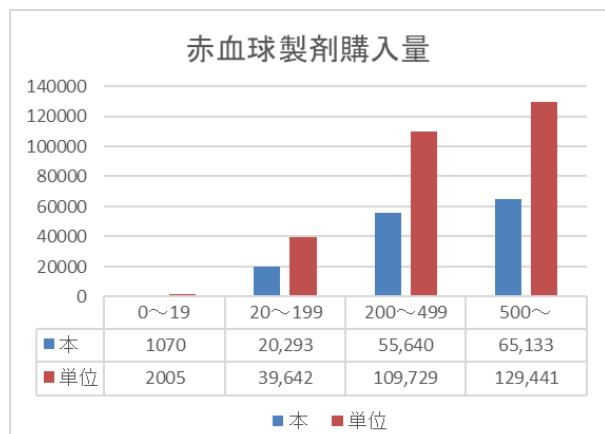
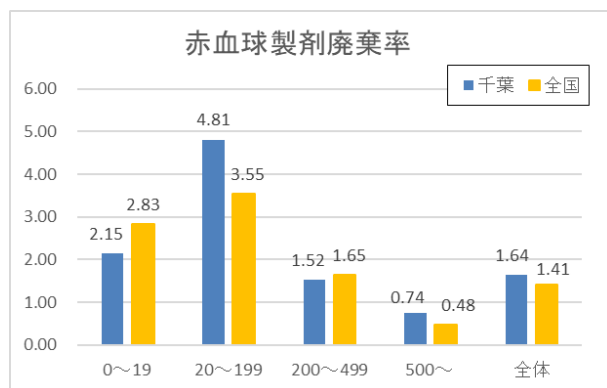


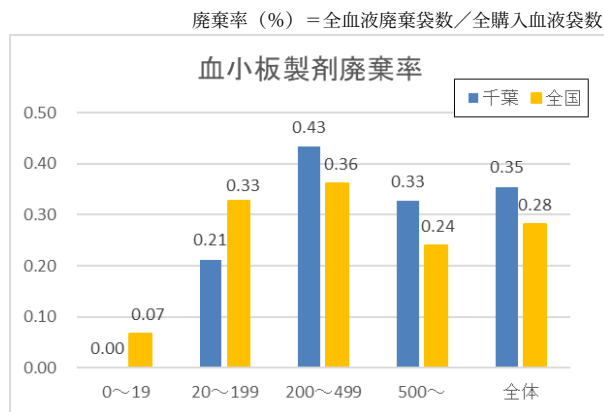
図1. 血液製剤購入

この調査では、いずれも施設規模が大きくなるほど購入量が多かった（図1）。

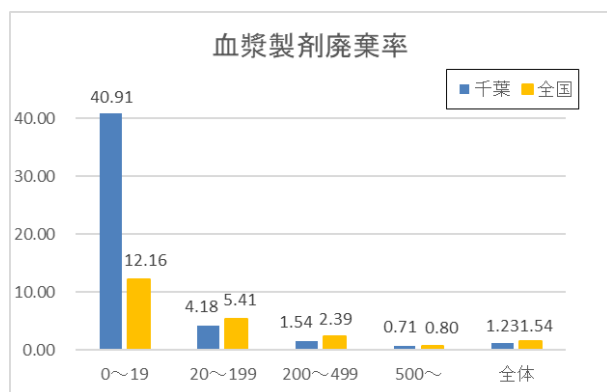
(2) 各製剤の廃棄率と廃棄理由



項目	0～19	20～199	200～499	500～	合計(件数)
有効期限切れ	7	882	654	313	1856
破損	0	1	9	13	23
保管管理不良	0	8	25	68	101
転用ができない	9	43	37	31	120
その他	3	3	2	27	35



項目	0～19	20～199	200～499	500～	合計(件数)
有効期限切れ	0	1	32	33	66
破損	0	0	0	3	3
保管管理不良	0	0	1	3	4
転用ができない	0	2	12	20	34
その他	0	1	4	11	16



項目	0～19	20～199	200～499	500～	合計(件数)
有効期限切れ	9	104	172	40	325
破損	0	5	26	55	86
保管管理不良	0	3	9	23	35
転用ができない	0	11	20	73	104
その他	0	2	10	14	26

図2－1．製剤別廃棄率(%)と廃棄理由

廃棄率について、千葉県全体では赤血球製剤と血小板製剤で全国より高い結果であった。赤血球製剤は20～199床において高い傾向がみられた。廃棄理由としては「有効期限切れ」が最も多く、次いで「転用ができない」「保管管理不良」であった。500床以上においては「保管管理不良」による廃棄が多い傾向を示した。血小板製剤は200～499床及び500床以上の中規模・大規模施設において高い傾向となった。血漿製剤は0～19床の施設で高い結果となった。廃棄理由としては他の製剤に比べ「破損」による廃棄が多い傾向であった。(図2－1)

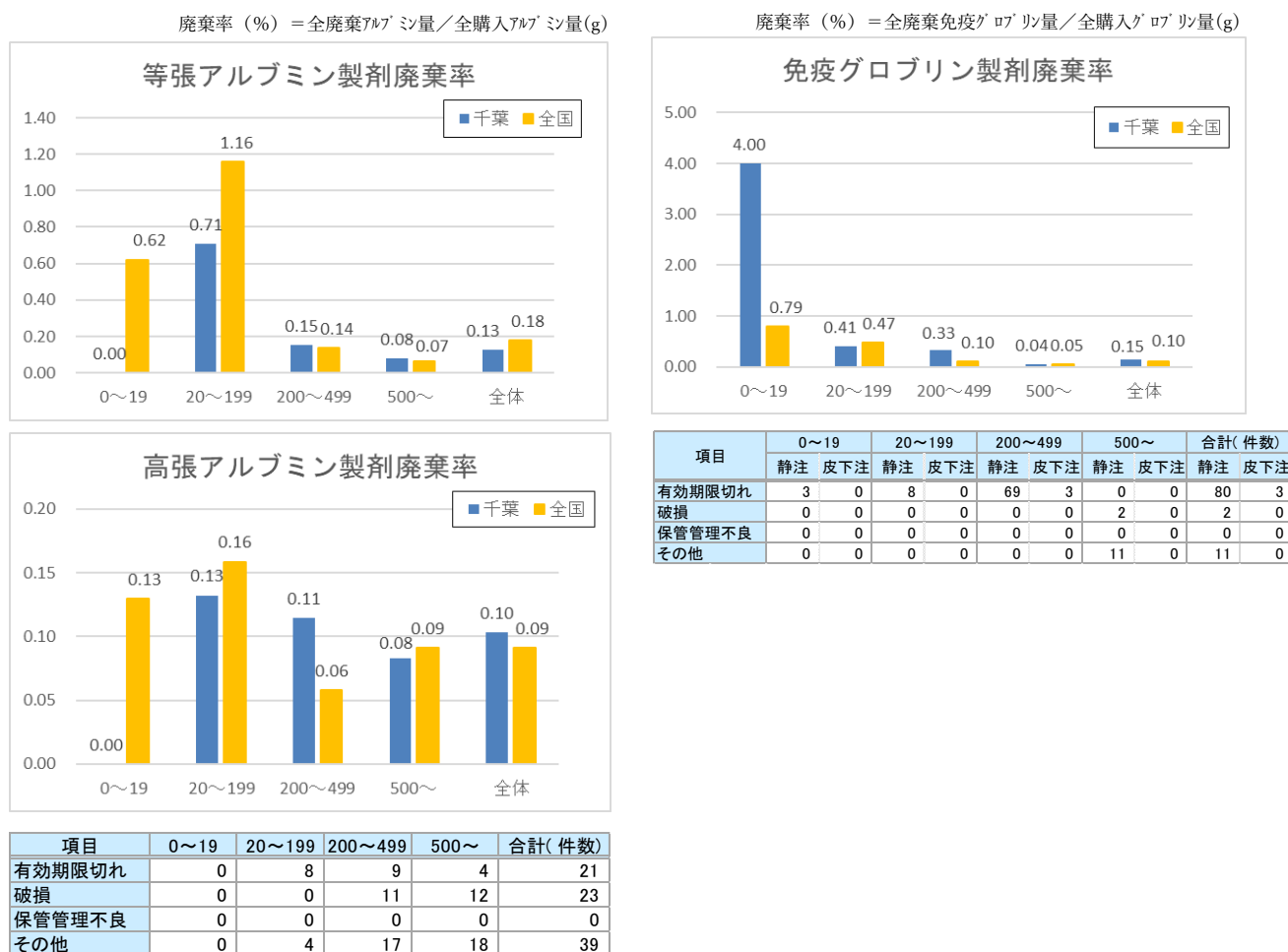


図 2－2．製剤別廃棄率（％）と廃棄理由

等張アルブミン製剤は 20～199 床の施設で高い傾向であったが、全体として全国より低い結果であった。高張アルブミン製剤は 0～19 床を除く施設で 0.1%前後と同程度の廃棄率であり、「破損」による廃棄が多い傾向であった。免疫グロブリン製剤では、0～19 床の施設で高い結果となったが、これは 1 施設による廃棄であった。（図 2－2）

3 輸血用血液製剤の使用実態について

(1) 年間の輸血用血液製剤の投与本数（製剤別・診療科別）

①赤血球製剤

赤血球製剤は、対象施設の総数として1単位製剤が3,574本、2単位製剤が139,432本、解凍赤血球液の2単位製剤が3本であり、すべてを合わせた使用本数が143,006本、総使用単位数は282,438単位であった。また、合成血液の使用はなかった（表4）。

表4. 赤血球製剤の総使用量

製剤 病床数	赤血球液		洗浄赤血球液		解凍赤血球液		合成血液		赤血球製剤 (本数・単位) 合計
	LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	
(本)	0～19	118	842	1	0	0	1	0	962
	20～199	1024	18247	4	50	0	2	0	19327
	200～499	1559	53977	0	39	0	0	0	55575
	500～	868	66271	0	3	0	0	0	67142
	総計	3569	139337	5	92	0	3	0	143006
(単位)	0～19	118	1684	1	0	0	2	0	1805
	20～199	1024	36494	4	100	0	4	0	37626
	200～499	1559	107954	0	78	0	0	0	109591
	500～	868	132542	0	6	0	0	0	133416
	総計	3569	278674	5	184	0	6	0	282438

診療科別の使用単位は、血液内科が最多で42,264単位（16.66%）、次いで心臓血管外科が39,379単位（15.52%）、その他の内科が27,571単位（10.86%）と消化器内科が19,940単位（7.86%）と続いた（図3、表7）。

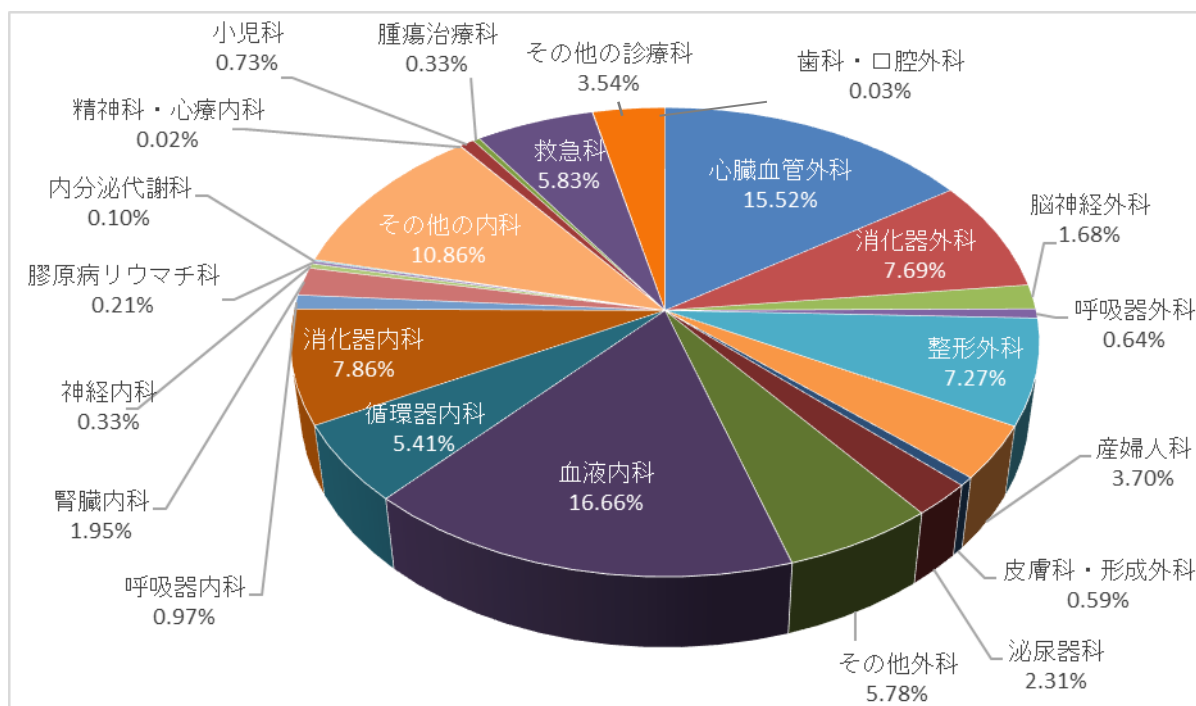


図3. 赤血球製剤の診療科別使用単位数 (%)

②血小板製剤

血小板製剤は、対象施設の総数が 34,986 本、総使用単位数は 364,855 単位であった。製剤別では 1 単位製剤及び 2 単位製剤の使用はなく、5 単位製剤は 198 本、10 単位製剤（PC-HLA、照射洗浄 PC、照射洗浄 PC-HLA を含む）は 33,146 本、15 単位製剤（PC-HLA 含む）が 87 本、20 単位製剤（PC-HLA を含む）が 1,555 本であった（表 5）。PC-HLA と洗浄血小板を除く血小板のうち、95%は 10 単位製剤が使用されていた。

表 5. 血小板製剤の総使用量

製剤 病床数		製剤											合計
		LR-1	LR-2	LR-5	LR-10	LR-15	LR-20	PC-HLA -LR-10	PC-HLA -LR-15	PC-HLA -LR-20	Ir-WPC -LR-10	Ir-WPC -HLA -LR-10	
(本)	1～19	0	0	0	175	0	2	0	0	0	0	0	177
	20～199	0	0	6	1535	10	147	32	7	92	34	0	1863
	200～499	0	0	114	10506	45	681	173	4	7	7	0	11537
	500～	0	0	78	20192	20	624	222	1	2	270	0	21409
	総計	0	0	198	32408	75	1454	427	12	101	311	0	34986
(単位)	1～19	0	0	0	1750	0	40	0	0	0	0	0	1790
	20～199	0	0	30	15350	150	2940	320	105	1840	340	0	21075
	200～499	0	0	570	105060	675	13620	1730	60	140	70	0	121925
	500～	0	0	390	201920	300	12480	2220	15	40	2700	0	220065
	総計	0	0	990	324080	1125	29080	4270	180	2020	3110	0	364855

診療科別の使用単位は、血液内科が最多で 163,600 単位（50.05%）次いで心臓血管外科が 54,535 単位（16.68%）、その他の内科が 37,215 単位（11.39%）、小児科が 11,185 単位（3.42%）と続いた（図 4、表 7）。

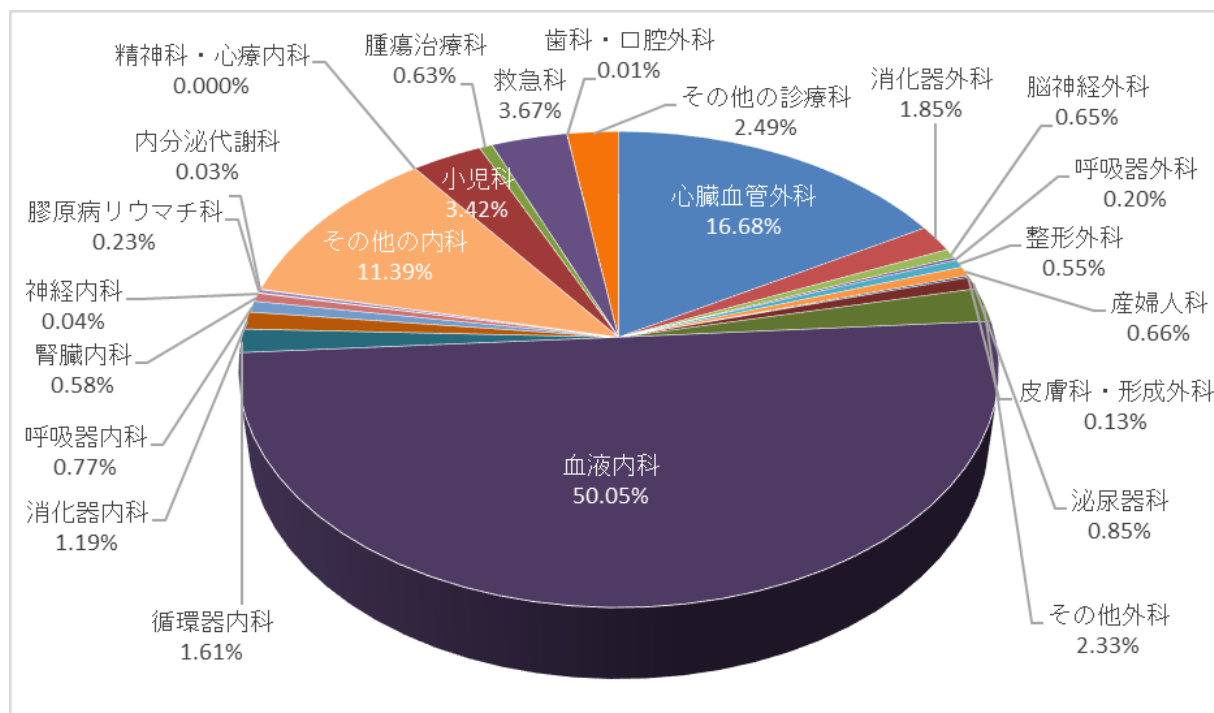


図 4. 血小板製剤の診療科別使用単位数 (%)

③血漿製剤

血漿製剤は、対象施設の総数が 47,461 本、総使用単位数は 113,048 単位であった。製剤別は 120mL 製剤が 698 本、240mL 製剤が 37,351 本、480mL 製剤が 9,412 本であった（表 6）。

表 6．血漿製剤の使用量

製剤 病床数		LR-120	LR-240	LR-480	合計
(本)	0～19	4	8	0	12
	20～199	14	2767	348	3129
	200～499	595	12058	2951	15604
	500～	85	22518	6113	28716
	総計	698	37351	9412	47461
(単位)	0～19	4	16	0	20
	20～199	14	5534	1392	6940
	200～499	595	24116	11804	36515
	500～	85	45036	24452	69573
	総計	698	74702	37648	113048

診療科別の使用単位は、心臓血管外科が最多で 38,735 単位（35.95%）、次いで、救急科が 14,796 単位（13.73%）その他の外科が 9,497 単位（8.82%）さらに消化器外科が 8,334 単位（7.74%）と続いた（図 5、表 7）。

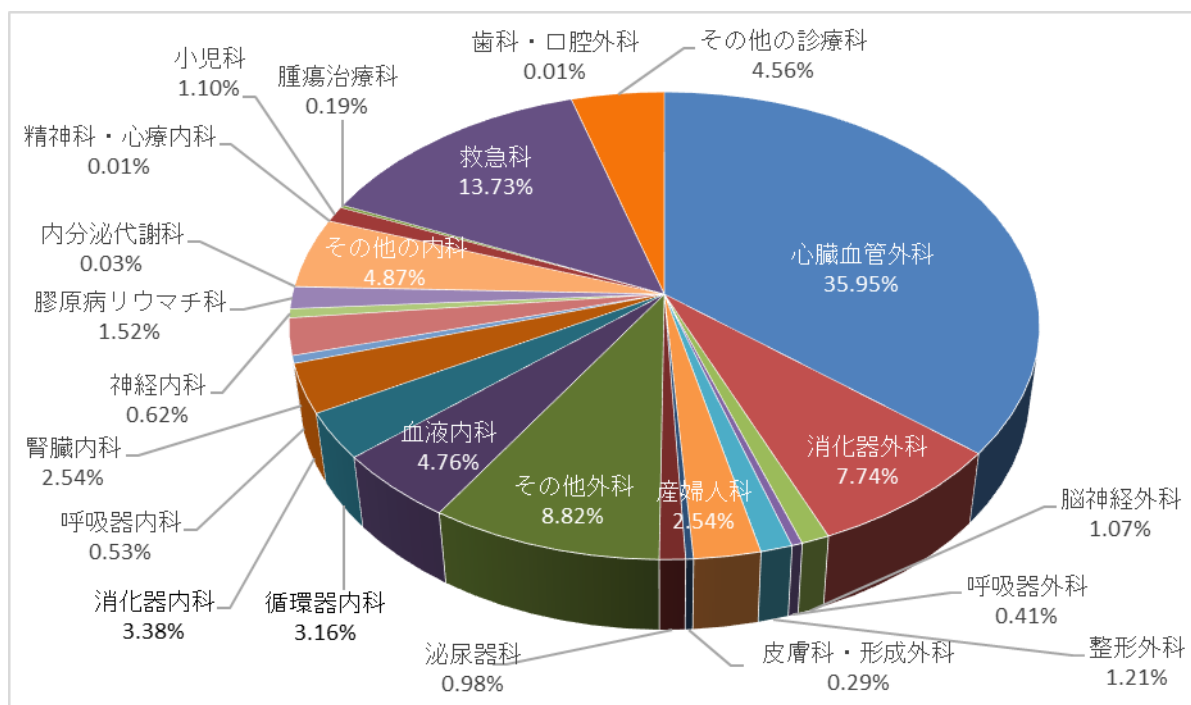


図 5．血漿製剤の診療科別使用単位数 (%)

④免疫グロブリン製剤の使用実績について

診療科別免疫グロブリン使用量は、神経内科、血液内科、小児科の順で多く使用されていた（図6）。疾患別件数では、低・無ガンマグロブリン血症、重症感染症、川崎病の順で使用されていた（図7、表7）。

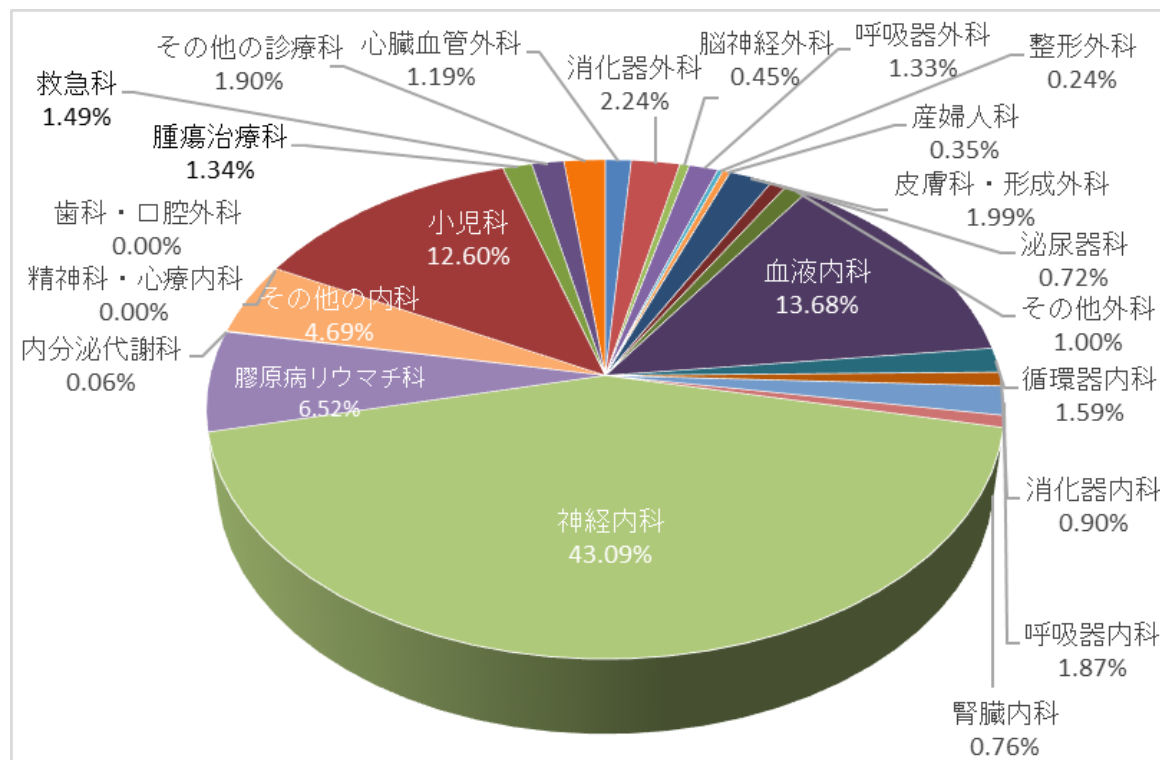


図6. 診療科別免疫グロブリン使用量

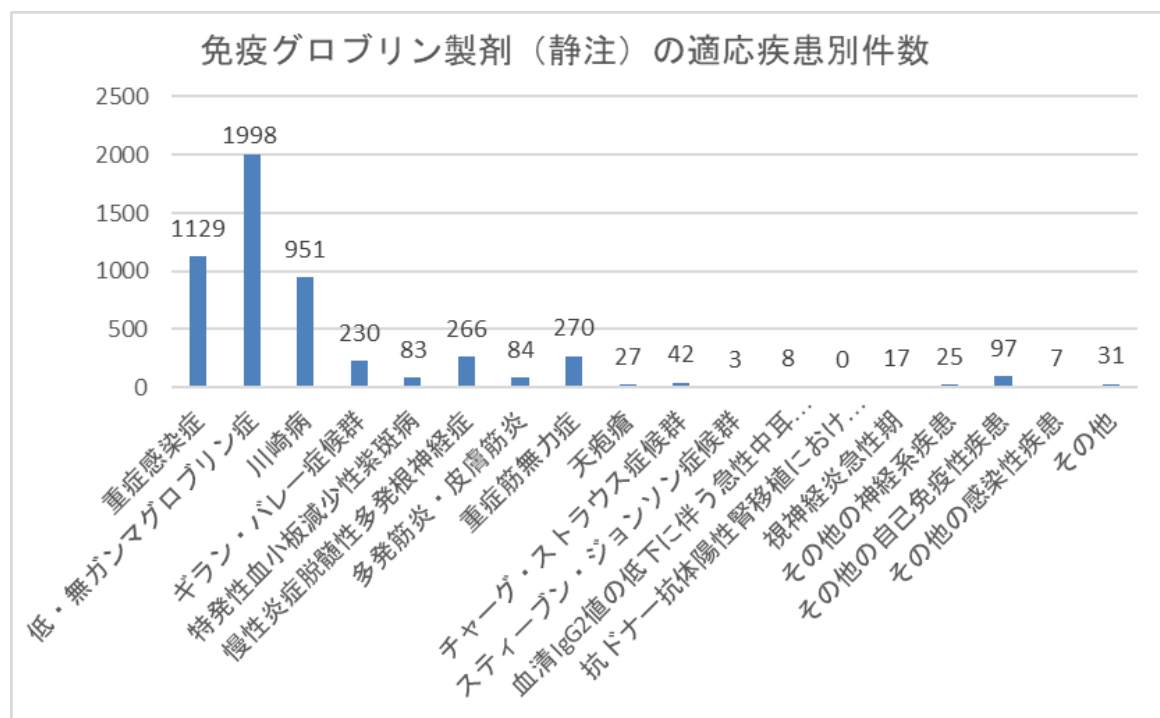


図7. 適応疾患別件数

表 7 診療科別の血液製剤使用割合（％）

	①赤血球製剤	②血小板製剤	③血漿製剤	④免疫グロブリン製剤
心臓血管外科	15.52	16.68	35.95	1.19
消化器外科	7.69	1.85	7.74	2.24
脳神経外科	1.68	0.65	1.07	0.45
呼吸器外科	0.64	0.20	0.41	1.33
整形外科	7.27	0.55	1.21	0.24
産婦人科	3.70	0.66	2.54	0.35
皮膚科・形成外科	0.59	0.13	0.29	1.99
泌尿器科	2.31	0.85	0.98	0.72
その他外科	5.78	2.33	8.82	1.00
血液内科	16.66	50.05	4.76	13.68
循環器内科	5.41	1.61	3.16	1.59
消化器内科	7.86	1.19	3.38	0.90
呼吸器内科	0.97	0.77	0.53	1.87
腎臓内科	1.95	0.58	2.54	0.76
神経内科	0.33	0.04	0.62	43.09
膠原病リウマチ科	0.21	0.23	1.52	6.52
内分泌代謝科	0.10	0.03	0.03	0.06
その他の内科	10.86	11.39	4.87	4.69
精神科・心療内科	0.02	0.00	0.01	0.00
小児科	0.73	3.42	1.10	12.60
腫瘍治療科	0.33	0.63	0.19	1.34
救急科	5.83	3.67	13.73	1.49
歯科・口腔外科	0.03	0.01	0.01	0.00
その他の診療科	3.54	2.49	4.56	1.90
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

⑤アルブミン製剤の使用実績について

アルブミン製剤は、等張 361,382.5 g、高張 477,335.5 g、全体 838,718 g であった。国産、海外・献血、海外・非献血、その他でみたアルブミン原料血漿別割合は等張製剤：26.7%、62.9%、10.4%、0.0%、高張製剤：72.8%、0.6%、26.3%、0.2%、全体：53.0%、27.5%、19.4%、0.1%であった（表 8、図 8）。

表 8. アルブミン製剤の使用割合（%）

	等張製剤	高張製剤	全体
国産	26.7	72.8	53.0
海外・献血	62.9	0.6	27.5
海外・非献血	10.4	26.3	19.4
国産・海外不明	0.0	0.2	0.1
合計	100.0	100.0	100.0

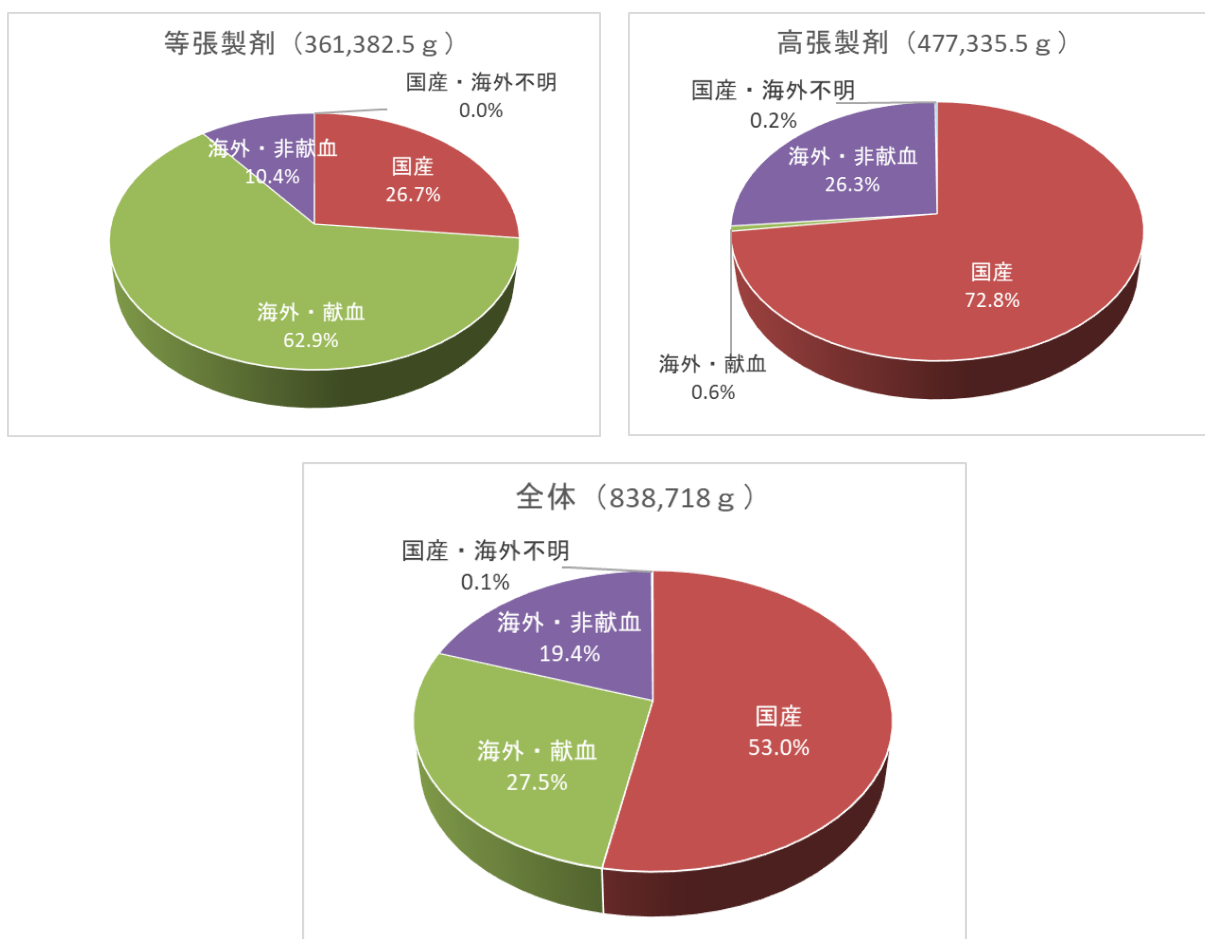


図 8. アルブミン原料血漿別割合

4 製剤別 1 病床あたりの年間使用量

製剤別の 1 病床あたりの年間使用量を図 9～13 に示す。

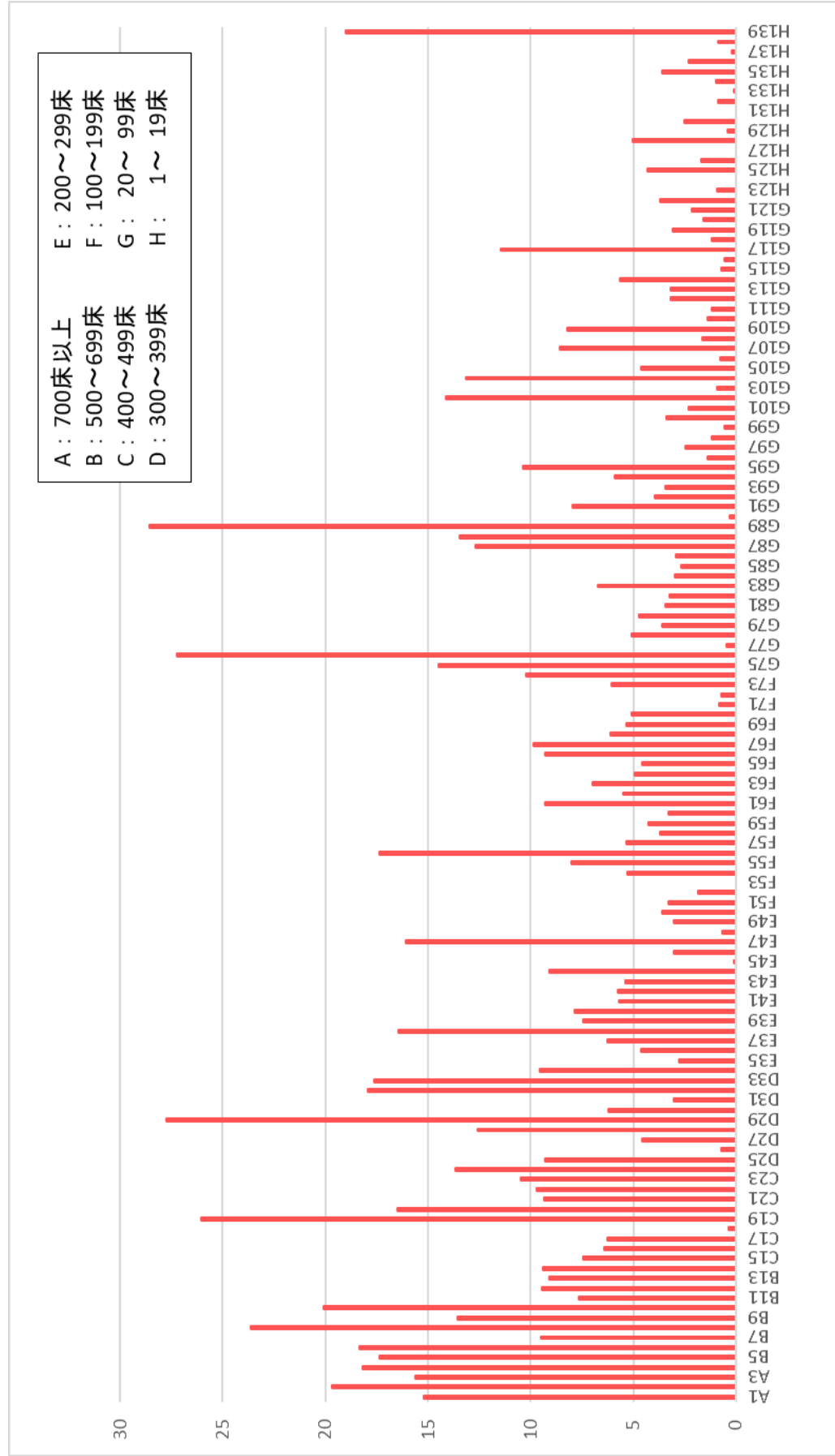


図 9. 【赤血球製剤】 1 病床あたりの年間使用量 (単位/床)

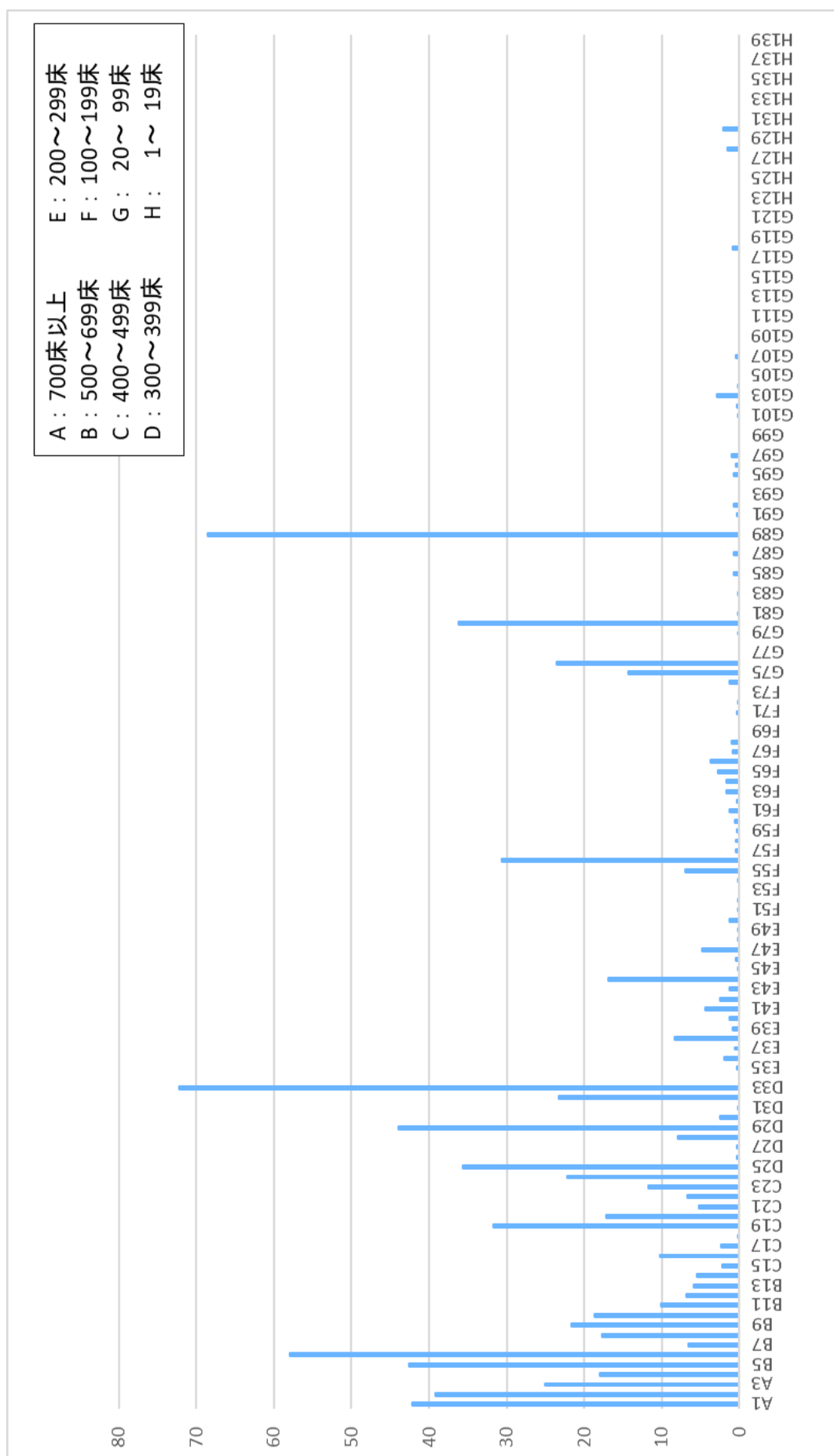


図 10. 【血小板製剤】 1 病床あたりの年間使用量 (単位/床)

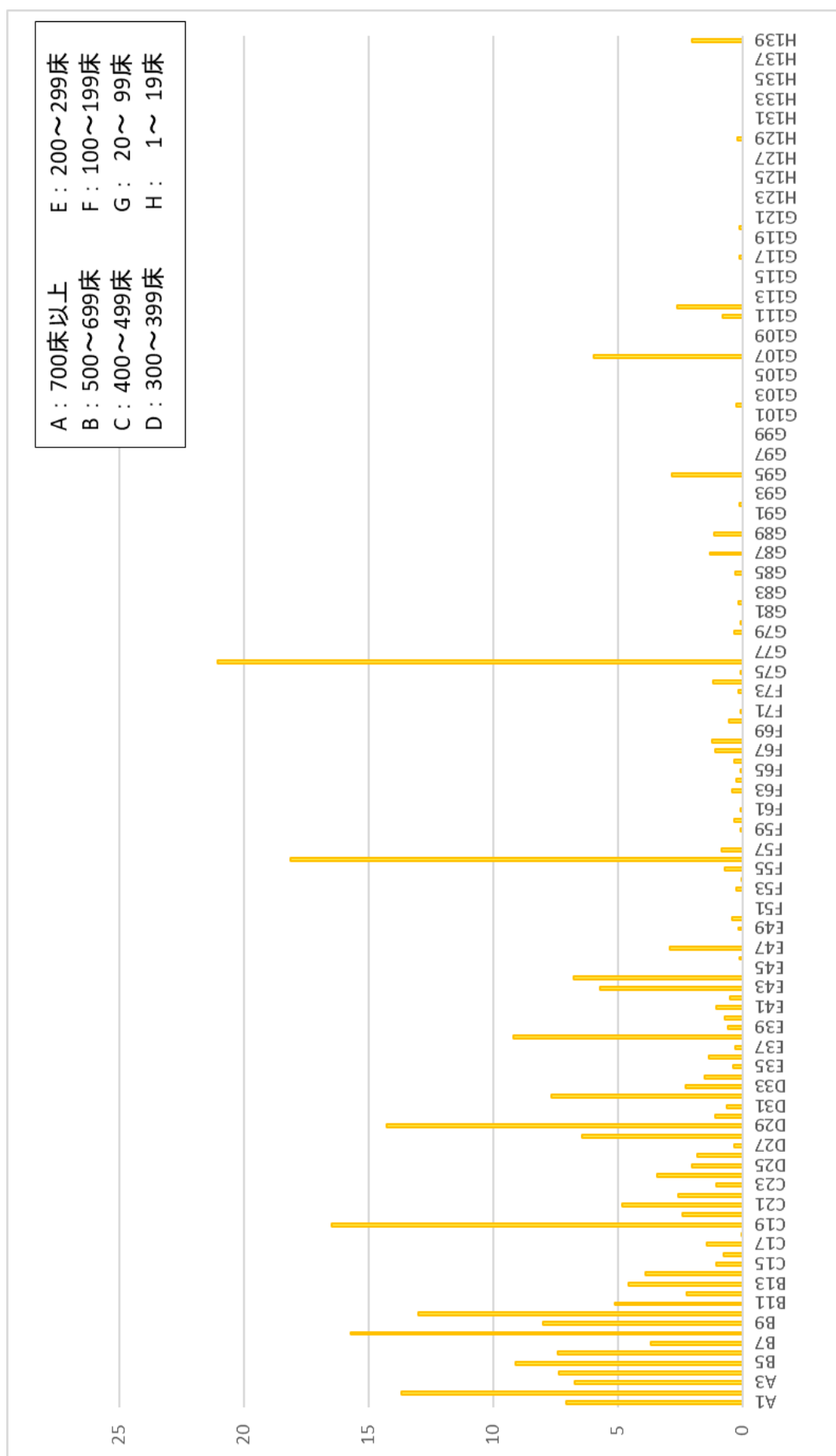


図 11. 【血漿製剤】 1 病床あたりの年間使用量 (単位/床)

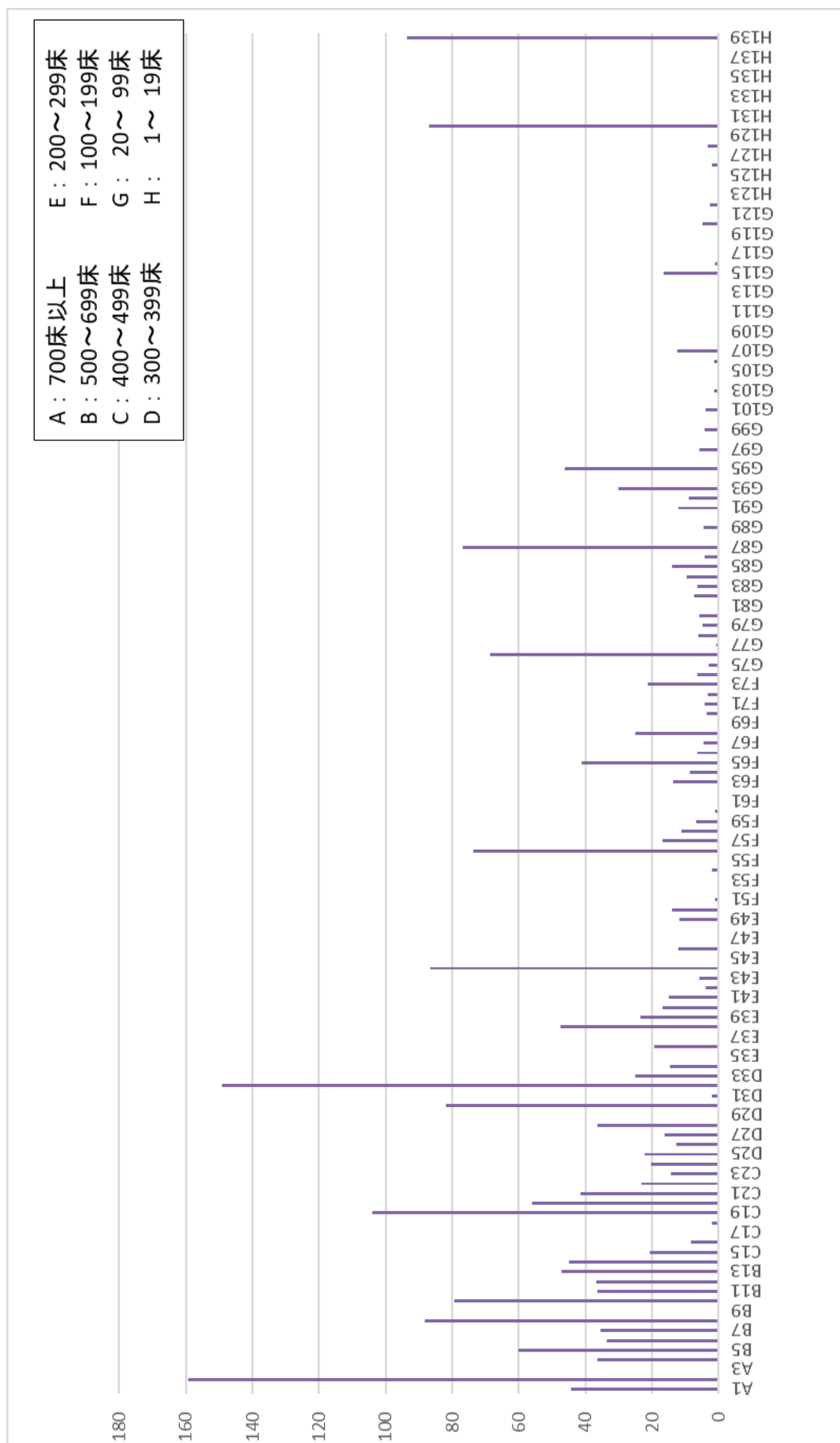


図 12. 【総アルブミン使用量】 1 病床あたりの年間使用量 (g/床)

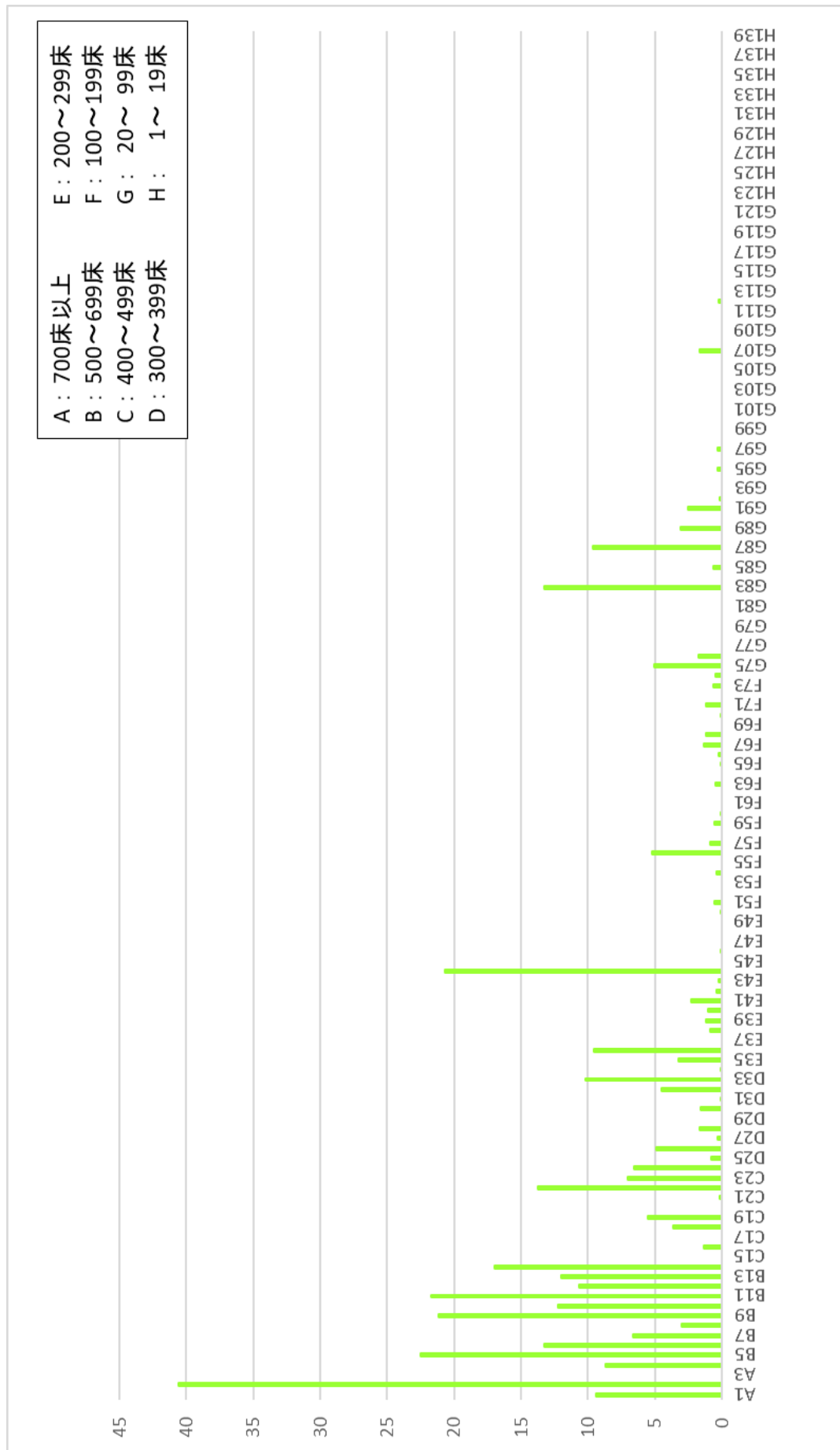


図 13. 【免疫グロブリン使用量】 1 病床あたりの年間使用量（g／床）

5 千葉県と全国の比較

(1) 製剤別購入量 (表9～15)

<赤血球製剤>

表9. 千葉県と全国の「赤血球製剤の購入総袋(本)数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0～19床	44	1	342	24.32	1070	52.98
	20～199床	70	10	1652	289.90	20293	316.29
	200～499床	35	76	5629	1589.71	55640	1249.28
	500床以上	13	1	7963	5010.23	65133	2340.17
	全体	162	1	7963	877.38	142136	1618.58
赤血球製剤総単位数	0～19床	44	1	684	45.57	2005	104.84
	20～199床	70	20	3304	566.31	39642	628.71
	200～499床	35	144	11214	3135.11	109729	2502.25
	500床以上	13	2	15845	9957.00	129441	4682.69
	全体	162	1	15845	1733.44	280817	3222.96

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0～19床	1343	1	1055	28.30	38003	58.73
	20～199床	2143	1	1851	184.37	395096	233.90
	200～499床	750	1	10875	1295.36	971521	1095.94
	500床以上	263	1	12945	4618.43	1214648	2252.95
	全体	4499	1	12945	582.19	2619268	1314.20
赤血球製剤総単位数	0～19床	1343	1	2110	53.36	71667	115.30
	20～199床	2143	1	3701	355.12	761016	454.42
	200～499床	750	2	21750	2552.39	1914289	2177.12
	500床以上	263	2	25887	9127.12	2400433	4444.92
	全体	4499	1	25887	1144.12	5147405	2598.29

<血小板製剤>

表10. 千葉県と全国の「血小板製剤の購入総袋(本)数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0～19床	4	3	158	44.25	177	75.94
	20～199床	40	1	473	47.18	1887	109.00
	200～499床	35	2	2142	336.60	11781	507.14
	500床以上	13	279	3777	1647.15	21413	1282.91
	全体	92	1	3777	383.24	35258	775.99
血小板製剤総単位数	0～19床	4	30	1580	447.50	1790	756.63
	20～199床	40	10	5090	533.75	21350	1215.32
	200～499床	35	20	22170	3554.43	124405	5306.73
	500床以上	13	2995	38280	16930.38	220095	12886.33
	全体	92	10	38280	3996.09	367640	7928.98

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0～19床	170	1	966	26.70	4539	110.67
	20～199床	1231	1	3184	34.70	42719	134.73
	200～499床	713	1	4158	308.95	220278	486.18
	500床以上	260	2	11617	1736.28	451434	1374.02
	全体	2374	1	11617	302.85	718970	745.09
血小板製剤総単位数	0～19床	170	1	9660	274.50	46665	1110.72
	20～199床	1231	1	31275	367.63	452554	1361.21
	200～499床	713	4	58180	3298.96	2352160	5360.29
	500床以上	260	20	115975	18140.57	4716549	14224.65
	全体	2374	1	115975	3187.84	7567928	7809.52

<血漿製剤>

表 11. 千葉県と全国の「血漿製剤の購入総袋（本）数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0～19床	3	2	16	7.33	22	7.57
	20～199床	36	0	1239	89.06	3206	260.00
	200～499床	34	5	2027	468.38	15925	514.25
	500床以上	13	581	5631	2265.85	29456	1351.50
	全体	86	0	5631	565.22	48609	970.29
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0～19床	3	4	16	9.33	28	6.11
	20～199床	36	0	3040	197.50	7110	593.43
	200～499床	34	7	7096	1094.21	37203	1465.00
	500床以上	13	1282	12671	5544.54	72079	3124.83
	全体	86	0	12671	1353.72	116420	2387.43

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0～19床	114	1	424	22.01	2509	56.39
	20～199床	870	1	1991	45.18	39304	134.02
	200～499床	695	1	4541	312.27	217029	494.54
	500床以上	259	3	13286	1866.99	483551	1580.08
	全体	1938	1	13286	383.07	742393	885.21
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0～19床	114	1	968	47.73	5441	138.57
	20～199床	870	1	3986	99.01	86139	282.08
	200～499床	695	2	10870	729.11	506732	1137.13
	500床以上	259	6	25912	4616.53	1195682	3772.15
	全体	1938	1	25912	925.69	1793994	2140.80

<アルブミン製剤>

表 12. 千葉県と全国の「アルブミン製剤の購入量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0～19床	10	0.0	125.0	0.00	125.0	39.53
	20～199床	48	0.0	4500.0	184.38	8850.0	687.64
	200～499床	33	0.0	31375.0	3971.21	131050.0	6980.16
	500床以上	12	4125.0	78375.0	21650.00	259800.0	20204.98
	全体	93	0.0	78375.0	3881.80	399825.0	10226.22
高張アルブミン製剤 (20%)	0～19床	10	0.0	320.0	41.00	410.0	100.05
	20～199床	49	0.0	2840.0	240.61	11790.0	658.49
	200～499床	33	0.0	28520.0	4120.18	135966.0	7384.49
	500床以上	12	0.0	42400.0	4875.33	58504.0	12355.65
	全体	104	0.0	42400.0	1987.21	206670.0	6139.76
高張アルブミン製剤 (25%)	0～19床	10	0.0	1650.0	347.50	3475.0	579.30
	20～199床	48	0.0	12375.0	1133.33	54400.0	2113.40
	200～499床	33	0.0	19000.0	3168.18	104550.0	4721.35
	500床以上	12	600.0	21500.0	12996.25	155955.0	5703.17
	全体	103	0.0	21500.0	3091.07	318380.0	5164.77
アルブミン製剤合計	0～19床	10	30.0	1650.0	401.00	4010.0	552.00
	20～199床	50	12.5	13375.0	1500.80	75040.0	2308.22
	200～499床	33	100.0	47720.0	11259.58	371566.0	12648.09
	500床以上	12	20100.0	128000.0	39521.58	474259.0	30029.13
	全体	105	12.5	128000.0	8808.33	924875.0	17039.82

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0～19床	35	5.0	5287.5	459.71	16090.0	1186.23
	20～199床	516	5.0	14000.0	638.28	329350.0	1267.24
	200～499床	518	12.5	57000.0	3967.76	2055297.5	5876.33
	500床以上	247	487.5	113250.0	17473.98	4316072.5	15769.89
	全体	1316	5.0	113250.0	5103.96	6716810.0	9920.38
高張アルブミン製剤 (20%)	0～19床	59	10.0	2360.0	358.92	21176.0	498.24
	20～199床	350	8.0	14550.0	1172.21	410274.0	1840.49
	200～499床	242	4.0	42310.0	6040.05	1461692.0	6045.73
	500床以上	122	16.0	96600.0	13352.89	1629052.0	14543.81
	全体	773	4.0	96600.0	4556.53	3522194.0	8097.56
高張アルブミン製剤 (25%)	0～19床	289	12.5	15700.0	494.46	142900.0	1264.99
	20～199床	1187	5.0	20375.0	1548.16	1837660.0	2369.76
	200～499床	458	20.0	64750.0	7156.18	3277530.0	7465.19
	500床以上	187	25.0	138737.5	22931.24	4288142.5	19786.01
	全体	2121	5.0	138737.5	4500.82	9546232.5	9395.47
アルブミン製剤合計	0～19床	369	5.0	17437.5	488.25	180166.0	1263.35
	20～199床	1575	5.0	20525.0	1636.37	2577284.0	2537.20
	200～499床	679	20.0	121750.0	10006.66	6794519.5	11185.55
	500床以上	252	25.0	225100.0	40608.20	10233267.0	31693.14
	全体	2875	5.0	225100.0	6881.82	19785236.5	15599.36

<免疫グロブリン製剤>

表 13. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（静注）の購入量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤: 静注／(g)	0～19床	2	10.0	365.0	187.50	375.0	251.02
	20～199床	30	5.0	1375.0	204.92	6147.5	336.68
	200～499床	29	15.0	8035.0	1696.55	49200.0	2064.23
	500床以上	12	2490.5	36110.0	9774.46	117293.5	8937.89
	全体	73	5.0	36110.0	2370.08	173016.0	5031.32

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤: 静注／(g)	0～19床	58	0.5	947.5	107.68	6245.5	208.88
	20～199床	807	0.5	25332.5	362.40	292455.5	1241.37
	200～499床	572	1.5	43614.0	2012.04	1150885.0	3247.44
	500床以上	220	350.0	59275.0	11975.48	2634605.0	9537.20
	全体	1657	0.5	59275.0	2464.81	4084191.0	5554.53

表 14. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（皮下注）の購入量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0～19床						
	20～199床						
	200～499床	5	24.0	533.0	243.00	1215.0	241.25
	500床以上	6	28.0	1816.0	532.33	3194.0	693.10
	全体	11	24.0	1816.0	400.82	4409.0	535.07

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤: 皮下注／(g)	0～19床	4	20.0	2058.0	572.00	2288.0	991.49
	20～199床	28	4.0	1632.0	338.86	9488.0	463.60
	200～499床	114	4.0	5146.0	392.77	44776.0	617.73
	500床以上	129	1.0	27835.0	1367.89	176458.0	3069.97
	全体	275	1.0	27835.0	847.31	233010.0	2198.45

表 15. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（筋注）の購入量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 筋注／(g)	0～19床					
	20～199床					
	200～499床					
	500床以上					
	全体					

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 筋注／(g)	0～19床	1	1.4	1.4	1.35	1.4	
	20～199床	8	0.5	3.9	1.43	11.4	1.15
	200～499床	9	0.5	5.9	2.22	20.0	1.89
	500床以上	5	0.5	3.0	1.56	7.8	0.99
	全体	23	0.5	5.9	1.76	40.5	1.43

(2) 製剤別廃棄量 (表 16~22)

< 赤血球製剤 >

表 16. 千葉県と全国の「赤血球製剤の廃棄総袋 (本) 数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0～19床	6	2	8	3.83	23	2.23
	20～199床	46	1	203	21.22	976	35.46
	200～499床	34	1	118	24.85	845	24.34
	500床以上	13	5	79	37.08	482	24.18
	全体	99	1	203	23.49	2326	30.00
赤血球製剤総単位数	0～19床	6	2	16	6.83	41	5.15
	20～199床	46	2	406	41.57	1912	70.97
	200～499床	34	2	236	49.06	1668	48.28
	500床以上	13	10	156	73.62	957	47.71
	全体	99	2	406	46.24	4578	59.88

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0～19床	227	1	154	5	1074	14.95
	20～199床	1204	1	236	11.63	14008	22.47
	200～499床	698	1	262	22.90	15982	26.57
	500床以上	256	1	200	22.65	5798	24.22
	全体	2385	1	262	15.46	36862	24.19
赤血球製剤総単位数	0～19床	227	1	308	8.26	1876	25.82
	20～199床	1204	1	472	22.59	27199	43.88
	200～499床	698	1	524	44.82	31284	51.66
	500床以上	256	2	398	44.67	11435	47.85
	全体	2385	1	524	30.10	71794	47.12

< 血小板製剤 >

表 17. 千葉県と全国の「血小板製剤の廃棄総袋 (本) 数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0～19床						
	20～199床	4	1	1	1.00	4	0.00
	200～499床	16	1	8	3.19	51	2.61
	500床以上	12	1	12	5.83	70	3.69
	全体	32	1	12	3.91	125	3.31
血小板製剤総単位数	0～19床						
	20～199床	4	10	10	10.00	40	0.00
	200～499床	16	10	90	34.38	550	28.51
	500床以上	12	10	120	60.83	730	38.01
	全体	32	10	120	41.25	1320	34.71

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0～19床	3	1	1	1.00	3	0.00
	20～199床	98	1	5	1.43	140	0.92
	200～499床	321	1	36	2.48	796	2.81
	500床以上	216	1	32	5.02	1084	4.45
	全体	638	1	36	3.17	2023	3.56
血小板製剤総単位数	0～19床	3	10	20	13.33	40	5.77
	20～199床	98	10	85	15.31	1500	11.53
	200～499床	321	5	365	26.53	8517	29.48
	500床以上	216	10	330	52.20	11275	47.08
	全体	638	5	365	33.44	21332	37.43

<血漿製剤>

表 18. 千葉県と全国の「血漿製剤の廃棄総袋（本）数と総単位数」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0～19床	1	9	9.00	9	
	20～199床	20	1	6.70	134	5.49
	200～499床	30	1	8.17	245	4.89
	500床以上	13	3	16.08	209	10.84
	全体	64	1	9.33	597	7.40
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0～19床	1	9	9.00	9	
	20～199床	20	2	14.35	287	12.50
	200～499床	30	2	18.13	544	11.47
	500床以上	13	8	37.00	481	23.64
	全体	64	2	20.64	1321	16.95

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0～19床	42	1	7.26	305	13.64
	20～199床	381	1	5.58	2125	6.22
	200～499床	594	1	8.73	5186	7.70
	500床以上	251	1	15.35	3853	13.43
	全体	1268	1	9.04	11469	9.62
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0～19床	42	1	11.29	474	14.17
	20～199床	381	1	11.93	4544	13.23
	200～499床	594	1	19.51	11588	17.31
	500床以上	251	2	36.85	9249	35.36
	全体	1268	1	20.39	25855	22.90

<アルブミン製剤>

表 19. 千葉県と全国の「アルブミン製剤の廃棄量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0～19床					
	20～199床	6	0.0	25.0	10.42	62.5
	200～499床	12	0.0	37.5	16.67	200.0
	500床以上	7	0.0	100.0	33.93	237.5
	全体	25	0.0	100.0	20.00	500.0
高張アルブミン製剤 (20%)	0～19床					
	20～199床	6	0.0	0.0	0.00	0.0
	200～499床	12	0.0	60.0	6.33	76.0
	500床以上	7	0.0	20.0	5.71	40.0
	全体	25	0.0	60.0	4.64	116.0
高張アルブミン製剤 (25%)	0～19床					
	20～199床	6	0.0	50.0	14.58	87.5
	200～499床	12	0.0	100.0	16.67	200.0
	500床以上	7	0.0	62.5	19.64	137.5
	全体	25	0.0	100.0	17.00	425.0
アルブミン製剤合計	0～19床					
	20～199床	6	12.5	50.0	25.00	150.0
	200～499床	12	12.5	112.5	39.67	476.0
	500床以上	7	12.5	125.0	59.29	415.0
	全体	25	12.5	125.0	41.64	1041.0

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0～19床	4	12.5	50.0	25.00	100.0
	20～199床	101	5.0	312.5	37.77	3815.0
	200～499床	103	5.0	112.5	27.48	2830.0
	500床以上	130	5.0	187.5	39.58	5145.0
	全体	338	5.0	312.5	35.18	11890.0
高張アルブミン製剤 (20%)	0～19床					
	20～199床	34	10.0	120.0	30.94	1052.0
	200～499床	48	4.0	100.0	20.83	1000.0
	500床以上	48	4.0	730.0	42.46	2038.0
	全体	130	4.0	730.0	31.46	4090.0
高張アルブミン製剤 (25%)	0～19床	5	12.5	100.0	42.50	212.5
	20～199床	76	5.0	187.5	33.09	2515.0
	200～499床	71	5.0	150.0	24.44	1735.0
	500床以上	75	5.0	325.0	44.63	3347.5
	全体	227	5.0	325.0	34.41	7810.0
アルブミン製剤合計	0～19床	9	12.5	100.0	34.72	312.5
	20～199床	197	5.0	325.0	37.47	7382.0
	200～499床	175	4.0	200.0	31.80	5565.0
	500床以上	159	5.0	730.0	66.23	10530.5
	全体	540	4.0	730.0	44.06	23790.0

<免疫グロブリン製剤>

表 20. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（静注）の廃棄量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 静注／(g)	0～19床	1	15.0	15.0	15.0	
	20～199床	2	10.0	15.0	25.0	3.54
	200～499床	6	2.5	45.0	159.0	17.69
	500床以上	3	12.5	25.0	52.5	6.61
	全体	12	2.5	45.0	251.5	13.69

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 静注／(g)	0～19床	5	5.0	22.5	67.5	6.52
	20～199床	131	0.5	70.0	1404.0	9.23
	200～499床	104	0.5	60.0	1135.5	12.12
	500床以上	82	0.5	85.0	1365.5	15.23
	全体	322	0.5	85.0	3972.5	12.13

表 21. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（皮下注）の廃棄量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0床					
	1～299床	2	1.0	1.00	2.0	
	300～499床					
	500床以上					
	全体	2	0.0	1.0	0.67	2.0

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0～19床					
	20～199床	1	8.0	8.00	8.0	
	200～499床	4	4.0	80.0	24.50	98.0
	500床以上	6	4.0	40.0	14.67	88.0
	全体	11	4.0	80.0	17.64	194.0

表 22. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（筋注）の廃棄量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 筋注／(g)	0～19床					
	20～199床					
	200～499床					
	500床以上					
	全体					

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 筋注／(g)	0～19床					
	20～199床	7	0.5	3.9	1.93	14
	200～499床	6	0.5	4.5	1.60	10
	500床以上	2	1.5	1.5	1.50	3
	全体	15	0.5	4.5	1.74	26

【まとめ】

今回、「輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査」より千葉県データを取得し、血液製剤の購入量、廃棄率、使用実態についてデータ解析を行った。

血液製剤の購入量はいずれも施設規模が大きくなるほど多かった。

廃棄率について、千葉県全体では赤血球製剤と血小板製剤で全国より高い結果であった。赤血球製剤は20～199床において高い傾向がみられた。廃棄理由としては「有効期限切れ」が最も多く、次いで「転用ができない」「保管管理不良」であった。血小板製剤は200～499床及び500床以上の中規模・大規模施設において高い傾向となった。等張アルブミン製剤は20～199床の施設で高い傾向であったが、全体として全国より低い結果であった。高張アルブミン製剤は0～19床を除く施設で0.1%前後と同程度の廃棄率であり、「破損」による廃棄が多い傾向であった。

使用実態について、診療科別の使用量は、赤血球製剤では血液内科が多く、次いで心臓血管外科、その他内科、消化器内科の順であった。血小板製剤では血液内科の使用が半数を占め、心臓血管外科、その他内科、小児科と続いた。血漿製剤では心臓血管外科、救急科、その他の外科、消化器外科で多く使用され、次いでその他の内科、血液内科、産婦人科・腎臓内科と続いた。免疫グロブリンについては神経内科の使用が約半数を占めており、次いで、小児科と続いた。

免疫グロブリン製剤の適応疾患別件数では、低・無ガンマグロブリン血症が多く、次いで重症感染症、川崎病であった。

アルブミン製剤の原料別割合について、等張製剤は「海外・献血」が62.9%、「国産」が26.7%、「海外・非献血」が10.4%であった。高張製剤は「国産」が72.8%を占めた。アルブミン製剤全体での「国産」の割合は53.0%であった。

【1】基本項目（千葉県）

1-1) 医療機関の概要について

1-4. 2022 年 4 月～2022 年 3 月の期間で全身手術を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	2	4.88%	44	62.86%	34	94.44%	12	92.31%	92	57.50%
2	行わなかった	42	102.44%	23	32.86%	1	2.78%	0	0.00%	66	41.25%
3	わからない	1	2.44%	2	2.86%	1	2.78%	0	0.00%	4	2.50%
	回答施設合計	45		69		36		12		162	

全麻手術研修						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床	0	14	555	284.50	569	382.545
20～199 床	36	3	1298	320.33	11532	324.506
200～499 床	28	122	3384	1440.21	40326	940.297
500床 以上	11	2434	5177	3435.82	37794	687.562
全体	75	3	5177	1157.14	90221	1248.720

1-5. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、人工心肺使用の心臓・大血管手術をおこないましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	2.86%	13	36.11%	12	92.31%	27	16.88%
2	行わなかった	44	107.32%	67	95.71%	22	61.11%	0	0.00%	133	83.13%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	1	2.78%	1	7.69%	4	2.50%
	回答施設合計	45		70		36		13		164	

人工心肺使用の心臓・大血管手術件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床	1	113	113	113.00	113	
200～499 床	9	27	283	92.22	830	77.69
500床 以上	11	32	1196	226.55	2492	357.32
全体	21	27	1196	156.18	3435	266.18

1-6. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、帝王切開を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	7	17.07%	5	7.14%	9	25.00%	12	92.31%	33	20.63%
2	行わなかった	37	90.24%	62	88.57%	27	75.00%	0	0.00%	126	78.75%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	1	7.69%	3	1.88%
	回答施設合計	45		68		36		13		162	

帝王切開件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床	7	18	152	94.29	660	46.39
20～199 床	4	21	284	125.75	503	112.58
200～499 床	7	13	327	124.86	874	135.62
500床 以上	11	25	451	190.18	2092	134.05
全体	29	13	451	137.77	4129	117.35

1-7. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、造血幹細胞移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	7	19.44%	8	61.54%	15	9.38%
2	行わなかった	44	107.32%	69	98.57%	29	80.56%	4	30.77%	146	91.25%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	45		70		36		12		163	

造血幹細胞移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床	7	1	29	10.14	71	10.21
500床 以上	7	1	84	37.57	263	28.42
全体	14	1	84	22.27	334	24.97

1-8. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、腎臓移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	1	2.78%	5	38.46%	6	3.75%
2	行わなかった	43	104.88%	69	98.57%	35	97.22%	7	53.85%	154	96.25%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	44		70		36		12		162	

腎臓移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床	1	2	2	2.00	2	
500床 以上	4	3	22	12.75	51	9.64
全体	5	2	22	8.83	53	9.63

1-9. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、肝臓移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	0.63%
2	行わなかった	43	104.88%	69	98.57%	36	100.00%	10	76.92%	158	98.75%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	44		70		36		11		161	

肝臓移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床						
500床 以上	1	2	2	2	2	
全体	1	2	2	2	2	

1-10. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、心臓移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	0.63%
2	行わなかった	43	104.88%	69	98.57%	36	100.00%	10	76.92%	158	98.75%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	44		70		36		11		161	

心臓移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床						
500床 以上	1	4	4	4	4	
全体	1	4	4	4	4	

1-11. 2022 年 4 月～2022 年 3 月の期間で、膵臓移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	42	102.44%	69	98.57%	36	100.00%	11	84.62%	158	98.75%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	43		70		36		11		160	

1-12. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、肺移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	0.63%
2	行わなかった	42	102.44%	65	92.86%	35	97.22%	10	76.92%	152	95.00%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	43		66		35		11		155	

肺移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床						
500床 以上	1	4	4	4	4	
全体	1	4	4	4	4	

1-13. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、小腸移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	42	102.44%	65	92.86%	35	97.22%	11	84.62%	153	95.63%
3	わからない	1	2.44%	2	2.86%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.88%
	回答施設合計	43		67		35		11		156	

1-14. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、血漿交換を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	2.86%	12	33.33%	11	84.62%	25	15.63%
2	行わなかった	44	107.32%	66	94.29%	24	66.67%	1	7.69%	135	84.38%
3	わからない	1	2.44%	1	1.43%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	45		69		36		12		162	

血漿交換件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床	2	1	68	34.50	69	47.38
200～499 床	12	2	58	12.58	151	15.81
500床 以上	7	21	77	49.43	346	20.70
全体	21	1	77	25.82	566	26.17

1-15. 貴施設の救急医療体制として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	一次救急指定病院	2	4.55%	3	4.29%	0	0.00%	1	8.33%	6	3.70%
2	二次救急指定病院	1	2.27%	48	68.57%	32	88.89%	3	25.00%	84	51.85%
3	三次救急指定病院	0	0.00%	3	4.29%	2	5.56%	9	75.00%	14	8.64%
4	救命救急センター	0	0.00%	0	0.00%	1	2.78%	6	50.00%	7	4.32%
5	高度救命救急センター	0	0.00%	1	1.43%	0	0.00%	1	8.33%	2	1.23%
6	救急指定病院ではない	41	93.18%	14	20.00%	4	11.11%	0	0.00%	59	36.42%
	回答施設合計	44		70		36		12		162	

1-16. オーダリングシステムを導入していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	6	13.95%	37	54.41%	34	94.44%	13	100.00%	90	56.25%
2	導入していない	38	95.00%	33	48.53%	2	5.56%	0	0.00%	73	45.63%
	回答施設合計	44		70		36		13		163	

1-17. 輸血業務でオーダリングシステムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血関連検査	2	40.00%	30	93.75%	33	100.00%	13	100.00%	78	93.98%
2	日赤血液製剤輸血	6	120.00%	25	78.13%	31	93.94%	13	100.00%	75	90.36%
3	貯血式自己血製剤貯血	0	0.00%	14	43.75%	29	87.88%	12	92.31%	55	66.27%
4	貯血式自己血製剤輸血	0	0.00%	13	40.63%	28	84.85%	12	92.31%	53	63.86%
5	希釈式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	1	7.69%	2	2.41%
6	回収式自己血製剤輸血	0	0.00%	2	6.25%	1	3.03%	1	7.69%	4	4.82%
7	院内成分採血製剤(末梢血幹細胞)	0	0.00%	0	0.00%	6	18.18%	4	30.77%	10	12.05%
8	院内成分採血製剤(CAR-T用のリンパ球)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	0	0.00%	1	1.20%
9	院内調製血(分割製剤等)	0	0.00%	0	0.00%	4	12.12%	3	23.08%	7	8.43%
10	輸血副反応	1	20.00%	14	43.75%	23	69.70%	9	69.23%	47	56.63%
11	細胞治療(テムセル)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	0	0.00%	1	1.20%
12	細胞治療(その他の再生医療等製品)	0	0.00%	0	0.00%	6	18.18%	4	30.77%	10	12.05%
13	ベッドサイドで患者と製剤の認証	1	20.00%	15	46.88%	22	66.67%	11	84.62%	49	59.04%
14	その他	0	0.00%	0	0.00%	3	9.09%	0	0.00%	3	3.61%
	回答施設合計	5		32		33		13		83	

1-18. 血漿分画製剤業務でオーダリングシステムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血漿分画製剤(アルブミン製剤)	2	66.67%	33	97.06%	31	93.94%	11	91.67%	77	93.90%
2	血漿分画製剤(アルブミン製剤以外)	2	66.67%	23	67.65%	23	69.70%	8	66.67%	56	68.29%
3	血漿分画製剤投与後の副反応	0	0.00%	5	14.71%	9	27.27%	4	33.33%	18	21.95%
4	ベッドサイドで患者と製剤の認証	1	33.33%	12	35.29%	21	63.64%	8	66.67%	42	51.22%
5	細胞治療(再生医療等製品)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%	1	8.33%	2	2.44%
6	その他	0	0.00%	1	2.94%	1	3.03%	1	8.33%	3	3.66%
	回答施設合計	3		34		33		12		82	

1-19. 輸血業務に部門システム(検査システム・輸血管理システム)を導入していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	1	2.33%	26	38.24%	32	88.89%	13	100.00%	72	45.00%
2	導入していない	44	110.00%	40	58.82%	4	11.11%	0	0.00%	88	55.00%
	回答施設合計	45		66		36		13		160	

1-20. 輸血業務に部門システムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血関連検査	1	100.00%	26	100.00%	31	100.00%	13	100.00%	71	100.00%
2	日赤血液製剤入庫	0	0.00%	20	76.92%	29	93.55%	12	92.31%	61	85.92%
3	日赤血液製剤輸血	1	100.00%	20	76.92%	31	100.00%	12	92.31%	64	90.14%
4	貯血式自己血製剤貯血	0	0.00%	13	50.00%	28	90.32%	12	92.31%	53	74.65%
5	貯血式自己血製剤輸血	0	0.00%	10	38.46%	28	90.32%	12	92.31%	50	70.42%
6	希釈式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	1	7.69%	2	2.82%
7	回収式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	1	7.69%	2	2.82%
8	院内成分採血製剤(末梢血幹細胞)	0	0.00%	0	0.00%	4	12.90%	5	38.46%	9	12.68%
9	院内成分採血製剤(CAR-T用のリンパ球)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	0	0.00%	1	1.41%
10	院内調製血(分割製剤等)	0	0.00%	0	0.00%	3	9.68%	3	23.08%	6	8.45%
11	輸血副反応	0	0.00%	12	46.15%	25	80.65%	9	69.23%	46	64.79%
12	細胞治療(テムセル)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	1	7.69%	2	2.82%
13	細胞治療(その他の再生医療等製品)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	1	7.69%	2	2.82%
14	ベッドサイドで患者と製剤の認証	1	100.00%	8	30.77%	15	48.39%	8	61.54%	32	45.07%
15	輸血手帳	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
16	その他	0	0.00%	0	0.00%	3	9.68%	0	0.00%	3	4.23%
	回答施設合計	1		26		31		13		71	

1-21. 血漿分画製剤管理業務に部門システム(検査システム・輸血管理システム・血漿分画製剤管理システム)を導入していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	12	17.65%	20	55.56%	8	61.54%	40	25.00%
2	導入していない	44	110.00%	56	82.35%	15	41.67%	3	23.08%	118	73.75%
	回答施設合計	44		68		35		11		158	

1-22. 血漿分画製剤管理業務に部門システムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血漿分画製剤(アルブミン製剤)	0	0.00%	8	30.77%	18	58.06%	7	53.85%	33	46.48%
2	血漿分画製剤(アルブミン製剤以外)	0	0.00%	9	34.62%	10	32.26%	3	23.08%	22	30.99%
3	血漿分画製剤投与後の副反応	0	0.00%	5	19.23%	9	29.03%	3	23.08%	17	23.94%
4	細胞治療(再生医療等製品)	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	0	0.00%	1	1.41%
5	ベッドサイドで患者と製剤の認証	0	0.00%	5	19.23%	8	25.81%	4	30.77%	17	23.94%
6	その他	0	0.00%	1	3.85%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.41%
	回答施設合計	0		12		20		8		40	

【2】輸血療法の体制について（千葉県）

2-1) 輸血のインフォームド・コンセント(IC)について

1-67. 輸血のインフォームド・コンセント(IC)について関わる職種を全て選んでください（説明の補助も含む） 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	44	100.00%	72	100.00%	36	100.00%	12	100.00%	164	100.00%
2	看護師	36	81.82%	45	62.50%	24	66.67%	7	58.33%	112	68.29%
3	臨床検査技師	3	6.82%	1	1.39%	3	8.33%	0	0.00%	7	4.27%
4	薬剤師	1	2.27%	1	1.39%	2	5.56%	0	0.00%	4	2.44%
5	その他	3	6.82%	1	1.39%	1	2.78%	0	0.00%	5	3.05%
	回答施設合計	44		72		36		12		164	

1-68. 自施設で輸血関連情報カードまたは不規則抗体カード等を発行していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発行している	0	0.00%	1	1.47%	3	8.33%	2	15.38%	6	3.75%
2	発行していない	43	107.50%	67	98.53%	33	91.67%	11	84.62%	154	96.25%
	回答施設合計	43		68		36		13		160	

1-69. 患者への説明（不規則抗体検出時など）に不規則抗体カードまたは輸血関連情報カードを利用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	0	0.00%	1	1.47%	2	5.71%	2	15.38%	5	3.13%
2	利用していない	44	100.00%	67	98.53%	33	94.29%	11	84.62%	155	96.88%
	回答施設合計	44		68		35		13		160	

1-70. 患者へ検査結果などを説明する職種について全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	43	100.00%	71	100.00%	35	100.00%	11	100.00%	160	100.00%
2	看護師	25	58.14%	28	39.44%	2	5.71%	3	27.27%	58	36.25%
3	臨床検査技師	3	6.98%	1	1.41%	3	8.57%	0	0.00%	7	4.38%
4	薬剤師	1	2.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
5	その他	3	6.98%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.88%
	回答施設合計	43		71		35		11		160	

1-71. 輸血関連情報（不規則抗体情報、診療情報提供を含む）を受け取ったことはありますか。

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	受け取ったことがある	15	34.09%	16	23.53%	13	37.14%	7	53.85%	51	31.88%
2	受け取ったことはない	29	65.91%	52	76.47%	22	62.86%	6	46.15%	109	68.13%
	回答施設合計	44		68		35		13		160	

1-72. 受け取った輸血関連情報を参考に輸血検査や供給を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	9	60.00%	9	56.25%	13	100.00%	7	100.00%	38	74.51%
2	行っていない	6	40.00%	7	43.75%	0	0.00%	0	0.00%	13	25.49%
	回答施設合計	15		16		13		7		51	

1-73. 輸血関連情報の有用性を感じましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	感じた	11	0.00%	13	81.25%	12	100.00%	6	85.71%	42	84.00%
2	感じなかった	4	26.67%	3	18.75%	0	0.00%	1	14.29%	8	16.00%
	回答施設合計	15		16		12		7		50	

2-2) 血液製剤の管理について

1-74. 輸血検査を行っている主な部門として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	5	6.85%	8	22.22%	11	84.62%	24	14.63%
2	検査部門	4	9.52%	54	73.97%	27	75.00%	2	15.38%	87	53.05%
3	院外の検査機関に委託	36	85.71%	13	17.81%	1	2.78%	0	0.00%	50	30.49%
4	その他	2	4.76%	1	1.37%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.83%
	回答施設合計	42		73		36		13		164	

1-75. 輸血用血液製剤を管理している主な部門として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	6	8.33%	9	25.00%	11	84.62%	26	15.95%
2	検査部門	6	14.29%	50	69.44%	25	69.44%	2	15.38%	83	50.92%
3	院外の検査機関に委託	10	23.81%	2	2.78%	0	0.00%	0	0.00%	12	7.36%
4	その他	26	61.90%	14	19.44%	2	5.56%	0	0.00%	42	25.77%
	回答施設合計	42		72		36		13		163	

1-76. 輸血用血液製剤を保管する保冷库として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液専用保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	3	6.82%	43	58.90%	29	80.56%	12	92.31%	87	52.41%
2	血液専用保冷库(自記式記録計付き)	0	0.00%	1	1.37%	1	2.78%	0	0.00%	2	1.20%
3	血液専用保冷库(自記式記録計なし、警報装置付きなし)	2	4.55%	4	5.48%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.61%
4	薬品保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	7	15.91%	10	13.70%	3	8.33%	1	7.69%	21	12.65%
5	薬品保冷库(自記式記録計付き)	0	0.00%	1	1.37%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.60%
6	薬品保冷库(自記式記録計なし、警報装置なし)	10	22.73%	5	6.85%	1	2.78%	0	0.00%	16	9.64%
7	家庭用冷蔵・冷凍庫	22	50.00%	6	8.22%	0	0.00%	0	0.00%	28	16.87%
8	その他	0	0.00%	3	4.11%	2	5.56%	0	0.00%	5	3.01%
	回答施設合計	44		73		36		13		166	

「その他」の場合

- ・血液専用保冷库・ロガー付き・集中温度管理システム
- ・血液線溶保冷库（自記式記録計なし、警報装置付き）
- ・薬品保冷库 警報装置付き
- ・血液専用保冷库（自記式記録計なし、警報装置付き）
- ・薬品保冷库（自記式記録計なし、警報装置付き）

1-77. 一般病棟で輸血用血液製剤の一時保管はありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	8	20.00%	23	31.94%	7	19.44%	2	15.38%	40	24.84%
2	ない	31	77.50%	49	68.06%	27	75.00%	11	84.62%	118	73.29%
3	その他	1	2.50%	0	0.00%	2	5.56%	0	0.00%	3	1.86%
	回答施設合計	40		72		36		13		161	

「その他」の場合

- ・ICU：専用保冷库あり。 それ以外：ない
- ・OPE 後に入院する病棟に家庭用冷蔵庫で一時保管することが出来る。
- ・2～5 日の保存期間あり冷蔵庫で一時保管

1-78. 新鮮凍結人血漿についてお伺いします。新鮮凍結人血漿を扱っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	扱っている	6	13.33%	42	58.33%	35	97.22%	13	100.00%	96	57.83%
2	扱っていない	39	86.67%	30	41.67%	1	2.78%	0	0.00%	70	42.17%
	回答施設合計	45		72		36		13		166	

1-79. 新鮮凍結人血漿融解を担当する主な部門として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部(輸血管理部門)	0	0.00%	11	26.19%	10	28.57%	7	53.85%	28	29.17%
2	病棟	5	83.33%	29	69.05%	21	60.00%	4	30.77%	59	61.46%
3	その他	1	16.67%	2	4.76%	4	11.43%	2	15.38%	9	9.38%
	回答施設合計	6		42		35		13		96	

「その他」の場合

- ・院内コードはすべて対応。その他、日勤勤務帯は、依頼時可能であれば対応。
- ・病棟・外来・手術室（使用場所でそれぞれ融解）
- ・術中：ope 室 それ以外：検査室
- ・原則、日中は検査部が行い、時間外（夜間）は病棟で看護部が融解する。
- ・検査部
- ・病棟と手術室（夜間等、人手が不足の際に検査科で実施することもある）
- ・検査室
- ・看護部

1-80. 新鮮凍結人血漿融解した後の使用までの管理として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	融解後、直ちに投与	5	83.33%	41	97.62%	31	88.57%	11	84.62%	88	91.67%
2	融解後、専用保冷库(2～6℃)で保管	0	0.00%	1	2.38%	3	8.57%	2	15.38%	6	6.25%
3	融解後、汎用(非専用)保冷库(2～6℃)で保管	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.04%
4	融解後、室温で保存	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	2.86%	0	0.00%	1	1.04%
	回答施設合計	6		42		35		13		96	

「その他」の場合

- ・病棟での融解のため、不明

1-81. 院内で輸血用血液製剤を運搬する容器として当てはまるものを選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発泡スチロール容器	13	28.89%	20	28.17%	10	27.78%	0	0.00%	43	26.06%
2	クーラーボックス	12	26.67%	13	18.31%	14	38.89%	4	30.77%	43	26.06%
3	ビニール製の搬送バック	4	8.89%	22	30.99%	15	41.67%	9	69.23%	50	30.30%
4	血液搬送装置(ポータブル保冷装置; ATR)	0	0.00%	0	0.00%	1	2.78%	2	15.38%	3	1.82%
5	その他	19	42.22%	21	29.58%	5	13.89%	2	15.38%	47	28.48%
	回答施設合計	45		71		36		13		165	

「その他」の場合

- ・ プラ容器+保冷バック
- ・ 血液運搬ボックス (Bio Box LABO10)
- ・ 室温安定輸送 B a g
- ・ トレー
- ・ 本品は保冷、保温容器で、材質はプラスチック製です。
- ・ プラスチックのケース、保冷バッグなど
- ・ 保冷バッグ
- ・ 容器なし手渡し
- ・ 容器は使用せずそのまま運搬
- ・ 担当看護師が検査科から直接製剤を受け取り、病棟に持ち運ぶ
- ・ 保冷バッグ
- ・ 金属トレー
- ・ かご
- ・ バット
- ・ ビニール製の保冷バックに必ず保冷剤を一緒に入れて運搬
- ・ 金属トレイ等
- ・ ステンレストレー
- ・ バット
- ・ 金属トレー
- ・ プラスチック製のトレー
- ・ プラスチック容器
- ・ プラスチックトレイ
- ・ 使用していない
- ・ プラスチックトレイ
- ・ トレイ
- ・ ワンフロアでの対応のため移動なし
- ・ 保管場所と使用場所が近いため注射用のバットに入れて運搬
- ・ 冷蔵庫から直接ベッドサイドへ
- ・ トレー
- ・ トレー
- ・ バットに入れて運搬
- ・ 保管場所と使用場所が近いため容器を使用していない
- ・ プラスチックケース
- ・ 金属製トレイ
- ・ 冷蔵庫から患者ベッドまで数メートルなので運搬容器を使用していません。
- ・ 運搬しない
- ・ 医療滅菌用トレーに乗せて運搬
- ・ バットに入れて運搬
- ・ 特に専用BOXはない
- ・ トレイ
- ・ 運搬する必要があるため準備していない
- ・ トレー
- ・ 保冷バッグ

1-82. 院内および院外搬送用として血液搬送装置（ポータブル保冷装置；ATR など）を導入していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	0	0.00%	1	2.78%	4	30.77%	5	3.07%
2	導入を検討してる	2	4.65%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.23%
3	導入の予定なし	41	95.35%	70	98.59%	35	97.22%	8	61.54%	154	94.48%
4	その他	0	0.00%	1	1.41%	0	0.00%	1	7.69%	2	1.23%
	回答施設合計	43		71		36		13		163	

「その他」の場合

- ・救急外来に常設して O 型 RBC を保管している
- ・今後導入するか検討の余地あり

1-83. 貴施設に、輸血責任医師（輸血業務担当や責任者として病院等から任命されている医師）はいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	0	0.00%	2	2.82%	4	11.11%	4	30.77%	10	6.10%
2	いる(兼任)	6	13.64%	37	52.11%	27	75.00%	9	69.23%	79	48.17%
3	いない	38	86.36%	32	45.07%	5	13.89%	0	0.00%	75	45.73%
	回答施設合計	44		71		36		13		164	

1-84. 輸血責任医師は、日本輸血・細胞治療学会認定医ですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	認定医である	0	0.00%	0	0.00%	3	10.00%	5	38.46%	8	9.64%
2	認定ではない	4	80.00%	32	91.43%	26	86.67%	8	61.54%	70	84.34%
3	わからない	1	20.00%	3	8.57%	1	3.33%	0	0.00%	5	6.02%
	回答施設合計	5		35		30		13		83	

1-85. 貴施設に、学会認定・臨床輸血看護師はいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	1	2.22%	2	2.86%	6	16.67%	4	33.33%	13	7.98%
2	いない	41	91.11%	56	80.00%	28	77.78%	8	66.67%	133	81.60%
3	わからない	3	6.67%	12	17.14%	2	5.56%	0	0.00%	17	10.43%
	回答施設合計	45		70		36		12		163	

1-86. 学会認定・臨床輸血看護師の行っている業務について当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	新人看護師への輸血業務の教育	1	100.00%	1	50.00%	3	50.00%	2	66.67%	7	58.33%
2	看護学校学生への教育	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	全看護師への定期的な教育指導	0	0.00%	1	50.00%	1	16.67%	0	0.00%	2	16.67%
4	輸血に関するインシデントの評価・解析	0	0.00%	1	50.00%	2	33.33%	1	33.33%	4	33.33%
5	輸血時のインフォームド・コンセントの補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	8.33%
6	輸血業務に関する院内監査	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	16.67%
7	輸血療法委員会への出席	1	100.00%	2	100.00%	5	83.33%	3	100.00%	11	91.67%
8	リスクマネージャー委員会への出席	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	地域の合同輸血療法委員会への出席	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	8.33%
10	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	8.33%
	回答施設合計	1		2		6		3		12	

「その他」の場合

・輸血療法委員会に参加していない為、わからない。

1-87. 学会認定・臨床輸血看護師の配属後に改善されたことについて当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血副反応の報告率の向上	1	100.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	18.18%
2	重篤な輸血副反応の報告数の増加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	輸血実施時の安全管理体制の向上	1	100.00%	1	100.00%	4	66.67%	1	33.33%	7	63.64%
4	輸血部門と臨床部門との連携の向上	1	100.00%	1	100.00%	2	33.33%	2	66.67%	6	54.55%
5	病棟での血液製剤の保管管理の向上	0	0.00%	1	100.00%	4	66.67%	1	33.33%	6	54.55%
6	輸血に関するインシデント報告の増加	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	9.09%
7	輸血に関するインシデントの内容の変化	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	9.09%
8	血液型とクロス用検体の同時採血の減少	0	0.00%	1	100.00%	2	33.33%	0	0.00%	3	27.27%
9	廃棄血の減少	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	9.09%
10	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	9.09%
	回答施設合計	1		1		6		3		11	

「その他」の場合

・輸血療法委員会に参加していない為、わからない。

1-88. 貴施設に、学会認定・アフェレーシスナースはいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	15.38%	2	1.24%
2	いない	42	95.45%	57	82.61%	31	88.57%	10	76.92%	140	86.96%
3	わからない	2	4.55%	12	17.39%	4	11.43%	1	7.69%	19	11.80%
	回答施設合計	44		69		35		13		161	

1-89. 貴施設に、学会認定・自己血輸血看護師はいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	0	0.00%	1	2.86%	1	7.69%	2	1.25%
2	いない	42	95.45%	57	83.82%	31	88.57%	11	84.62%	141	88.13%
3	わからない	2	4.55%	11	16.18%	3	8.57%	1	7.69%	17	10.63%
	回答施設合計	44		68		35		13		160	

1-90. 貴施設に臨床検査技師はいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	14	31.82%	65	94.20%	35	100.00%	13	100.00%	127	78.88%
2	いない	30	68.18%	4	5.80%	0	0.00%	0	0.00%	34	21.12%
	回答施設合計	44		69		35		13		161	

1-91. 臨床検査技師の配置状況として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	平日のみ日勤帯配置(夜間オンコール無し)	8	61.54%	12	18.46%	0	0.00%	0	0.00%	20	15.87%
2	平日のみ日勤帯配置(夜間オンコール有り)	1	7.69%	30	46.15%	6	17.14%	0	0.00%	37	29.37%
3	全日日勤帯のみ配置(夜間オンコール無し)	1	7.69%	2	3.08%	0	0.00%	0	0.00%	3	2.38%
4	全日日勤帯のみ配置(夜間オンコール有り)	0	0.00%	12	18.46%	1	2.86%	0	0.00%	13	10.32%
5	24 時間体制で配置	0	0.00%	9	13.85%	28	80.00%	13	100.00%	50	39.68%
6	必要時のみ配置	3	23.08%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	2.38%
7	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	13		65		35		13		126	

1-92. 輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」はいますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	0	0.00%	3	4.69%	11	31.43%	12	92.31%	26	20.80%
2	いる(兼任)	3	23.08%	37	57.81%	19	54.29%	1	7.69%	60	48.00%
3	いない	10	76.92%	24	37.50%	5	14.29%	0	0.00%	39	31.20%
	回答施設合計	13		64		35		13		125	

1-93. 輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会はありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	13.95%	40	56.34%	33	94.29%	13	100.00%	92	56.79%
2	ない	37	86.05%	31	43.66%	2	5.71%	0	0.00%	70	43.21%
	回答施設合計	43		71		35		13		162	

1-94. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血療法委員会の開催回数として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0回	2	33.33%	2	5.00%	1	3.03%	0	0.00%	5	5.43%
2	1～5回	2	33.33%	3	7.50%	1	3.03%	0	0.00%	6	6.52%
3	6回	2	33.33%	27	67.50%	24	72.73%	10	76.92%	63	68.48%
4	7回以上	0	0.00%	8	20.00%	7	21.21%	3	23.08%	18	19.57%
	回答施設合計	6		40		33		13		92	

1-95. 輸血療法委員会の委員の出席率として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ100%	2	40.00%	7	18.92%	4	12.90%	1	7.69%	14	16.28%
2	81～99%	1	20.00%	22	59.46%	14	45.16%	2	15.38%	39	45.35%
3	61～80%	2	40.00%	7	18.92%	8	25.81%	10	76.92%	27	31.40%
4	41～60%	0	0.00%	1	2.70%	2	6.45%	0	0.00%	3	3.49%
5	21～40%	0	0.00%	0	0.00%	3	9.68%	0	0.00%	3	3.49%
6	0～20%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	5		37		31		13		86	

2-3) 輸血関連の検査体制について

1-96. 日中勤務時間帯（各施設の定める所定労働時間における夜間・休日を除く日中の勤務時間帯を指す）の ABO 血液型検査・RhD 血液型検査の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	3	4.23%	9	25.00%	11	84.62%	23	13.94%
2	検査部門の臨床検査技師	3	6.67%	51	71.83%	25	69.44%	4	30.77%	83	50.30%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	9	12.68%	5	13.89%	0	0.00%	14	8.48%
4	看護師	3	6.67%	3	4.23%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.64%
5	担当医	3	6.67%	1	1.41%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.42%
6	院外の検査機関に委託	42	93.33%	17	23.94%	1	2.78%	0	0.00%	60	36.36%
7	検査を実施していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	その他	1	2.22%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	45		71		36		13		165	

1-97. 夜間・休日勤務時間帯の ABO 血液型検査・RhD 血液型検査の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	3	4.29%	7	19.44%	10	76.92%	20	12.20%
2	検査部門の臨床検査技師	0	0.00%	46	65.71%	32	88.89%	13	100.00%	91	55.49%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	9	12.86%	4	11.11%	0	0.00%	13	7.93%
4	看護師	1	2.22%	3	4.29%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.44%
5	担当医	2	4.44%	3	4.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.05%
6	院外の検査機関に委託	19	42.22%	8	11.43%	1	2.78%	0	0.00%	28	17.07%
7	検査を実施していない	24	53.33%	9	12.86%	0	0.00%	0	0.00%	33	20.12%
8	その他	1	2.22%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	45		70		36		13		164	

1-98. 日中勤務時間帯の不規則抗体スクリーニングの実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	4	5.63%	9	25.00%	11	84.62%	24	14.63%
2	検査部門の臨床検査技師	2	4.55%	33	46.48%	24	66.67%	3	23.08%	62	37.80%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	7	9.86%	4	11.11%	0	0.00%	11	6.71%
4	看護師	1	2.27%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
5	担当医	1	2.27%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
6	院外の検査機関に委託	38	86.36%	28	39.44%	3	8.33%	0	0.00%	69	42.07%
7	検査を実施していない	3	6.82%	4	5.63%	0	0.00%	0	0.00%	7	4.27%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	44		71		36		13		164	

1-99. 夜間・休日勤務時間帯の不規則抗体スクリーニングの実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	3	4.35%	7	19.44%	10	76.92%	20	12.27%
2	検査部門の臨床検査技師	0	0.00%	29	42.03%	31	86.11%	13	100.00%	73	44.79%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	7	10.14%	4	11.11%	0	0.00%	11	6.75%
4	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	担当医	1	2.22%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
6	院外の検査機関に委託	19	42.22%	17	24.64%	2	5.56%	0	0.00%	38	23.31%
7	検査を実施していない	25	55.56%	18	26.09%	1	2.78%	0	0.00%	44	26.99%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	45		69		36		13		163	

1-100. 日中勤務時間帯の交差適合試験の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	3	4.23%	9	25.00%	11	84.62%	23	13.94%
2	検査部門の臨床検査技師	4	8.89%	50	70.42%	25	69.44%	3	23.08%	82	49.70%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	9	12.68%	4	11.11%	0	0.00%	13	7.88%
4	看護師	4	8.89%	2	2.82%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.64%
5	担当医	4	8.89%	1	1.41%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.03%
6	院外の検査機関に委託	37	82.22%	8	11.27%	0	0.00%	0	0.00%	45	27.27%
7	検査を実施していない	0	0.00%	2	2.82%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.21%
8	その他	1	2.22%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	45		71		36		13		165	

1-101. 夜間・休日勤務時間帯の交差適合試験の実施者として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	3	4.29%	7	19.44%	10	76.92%	20	12.27%
2	検査部門の臨床検査技師	0	0.00%	46	65.71%	32	88.89%	13	100.00%	91	55.83%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	9	12.86%	4	11.11%	0	0.00%	13	7.98%
4	看護師	3	6.82%	3	4.29%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.68%
5	担当医	3	6.82%	2	2.86%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.07%
6	院外の検査機関に委託	16	36.36%	5	7.14%	0	0.00%	0	0.00%	21	12.88%
7	検査を実施していない	23	52.27%	11	15.71%	0	0.00%	0	0.00%	34	20.86%
8	その他	1	2.27%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	44		70		36		13		163	

1-102. 血液型検査に用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	12	29.27%	45	66.18%	17	47.22%	5	38.46%	79	50.00%
2	カラム凝集法	8	19.51%	20	29.41%	26	72.22%	13	100.00%	67	42.41%
3	マイクロプレート法	11	26.83%	6	8.82%	2	5.56%	0	0.00%	19	12.03%
4	その他(不明)	18	43.90%	7	10.29%	0	0.00%	0	0.00%	25	15.82%
	回答施設合計	41		68		36		13		158	

1-103. 現在行っている血液型検査の内容として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	抗A、抗B試薬によるオモテ検査	25	78.13%	62	93.94%	34	94.44%	13	100.00%	134	91.16%
2	A血球、B血球によるウラ検査	22	68.75%	58	87.88%	35	97.22%	13	100.00%	128	87.07%
3	抗D試薬を用いたD抗原検査	18	56.25%	60	90.91%	34	94.44%	13	100.00%	125	85.03%
	回答施設合計	32		66		36		13		147	

1-104. 貴施設での血液型検査の二重チェックについて当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯・夜勤帯両方)	0	0.00%	8	11.59%	11	30.56%	6	46.15%	25	16.34%
2	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯のみ)	4	11.43%	13	18.84%	5	13.89%	0	0.00%	22	4.00%
3	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない(日勤帯・夜勤帯両方)	0	0.00%	10	14.49%	12	33.33%	6	46.15%	28	18.30%
4	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない(日勤帯のみ)	3	8.57%	3	4.35%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.92%
5	原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯・夜勤帯両方)	3	8.57%	9	13.04%	4	11.11%	1	7.69%	17	11.11%
6	原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯のみ)	2	5.71%	12	17.39%	4	11.11%	0	0.00%	18	11.76%
7	どちらも実施していない	23	65.71%	14	20.29%	0	0.00%	0	0.00%	37	24.18%
	回答施設合計	35		69		36		13		153	

1-105. 不規則抗体スクリーニングに用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	6	15.38%	27	39.71%	13	36.11%	4	30.77%	50	32.05%
2	カラム凝集法	17	43.59%	30	44.12%	30	83.33%	13	100.00%	90	57.69%
3	固相法	0	0.00%	1	1.47%	2	5.56%	0	0.00%	3	1.92%
4	その他(不明)	19	48.72%	14	20.59%	0	0.00%	0	0.00%	33	21.15%
	回答施設合計	39		68		36		13		156	

1-106. 現在行っている不規則抗体スクリーニングの内容として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	5	12.82%	22	32.35%	13	36.11%	2	15.38%	42	26.92%
2	酵素法	13	33.33%	30	44.12%	26	72.22%	8	61.54%	77	49.36%
3	間接抗グロブリン法	8	20.51%	51	75.00%	34	94.44%	13	100.00%	106	67.95%
4	その他(不明)	23	58.97%	14	20.59%	1	2.78%	0	0.00%	38	24.36%
	回答施設合計	39		68		36		13		156	

1-107. 交差適合試験に用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	13	32.50%	45	65.22%	22	61.11%	7	53.85%	87	55.06%
2	カラム凝集法	4	10.00%	18	26.09%	18	50.00%	9	69.23%	49	31.01%
3	固相法	2	5.00%	2	2.90%	2	5.56%	0	0.00%	6	3.80%
4	その他(不明)	21	52.50%	9	13.04%	0	0.00%	0	0.00%	30	18.99%
	回答施設合計	40		69		36		13		158	

1-108. 現在行っている交差適合試験の主な方法として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	12	31.58%	39	56.52%	18	50.00%	7	53.85%	76	48.72%
2	酵素法	5	13.16%	18	26.09%	8	22.22%	1	7.69%	32	20.51%
3	間接抗グロブリン法	12	31.58%	56	81.16%	33	91.67%	13	100.00%	114	73.08%
4	コンピュータクロスマッチ	1	2.63%	3	4.35%	6	16.67%	1	7.69%	11	7.05%
5	その他(不明)	19	50.00%	9	13.04%	1	2.78%	0	0.00%	29	18.59%
	回答施設合計	38		69		36		13		156	

1-109. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で臨床検査技師以外の職員が交差適合試験を行って、赤血球輸血を施行した症例はありましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	15.00%	0	0.00%	1	2.78%	0	0.00%	7	4.43%
2	ない	32	80.00%	69	100.00%	35	97.22%	13	100.00%	149	94.30%
3	不明	2	5.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.27%
	回答施設合計	40		69		36		13		158	

1-110. 緊急輸血時など血液型が確定できない時には、交差適合試験を省略して O 型 赤血球液を使用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	1	2.44%	4	5.71%	13	36.11%	12	92.31%	30	18.75%
2	使用していない	39	95.12%	46	65.71%	4	11.11%	0	0.00%	89	55.63%
3	未だ使用していないが、マニュアルで 使用を明記	1	2.44%	18	25.71%	19	52.78%	1	7.69%	39	24.38%
4	不明	0	0.00%	2	2.86%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	41		70		36		13		160	

交差適合試験を省略してO型 赤血球を使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床	1	1	1	1.00	1	
200～499 床	8	1	16	3.50	28	5.18
500床 以上	11	4	235	51.55	567	72.84
全体	20	1	235	28.43	596	58.41

1-111. 緊急輸血時など血液型が確定できない時には、AB 型 新鮮凍結人血漿を使用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	0	0.00%	3	4.41%	7	20.00%	11	84.62%	21	13.29%
2	使用していない	41	97.62%	48	70.59%	7	20.00%	1	7.69%	97	61.39%
3	未だ使用していないが、マニュアルで 使用を明記	1	2.38%	15	22.06%	21	60.00%	1	7.69%	38	24.05%
4	不明	0	0.00%	2	2.94%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.27%
	回答施設合計	42		68		35		13		158	

AB型 新鮮凍結人血漿を使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床	4	0	2	1.00	4	0.82
500床 以上	10	2	230	32.90	329	70.23
全体	14	0	230	22.20	333	60.32

1-112. 血液型が確定している患者に緊急輸血を実施する時、ABO 血液型同型赤血球液を、交差適合試験を省略して使用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	2	4.76%	4	5.88%	13	36.11%	6	46.15%	25	15.72%
2	使用していない	39	92.86%	46	67.65%	12	33.33%	5	38.46%	102	64.15%
3	使用していないが、マニュアルに使用 を明記している	1	2.38%	17	25.00%	11	30.56%	2	15.38%	31	19.50%
4	不明	0	0.00%	1	1.47%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
	回答施設合計	42		68		36		13		159	

ABO型同型赤血球液を、交差適合試験を省略して使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床	2	1	5	3	6	2.83
20～199 床	1	1	1	1	1	
200～499 床	8	0	25	6.50	52	8.73
500床 以上	2	18	496	257.00	514	338.00
全体	13	0	496	41.00	573	136.01

1-113. ABO 血液型、RhD 血液型、不規則抗体スクリーニングを事前に行い、臨床的に問題となる抗体が検出されない場合、赤血球輸血時にコンピュータクロスマッチを実施していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すべての症例で実施している	2	5.00%	3	4.41%	6	16.67%	0	0.00%	11	7.01%
2	T&S(type and screen)症例のみ実施 している	0	0.00%	3	4.41%	2	5.56%	3	23.08%	8	5.10%
3	手術時の追加依頼の場合に実施して いる	0	0.00%	1	1.47%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.64%
4	実施していない	34	85.00%	61	89.71%	27	75.00%	9	69.23%	131	83.44%
5	その他	4	10.00%	0	0.00%	1	2.78%	1	7.69%	6	3.82%
	回答施設合計	40		68		36		13		157	

1-114. 輸血検査で外部精度管理に参加していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	参加している	3	7.14%	31	46.27%	32	88.89%	13	100.00%	79	50.00%
2	参加していない	39	92.86%	36	53.73%	4	11.11%	0	0.00%	79	50.00%
	回答施設合計	42		67		36		13		158	

1-115. 参加している精度管理調査として当てはまるものを全て選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	日本臨床衛生検査技師会主催の精度管理	1	33.33%	26	83.87%	31	96.88%	13	100.00%	71	89.87%
2	日本輸血・細胞治療学会主催の精度管理	0	0.00%	0	0.00%	7	21.88%	2	15.38%	9	11.39%
3	各都道府県臨床検査技師会主催の精度管理	1	33.33%	23	74.19%	26	81.25%	12	92.31%	62	78.48%
4	CAP(米国臨床病理医協会) サーベイ	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	1	7.69%	2	2.53%
5	メーカーサーベイ	1	33.33%	8	25.81%	11	34.38%	4	30.77%	24	30.38%
6	その他	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	2	2.53%
	回答施設合計	3		31		32		13		79	

1-116. 輸血検査の内部精度管理を行っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	2	4.76%	22	34.38%	31	86.11%	13	100.00%	68	43.87%
2	行っていない	40	95.24%	42	65.63%	5	13.89%	0	0.00%	87	56.13%
	回答施設合計	42		64		36		13		155	

1-117. 内部精度管理として実施している項目を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ABO血液型	2	100.00%	18	81.82%	26	83.87%	13	100.00%	59	86.76%
2	RhD血液型	2	100.00%	18	81.82%	25	80.65%	13	100.00%	58	85.29%
3	不規則抗体検査	2	100.00%	14	63.64%	25	80.65%	13	100.00%	54	79.41%
4	交差適合試験	1	50.00%	6	27.27%	5	16.13%	4	30.77%	16	23.53%
5	検査室室温	0	0.00%	15	68.18%	17	54.84%	10	76.92%	42	61.76%
6	検査室湿度	0	0.00%	10	45.45%	10	32.26%	8	61.54%	28	41.18%
7	恒温槽の温度	1	50.00%	7	31.82%	18	58.06%	9	69.23%	35	51.47%
8	遠心機(回転数・時間)	0	0.00%	5	22.73%	11	35.48%	10	76.92%	26	38.24%
9	冷蔵庫庫内温度	1	50.00%	15	68.18%	24	77.42%	12	92.31%	52	76.47%
10	試験管法での目合わせ	1	50.00%	3	13.64%	8	25.81%	5	38.46%	17	25.00%
11	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	3.23%	0	0.00%	1	1.47%
	回答施設合計	2		22		31		13		68	

2-4) 輸血前の検体保管状況と感染症検査の実施状況について

1-118. 輸血前検体の保存について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	3	7.50%	48	68.57%	34	94.44%	13	100.00%	98	61.64%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	4	10.00%	6	8.57%	2	5.56%	0	0.00%	12	7.55%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	3	7.50%	3	4.29%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.77%
4	保存していない	30	75.00%	13	18.57%	0	0.00%	0	0.00%	43	27.04%
	回答施設合計	40		70		36		13		159	

1-119. 検体保存期間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0ヶ月～6.0ヶ月	4	57.14%	5	9.26%	1	2.78%	0	0.00%	10	9.09%
2	6.1ヶ月～12.0ヶ月	0	0.00%	1	1.85%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.91%
3	12.1ヶ月～24.0ヶ月	1	14.29%	15	27.78%	15	41.67%	1	7.69%	32	29.09%
4	24.1ヶ月以上(永久保存を除く)	2	28.57%	31	57.41%	18	50.00%	12	92.31%	63	57.27%
5	永久保存	0	0.00%	2	3.70%	2	5.56%	0	0.00%	4	3.64%
	回答施設合計	7		54		36		13		110	

1-120. 輸血前検体保存の方法について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査や交差適合試験の残りをそのまま保存している	1	14.29%	33	61.11%	15	41.67%	3	23.08%	52	47.27%
2	血液型検査や交差適合試験の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	1	14.29%	13	24.07%	13	36.11%	8	61.54%	35	31.82%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	2	28.57%	6	11.11%	4	11.11%	1	7.69%	13	11.82%
4	その他	3	42.86%	2	3.70%	4	11.11%	1	7.69%	10	9.09%
	回答施設合計	7		54		36		13		110	

1-121. 輸血前に感染症マーカーの検査（輸血前感染症検査）について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として、原則として全ての症例で行っている	10	24.39%	18	25.35%	8	22.22%	6	46.15%	42	26.09%
2	輸血前検査として、症例によって行っている	2	4.88%	2	2.82%	1	2.78%	0	0.00%	5	3.11%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	15	36.59%	43	60.56%	23	63.89%	7	53.85%	88	54.66%
4	行っていない	14	34.15%	8	11.27%	4	11.11%	0	0.00%	26	16.15%
	回答施設合計	41		71		36		13		161	

1-122. 輸血前に実施している感染症検査の項目として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs抗原(*)	23	92.00%	61	100.00%	31	96.88%	13	100.00%	128	97.71%
2	HBs抗体(*)	8	32.00%	17	27.87%	9	28.13%	8	61.54%	42	32.06%
3	HBc抗体(*)	5	20.00%	10	16.39%	5	15.63%	7	53.85%	27	20.61%
4	HBe抗原	2	8.00%	1	1.64%	0	0.00%	0	0.00%	3	2.29%
5	HBe抗体	3	12.00%	1	1.64%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.05%
6	HBV-DNA核酸増幅検査	1	4.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	2	1.53%
7	HCV抗体(*)	24	96.00%	59	96.72%	31	96.88%	13	100.00%	127	96.95%
8	HCVコア抗原(*)	1	4.00%	5	8.20%	6	18.75%	5	38.46%	17	12.98%
9	HCV-RNA核酸増幅検査	1	4.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.76%
10	HIV抗体(*)	5	20.00%	15	24.59%	11	34.38%	7	53.85%	38	29.01%
11	HIV抗原/HIV抗体同時測定	8	32.00%	13	21.31%	12	37.50%	7	53.85%	40	30.53%
12	HTMV-1 抗体	4	16.00%	2	3.28%	0	0.00%	2	15.38%	8	6.11%
	回答施設合計	25		61		32		13		131	

(*) 厚生労働省の推奨する検査項目

2-5) 輸血後の検体保管状況と感染症検査の実施状況について

1-123. 輸血後検体の保存について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	2	4.88%	14	20.00%	6	17.14%	1	7.69%	23	14.47%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	3	7.32%	2	2.86%	2	5.71%	2	15.38%	9	5.66%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	4	9.76%	19	27.14%	10	28.57%	3	23.08%	36	22.64%
4	保存していない	32	78.05%	35	50.00%	17	48.57%	7	53.85%	91	57.23%
	回答施設合計	41		70		35		13		159	

1-124. 検体保存期間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0ヶ月～6.0ヶ月	3	75.00%	3	18.75%	2	25.00%	2	66.67%	10	32.26%
2	6.1ヶ月～12.0ヶ月	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	12.1ヶ月～24.0ヶ月	1	25.00%	4	25.00%	5	62.50%	0	0.00%	10	32.26%
4	24.1ヶ月以上(永久保存を除く)	0	0.00%	7	43.75%	1	12.50%	1	33.33%	9	29.03%
5	永久保存	0	0.00%	2	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.45%
	回答施設合計	4		16		8		3		31	

1-125. 輸血後検体保存の方法について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検査の残りをそのまま保存している	3	75.00%	10	62.50%	6	75.00%	2	66.67%	21	67.74%
2	検査の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	1	25.00%	2	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	4	12.90%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	0	0.00%	2	12.50%	0	0.00%	1	33.33%	3	9.68%
4	その他	0	0.00%	2	12.50%	1	12.50%	0	0.00%	3	9.68%
	回答施設合計	4		16		8		3		31	

1-126. 輸血後に感染症マーカーの検査（輸血後感染症検査）について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	12	27.91%	19	27.54%	9	25.00%	2	15.38%	42	26.09%
2	症例によって行っている	5	11.63%	13	18.84%	20	55.56%	10	76.92%	48	29.81%
3	行っていない	26	60.47%	37	53.62%	7	19.44%	1	7.69%	71	44.10%
	回答施設合計	43		69		36		13		161	

1-127. 輸血後に実施している感染症検査の項目として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs抗原(*)	12	75.00%	17	54.84%	18	66.67%	3	27.27%	50	58.82%
2	HBs抗体(*)	5	31.25%	4	12.90%	4	14.81%	0	0.00%	13	15.29%
3	HBc抗体(*)	4	25.00%	1	3.23%	2	7.41%	0	0.00%	7	8.24%
4	HBe抗原	2	12.50%	1	3.23%	0	0.00%	0	0.00%	3	3.53%
5	HBe抗体	3	18.75%	1	3.23%	0	0.00%	0	0.00%	4	4.71%
6	HBV-DNA核酸増幅検査	4	25.00%	14	45.16%	11	40.74%	7	63.64%	36	42.35%
7	HCV抗体(*)	10	62.50%	13	41.94%	16	59.26%	3	27.27%	42	49.41%
8	HCVコア抗原(*)	4	25.00%	16	51.61%	13	48.15%	7	63.64%	40	47.06%
9	HCV-RNA核酸増幅検査	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	9.09%	1	1.18%
10	HIV抗体(*)	8	50.00%	15	48.39%	11	40.74%	8	72.73%	42	49.41%
11	HIV抗原/HIV抗体同時測定	6	37.50%	12	38.71%	11	40.74%	3	27.27%	32	37.65%
12	HTLV-1 抗体	2	12.50%	0	0.00%	1	3.70%	0	0.00%	3	3.53%
13	IgA-HEV抗体	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	16		31		27		11		85	

(*) 厚生労働省の推奨する検査項目

2-6) 血漿分画製剤の管理について

1-128. アルブミン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	2.94%	2	2.82%	7	19.44%	4	33.33%	14	9.15%
2	検査部門	0	0.00%	1	1.41%	5	13.89%	1	8.33%	7	4.58%
3	薬剤部門	13	38.24%	65	91.55%	24	66.67%	7	58.33%	109	71.24%
4	その他	20	58.82%	3	4.23%	0	0.00%	0	0.00%	23	15.03%
	回答施設合計	34		71		36		12		153	

「その他」の場合

- ・使用していない
- ・検査で把握しきれてはいる
- ・アルブミン製剤を扱う機会がないが、扱うとしたら看護師
- ・医師及び病棟看護師
- ・看護部門
- ・使用なし
- ・管理なし
- ・医療者が管理
- ・医療者が管理
- ・使用していない
- ・看護部門
- ・現在使用していない
- ・使用していない
- ・(1)(2)(3)がないため看護部門で行っている
- ・使用していない
- ・対応したことなし
- ・部門なし
- ・使用していない

1-129. 今後、輸血部門および検査部門でアルブミン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能である	1	3.23%	1	1.59%	1	4.17%	1	14.29%	4	3.20%
2	不可能である	28	90.32%	45	71.43%	16	66.67%	4	57.14%	93	74.40%
3	状況次第で可能である	2	6.45%	17	26.98%	7	29.17%	2	28.57%	28	22.40%
	回答施設合計	31		63		24		7		125	

「状況次第で可能である」の場合

- ・システムを変更しなければならず、進んでいない。コストがかかる。
- ・各部門との調整、システムの構築ができれば可能
- ・使用用途を確認しているため
- ・人員、場所、システムなどの課題あり
- ・病院側の意向次第。
- ・院内の運用方法の変更によっては可能
- ・適応がわからない
- ・輸血部門に薬剤師が配置されれば
- ・検査部門で了解がとれれば可能

1-130. 免疫グロブリン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	3.03%	2	2.90%	1	2.86%	0	0.00%	4	2.68%
2	検査部門	0	0.00%	1	1.45%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.67%
3	薬剤部門	12	36.36%	64	92.75%	34	97.14%	12	100.00%	122	81.88%
4	その他	20	60.61%	2	2.90%	0	0.00%	0	0.00%	22	14.77%
	回答施設合計	33		69		35		12		149	

「その他」の場合

- ・ 人員を増加すれば可能
- ・ 使用指定ない
- ・ アルブミン製剤を扱う機会がないが、扱うとしたら看護師
- ・ 使用実績ないため、管理部門の設定なし
- ・ 使用なし
- ・ 管理なし
- ・ 管理していない
- ・ 管理していない
- ・ 使用していない
- ・ 取り扱っていない
- ・ 看護部門
- ・ 現在使用していない
- ・ 使用していない
- ・ (1)(2)(3)がないため看護部門で行っている
- ・ 使用していない
- ・ 対応したことなし
- ・ 当院では使用していない
- ・ 使用していない

1-131. 今後、輸血部門および検査部門で免疫グロブリン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能である	1	3.23%	1	1.61%	1	3.03%	0	0.00%	3	2.21%
2	不可能である	29	93.55%	46	74.19%	22	66.67%	8	80.00%	105	77.21%
3	状況次第で可能である	1	3.23%	15	24.19%	10	30.30%	2	20.00%	28	20.59%
	回答施設合計	31		62		33		10		136	

「状況次第で可能である」の場合

- ・ システムを変更しなければならず、進んでいない。コストがかかる。
- ・ 病院内でのコンセンサスが得られ、検査技師が適正使用などの正しい知識がある事
- ・ 輸血に従事する要員が増員できれば可能
- ・ 各部門との調整、システムの構築ができれば可能
- ・ 使用用途を確認しているため
- ・ 人員、場所、システムなどの課題あり
- ・ 病院側の意向次第
- ・ 適応がわからない
- ・ 人員を増加すれば可能
- ・ 輸血部門に薬剤師が配置されれば

1-132. フィブリノゲン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	3.23%	1	1.61%	1	2.78%	1	8.33%	4	2.84%
2	検査部門	0	0.00%	1	1.61%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.71%
3	薬剤部門	9	29.03%	55	88.71%	34	94.44%	11	91.67%	109	77.30%
4	その他	21	67.74%	5	8.06%	1	2.78%	0	0.00%	27	19.15%
	回答施設合計	31		62		36		12		141	

「その他」の場合

- ・購入していない
- ・使用していない
- ・使用指定ない
- ・把握していない
- ・使用実績がないため、管理部門の設定なし
- ・使用なし
- ・管理なし
- ・管理していない
- ・扱っていない
- ・使用していない
- ・取り扱っていない
- ・使用していません。
- ・使用なし
- ・現在使用していない
- ・使用していない
- ・（１）（２）（３）がないため看護部門で行っている
- ・使用していない
- ・対応したことなし
- ・当院で使用はしていない
- ・使用していない

1-133. 今後、輸血部門および検査部門でフィブリノゲン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能である	1	3.45%	2	3.51%	1	3.03%	0	0.00%	4	3.13%
2	不可能である	27	93.10%	43	75.44%	21	63.64%	8	88.89%	99	77.34%
3	状況次第で可能である	1	3.45%	12	21.05%	11	33.33%	1	11.11%	25	19.53%
	回答施設合計	29		57		33		9		128	

「状況次第で可能である」の場合

- ・システムを変更しなければならず、進んでいない。コストがかかる。
- ・病院内でのコンセンサスが得られ、検査技師が適正使用などの正しい知識がある事
- ・輸血に従事する要員が増員できれば可能
- ・各部門との調整、システムの構築ができれば可能
- ・使用用途を確認しているため
- ・人員、場所、システムなどの課題あり
- ・病院側の意向次第
- ・適応がわからない
- ・輸血部門に薬剤師が配置されれば

2-7) 輸血製剤・血漿分画製剤の適正使用について

1-134. 貴院では輸血オーダー時に輸血部門で適正か（輸血の適応か、適正な用量か）を評価していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全て評価している	3	6.98%	6	8.45%	3	8.33%	2	16.67%	14	8.64%
2	一部のみ評価している	0	0.00%	10	14.08%	11	30.56%	2	16.67%	23	14.20%
3	評価していない	7	16.28%	26	36.62%	13	36.11%	7	58.33%	53	32.72%
4	輸血部門がないため該当なし	33	76.74%	29	40.85%	9	25.00%	1	8.33%	72	44.44%
	回答施設合計	43		71		36		12		162	

1-135. 評価している血液製剤として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤血球液	3	100.00%	15	93.75%	12	85.71%	4	100.00%	34	91.89%
2	血小板濃厚液	1	33.33%	8	50.00%	14	100.00%	4	100.00%	27	72.97%
3	新鮮凍結血漿	0	0.00%	5	31.25%	8	57.14%	4	100.00%	17	45.95%
4	アルブミン製剤	1	33.33%	4	25.00%	2	14.29%	0	0.00%	7	18.92%
5	免疫グロブリン製剤	1	33.33%	4	25.00%	1	7.14%	0	0.00%	6	16.22%
	回答施設合計	3		16		14		4		37	

1-136. 評価方法として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	オーダーシステムにトリガー値を設定し、自動的に評価している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	オーダーシステムのトリガー値と病態・輸血目的等から総合的に評価している	1	33.33%	2	12.50%	1	7.14%	1	25.00%	5	13.51%
3	輸血(or検査)システム上で検査値を確認している	2	66.67%	12	75.00%	12	85.71%	4	100.00%	30	81.08%
4	電子カルテの病名・病態を確認している	2	66.67%	9	56.25%	7	50.00%	2	50.00%	20	54.05%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		16		14		4		37	

「その他」の場合 回答なし

1-137. 貴院では輸血実施後にその輸血が適正だったかどうかを評価していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	評価している	9	21.95%	18	26.87%	6	17.14%	3	25.00%	36	23.23%
2	一部のみ評価している	1	2.44%	4	5.97%	13	37.14%	3	25.00%	21	13.55%
3	評価していない	31	75.61%	45	67.16%	16	45.71%	6	50.00%	98	63.23%
	回答施設合計	41		67		35		12		155	

1-138. 評価している血液製剤として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤血球液	9	100.00%	21	95.45%	17	89.47%	5	83.33%	52	92.86%
2	血小板濃厚液	1	11.11%	15	68.18%	14	73.68%	6	100.00%	36	64.29%
3	新鮮凍結血漿	2	22.22%	12	54.55%	13	68.42%	5	83.33%	32	57.14%
4	アルブミン製剤	3	33.33%	10	45.45%	7	36.84%	3	50.00%	23	41.07%
5	免疫グロブリン製剤	1	11.11%	7	31.82%	4	21.05%	1	16.67%	13	23.21%
	回答施設合計	9		22		19		6		56	

1-139. 評価方法として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会で検討している	0	0.00%	14	70.00%	17	89.47%	6	120.00%	37	68.52%
2	適正使用についての症例検討会で検討している	4	40.00%	0	0.00%	1	5.26%	1	20.00%	6	11.11%
3	医局会・診療会議で検討している	0	0.00%	2	10.00%	1	5.26%	0	0.00%	3	5.56%
4	院内研修会・勉強会で検討している	4	40.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	7.41%
5	保険対策委員会で検討している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	多職種カンファレンスで検討している	4	40.00%	1	5.00%	1	5.26%	0	0.00%	6	11.11%
7	その他	1	10.00%	4	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	9.26%
	回答施設合計	10		20		19		5		54	

「その他」の場合

- ・検査科内
- ・担当医師による採血フォローアップ等が含まれる
- ・医師が評価
- ・採血結果で評価している

1-140. 貴院では輸血療法委員会の規約に「適正使用の推進」について記載がありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	5.00%	24	36.36%	28	82.35%	12	92.31%	66	43.14%
2	ない	4	10.00%	12	18.18%	2	5.88%	0	0.00%	18	11.76%
3	輸血療法委員会がない	30	75.00%	24	36.36%	2	5.88%	0	0.00%	56	36.60%
4	輸血療法委員会の規約がない	4	10.00%	6	9.09%	2	5.88%	1	7.69%	13	8.50%
	回答施設合計	40		66		34		13		153	

1-141. 貴院では輸血療法委員会で具体的に適正使用について検討していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検討している	0	0.00%	17	26.15%	17	51.52%	9	75.00%	43	28.48%
2	検討していない	6	14.63%	23	35.38%	14	42.42%	3	25.00%	46	30.46%
3	輸血療法委員会がない	35	85.37%	25	38.46%	2	6.06%	0	0.00%	62	41.06%
	回答施設合計	41		65		33		12		151	

1-142. 輸血療法委員会で検討するために提示されたものとして当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血実施症例での輸血前後の検査値のリストの提示	0	0.00%	9	56.25%	12	70.59%	0	0.00%	21	50.00%
2	輸血実施症例での臨床効果のリストの提示	0	0.00%	2	12.50%	2	11.76%	1	11.11%	5	11.90%
3	不適正使用が疑われた症例の臨床経過の提示	0	0.00%	4	25.00%	4	23.53%	4	44.44%	12	28.57%
4	保険査定を受けた症例の臨床経過の提示	0	0.00%	4	25.00%	2	11.76%	3	33.33%	9	21.43%
5	手術用準備血と実際に使用された輸血量の提示	0	0.00%	1	6.25%	6	35.29%	6	66.67%	13	30.95%
6	Type & Screen導入に向けての基礎データ提示	0	0.00%	1	6.25%	0	0.00%	1	11.11%	2	4.76%
7	その他	0	0.00%	1	6.25%	0	0.00%	0	0.00%	1	2.38%
	回答施設合計	0		16		17		9		42	

「その他」の場合

・ FFP/RBC 比の提示

1-143. 次に挙げる項目のうち、輸血の適正使用推進に効果があったものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院機能評価	2	4.88%	9	13.64%	11	32.35%	8	66.67%	30	19.61%
2	輸血機能評価(I&A)	0	0.00%	1	1.52%	3	8.82%	3	25.00%	7	4.58%
3	自治体の輸血監査	0	0.00%	1	1.52%	2	5.88%	0	0.00%	3	1.96%
4	合同輸血療法委員会等による査察	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	0.65%
5	特になし	12	29.27%	25	37.88%	15	44.12%	3	25.00%	55	35.95%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	上記の全て経験なし	27	65.85%	31	46.97%	4	11.76%	1	8.33%	63	41.18%
	回答施設合計	41		66		34		12		153	

「その他」の場合 回答なし

1-144. 貴院の輸血部門が輸血の適正使用で連携している部門として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	看護部門	5	11.90%	15	21.74%	9	25.71%	5	41.67%	34	21.52%
2	薬剤部門	1	2.38%	10	14.49%	7	20.00%	4	33.33%	22	13.92%
3	診療部門	4	9.52%	15	21.74%	10	28.57%	5	41.67%	34	21.52%
4	手術部門	0	0.00%	2	2.90%	7	20.00%	5	41.67%	14	8.86%
5	医療安全部門	0	0.00%	3	4.35%	5	14.29%	5	41.67%	13	8.23%
6	医療経営部門	0	0.00%	0	0.00%	1	2.86%	0	0.00%	1	0.63%
7	医事課	1	2.38%	4	5.80%	5	14.29%	4	33.33%	14	8.86%
8	特になし	5	11.90%	7	10.14%	12	34.29%	4	33.33%	28	17.72%
9	輸血部門がない	34	80.95%	41	59.42%	10	28.57%	1	8.33%	86	54.43%
	回答施設合計	42		69		35		12		158	

1-145. 貴院では輸血の適正使用について地域の医療連携を利用できるとしたら希望しますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	希望する	3	7.32%	6	9.09%	6	17.14%	1	9.09%	16	10.46%
2	希望しない	7	17.07%	15	22.73%	5	14.29%	5	45.45%	32	20.92%
3	どちらともいえない	31	75.61%	45	68.18%	24	68.57%	5	45.45%	105	68.63%
	回答施設合計	41		66		35		11		153	

1-146. 具体的に希望される連携先として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	中核病院の輸血専門医	1	33.33%	5	100.00%	3	60.00%	0	0.00%	9	64.29%
2	中核病院の輸血担当技師	2	66.67%	5	100.00%	3	60.00%	0	0.00%	10	71.43%
3	中核病院の看護師	0	0.00%	3	60.00%	1	20.00%	0	0.00%	4	28.57%
4	中核病院の薬剤師	0	0.00%	2	40.00%	1	20.00%	0	0.00%	3	21.43%
5	合同輸血療法委員会の適正使用部会	2	66.67%	2	40.00%	3	60.00%	0	0.00%	7	50.00%
6	血液センターの学術担当者	1	33.33%	5	100.00%	4	80.00%	1	100.00%	11	78.57%
7	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		5		5		1		14	

「その他」の場合 回答なし

1-147. 貴院での輸血の適正使用推進に関しての問題点として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	適正使用について検討する機会がない	29	69.05%	40	59.70%	15	44.12%	3	23.08%	87	55.77%
2	適正使用推進の責任者が明確でない	18	42.86%	37	55.22%	14	41.18%	7	53.85%	76	48.72%
3	多職種の関与がルール化されていない	7	16.67%	18	26.87%	11	32.35%	5	38.46%	41	26.28%
4	担当医師の専門分野での輸血の知識が不足している	3	7.14%	10	14.93%	7	20.59%	3	23.08%	23	14.74%
5	担当医師の専門分野外での輸血の知識が不足している	1	2.38%	17	25.37%	15	44.12%	6	46.15%	39	25.00%
6	使用指針で示されていない慢性期の病態が多く、判断が難しい	9	21.43%	18	26.87%	6	17.65%	2	15.38%	35	22.44%
7	その他	2	4.76%	1	1.49%	5	14.71%	2	15.38%	10	6.41%
	回答施設合計	42		67		34		13		156	

「その他」の場合

- ・インセンティブなど成果報酬がないこと
- ・輸血の機会がない

1-148. 貴院で継続して適正使用を推進するために必要なこととして当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	最新の使用指針の情報提供	33	82.50%	42	65.63%	29	85.29%	9	75.00%	113	75.33%
2	輸血オーダーシステムの改善	7	17.50%	16	25.00%	16	47.06%	6	50.00%	45	30.00%
3	適正使用推進チームの構築	18	45.00%	34	53.13%	15	44.12%	5	41.67%	72	48.00%
4	適正使用推進計画の作成	8	20.00%	14	21.88%	8	23.53%	2	16.67%	32	21.33%
5	輸血管理料の改定	1	2.50%	2	3.13%	5	14.71%	3	25.00%	11	7.33%
6	外部評価(病院機能評価・I&A等)の活用	3	7.50%	4	6.25%	6	17.65%	6	50.00%	19	12.67%
7	輸血医療の地域連携	1	2.50%	3	4.69%	3	8.82%	0	0.00%	7	4.67%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	2	5.88%	0	0.00%	2	1.33%
	回答施設合計	40		64		34		12		150	

「その他」の場合

- ・医師の教育
- ・輸血療法委員会の設置が必須

1-149. 貴院での適正な輸血療法を推進する体制の整備状況として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全て整備されている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	かなり整備されている	0	0.00%	1	1.54%	3	8.57%	1	8.33%	5	3.25%
3	ある程度整備されている	9	21.43%	14	21.54%	12	34.29%	6	50.00%	41	26.62%
4	あまり整備されていない	13	30.95%	28	43.08%	13	37.14%	5	41.67%	59	38.31%
5	全く整備されていない	16	38.10%	13	20.00%	4	11.43%	0	0.00%	33	21.43%
6	わからない	4	9.52%	9	13.85%	3	8.57%	0	0.00%	16	10.39%
	回答施設合計	42		65		35		12		154	

1-150. 輸血部門で以下のうち業務と考えている事項を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血に関する説明・同意書の定期的な更新	5	12.82%	17	26.15%	13	36.11%	7	53.85%	42	27.45%
2	輸血に関するインフォームド・コンセントの一部担当	5	12.82%	8	12.31%	5	13.89%	1	7.69%	19	12.42%
3	輸血検査項目の選択と精度管理	4	10.26%	17	26.15%	24	66.67%	10	76.92%	55	35.95%
4	輸血の使用状況調査	4	10.26%	28	43.08%	26	72.22%	12	92.31%	70	45.75%
5	血液製剤の使用基準遵守についての事前評価	3	7.69%	9	13.85%	12	33.33%	3	23.08%	27	17.65%
6	血液製剤の使用基準遵守についての事後評価	3	7.69%	8	12.31%	9	25.00%	3	23.08%	23	15.03%
7	輸血療法に伴う副反応・合併症の把握と対策	4	10.26%	25	38.46%	21	58.33%	10	76.92%	60	39.22%
8	輸血療法に伴うインシデントの把握と対策	3	7.69%	18	27.69%	22	61.11%	11	84.62%	54	35.29%
9	輸血療法についての院内監査	1	2.56%	7	10.77%	8	22.22%	5	38.46%	21	13.73%
10	適正な院内血液製剤在庫量の検討	0	0.00%	17	26.15%	21	58.33%	11	84.62%	49	32.03%
11	適正な手術準備血の検討	1	2.56%	5	7.69%	9	25.00%	3	23.08%	18	11.76%
12	輸血関連情報の伝達	2	5.13%	24	36.92%	24	66.67%	12	92.31%	62	40.52%
13	自己血輸血の実施方法の検討	0	0.00%	6	9.23%	12	33.33%	2	15.38%	20	13.07%
14	輸血部門がない	36	92.31%	38	58.46%	11	30.56%	1	7.69%	86	56.21%
15	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	2.78%	0	0.00%	1	0.65%
	回答施設合計	39		65		36		13		153	

「その他」の場合

- ・上記以外に選択してない物も輸血部（検査）と委員会等で進めていくべきである

1-151. 輸血部門で以下のうち業務と考えていない事項を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血に関する説明・同意書の定期的な更新	1	2.44%	7	10.94%	8	25.81%	4	30.77%	20	13.42%
2	輸血に関するインフォームド・コンセントの一部担当	2	4.88%	17	26.56%	15	48.39%	8	61.54%	42	28.19%
3	輸血検査項目の選択と精度管理	1	2.44%	3	4.69%	1	3.23%	0	0.00%	5	3.36%
4	輸血の使用状況調査	1	2.44%	2	3.13%	0	0.00%	0	0.00%	3	2.01%
5	血液製剤の使用基準遵守についての事前評価	0	0.00%	6	9.38%	8	25.81%	2	15.38%	16	10.74%
6	血液製剤の使用基準遵守についての事後評価	0	0.00%	6	9.38%	8	25.81%	3	23.08%	17	11.41%
7	輸血療法に伴う副反応・合併症の把握と対策	0	0.00%	4	6.25%	3	9.68%	0	0.00%	7	4.70%
8	輸血療法に伴うインシデントの把握と対策	0	0.00%	2	3.13%	4	12.90%	0	0.00%	6	4.03%
9	輸血療法についての院内監査	1	2.44%	8	12.50%	7	22.58%	1	7.69%	17	11.41%
10	適正な院内血液製剤在庫量の検討	4	9.76%	1	1.56%	3	9.68%	1	7.69%	9	6.04%
11	適正な手術準備血の検討	2	4.88%	12	18.75%	9	29.03%	6	46.15%	29	19.46%
12	輸血関連情報の伝達	1	2.44%	0	0.00%	1	3.23%	0	0.00%	2	1.34%
13	自己血輸血の実施方法の検討	3	7.32%	8	12.50%	7	22.58%	5	38.46%	23	15.44%
14	輸血部門がない	36	87.80%	39	60.94%	12	38.71%	1	7.69%	88	59.06%
15	その他	0	0.00%	2	3.13%	1	3.23%	0	0.00%	3	2.01%
	回答施設合計	41		64		31		13		149	

「その他」の場合

- ・上記は輸血部（検査）と輸血療法委員会と相互的に行う業務だと思います。
- ・なし
- ・1～13 まで業務と考えている

1-152. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、高単位の血小板製剤（15 単位、20 単位）を使用した際に保険査定を受けたことがありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	3	8.82%	4	36.36%	7	4.73%
2	ない	13	32.50%	43	68.25%	30	88.24%	7	63.64%	93	62.84%
3	血小板製剤の使用なし	27	67.50%	20	31.75%	1	2.94%	0	0.00%	48	32.43%
	回答施設合計	40		63		34		11		148	

高単位の血小板製剤(15単位、20単位)を使用した際に保険査定を受けた件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床	3	1	92	31.33	94	52.54
500床 以上	3	1	8	5.00	15	3.61
全体	6	1	92	15.57	109	36.30

2-8) 業務手順書の整備状況について

1-153. 輸血療法に関する院内マニュアルはありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある(使用実績あり)	34	80.95%	50	72.46%	35	97.22%	13	100.00%	132	82.50%
2	ある(使用実績なし)	3	7.14%	6	8.70%	1	2.78%	0	0.00%	10	6.25%
3	ない(今後作成予定なし)	4	9.52%	8	11.59%	0	0.00%	0	0.00%	12	7.50%
4	ない(今後作成予定あり)	1	2.38%	5	7.25%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.75%
	回答施設合計	42		69		36		13		160	

1-154. 宗教的輸血拒否に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある(使用実績あり)	1	2.38%	19	27.94%	21	60.00%	11	84.62%	52	32.91%
2	ある(使用実績なし)	3	7.14%	9	13.24%	6	17.14%	2	15.38%	20	12.66%
3	ない(今後作成予定なし)	30	71.43%	30	44.12%	6	17.14%	0	0.00%	66	41.77%
4	ない(今後作成予定あり)	8	19.05%	10	14.71%	2	5.71%	0	0.00%	20	12.66%
	回答施設合計	42		68		35		13		158	

1-155. 貯血式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある(使用実績あり)	0	0.00%	19	28.79%	30	85.71%	13	100.00%	62	39.24%
2	ある(使用実績なし)	0	0.00%	4	6.06%	3	8.57%	0	0.00%	7	4.43%
3	ない(今後作成予定なし)	43	97.73%	37	56.06%	2	5.71%	0	0.00%	82	51.90%
4	ない(今後作成予定あり)	1	2.27%	6	9.09%	0	0.00%	0	0.00%	7	4.43%
	回答施設合計	44		66		35		13		158	

1-156. 希釈式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある(使用実績あり)	0	0.00%	0	0.00%	3	9.68%	2	16.67%	5	3.27%
2	ある(使用実績なし)	0	0.00%	1	1.47%	0	0.00%	2	16.67%	3	1.96%
3	ない(今後作成予定なし)	41	97.62%	62	91.18%	28	90.32%	8	66.67%	139	90.85%
4	ない(今後作成予定あり)	1	2.38%	5	7.35%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.92%
	回答施設合計	42		68		31		12		153	

1-157. 回収式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある(使用実績あり)	0	0.00%	2	2.99%	5	15.15%	3	25.00%	10	6.45%
2	ある(使用実績なし)	0	0.00%	2	2.99%	0	0.00%	1	8.33%	3	1.94%
3	ない(今後作成予定なし)	42	97.67%	57	85.07%	27	81.82%	7	58.33%	133	85.81%
4	ない(今後作成予定あり)	1	2.33%	6	8.96%	1	3.03%	1	8.33%	9	5.81%
	回答施設合計	43		67		33		12		155	

2-9) 業務手順書に基づく血液製剤使用を徹底するための取り組みについて

1-158. 血液製剤の使用に関する業務手順書を院内で浸透させるための取り組みをしていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる	4	9.30%	26	37.68%	24	68.57%	12	92.31%	66	41.25%
2	病院全体では取組んでいないが、担当部署に任されている	23	53.49%	16	23.19%	10	28.57%	1	7.69%	50	31.25%
3	取り組んでいない	13	30.23%	18	26.09%	0	0.00%	0	0.00%	31	19.38%
4	わからない	3	6.98%	9	13.04%	1	2.86%	0	0.00%	13	8.13%
	回答施設合計	43		69		35		13		160	

1-159. 貴施設での不適合輸血（過誤輸血）を防ぐための対策について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	マニュアルの配布	21	116.67%	40	121.21%	30	93.75%	12	109.09%	103	109.57%
2	輸血前・後の評価システム導入	2	11.11%	4	12.12%	3	9.38%	0	0.00%	9	9.57%
3	アンケート実施	0	0.00%	2	6.06%	2	6.25%	1	9.09%	5	5.32%
4	手順書の改定	14	77.78%	28	84.85%	30	93.75%	10	90.91%	82	87.23%
5	輸血療法委員会で手順書について話し合った	3	16.67%	21	63.64%	16	50.00%	8	72.73%	48	51.06%
6	輸血療法委員会の回数増加	1	5.56%	2	6.06%	2	6.25%	0	0.00%	5	5.32%
7	専任の輸血責任医師の任命	2	11.11%	1	3.03%	2	6.25%	3	27.27%	8	8.51%
8	専任の輸血担当技師の任命	1	5.56%	0	0.00%	1	3.13%	3	27.27%	5	5.32%
9	その他	2	11.11%	1	3.03%	2	6.25%	0	0.00%	5	5.32%
	回答施設合計	18		33		32		11		94	

「その他」の場合

- ・院内監査、院内研修
- ・共有閲覧で情報を共有している
- ・必要時に日赤に依頼し講習会を行ってもらう様に頼んでいる
- ・医師の指導のもと、複数の看護師による指導、教育 2-10) その他輸血療法の安全管理について

2-10) その他輸血療法の安全管理について

1-160. 貴施設での不適合輸血（過誤輸血）を防ぐための対策について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査検体と交差適合試験用検体は別の時点で採血した検体を用いることを徹底する	20	48.78%	48	69.57%	32	88.89%	10	76.92%	110	69.18%
2	血液型検査用検体は一患者分のみの採血管を用意し採血する	22	53.66%	34	49.28%	21	58.33%	6	46.15%	83	52.20%
3	輸血担当検査技師を配置する	2	4.88%	11	15.94%	24	66.67%	12	92.31%	49	30.82%
4	検査技師による輸血検査の24 時間実施体制	0	0.00%	36	52.17%	33	91.67%	13	100.00%	82	51.57%
5	自動輸血検査機器の導入	0	0.00%	10	14.49%	23	63.89%	13	100.00%	46	28.93%
6	血液型検査において同一患者の二重チェック、同一検体の二重チェックの徹底	16	39.02%	38	55.07%	28	77.78%	9	69.23%	91	57.23%
7	輸血の準備および実施は、原則として1 回一患者ごと行う	30	73.17%	47	68.12%	29	80.56%	9	69.23%	115	72.33%
8	輸血担当検査技師による当直技師への輸血教育の実施	0	0.00%	13	18.84%	21	58.33%	13	100.00%	47	29.56%
9	血液型記入時の2 名の医療従事者によるダブルチェックその他	25	60.98%	46	66.67%	22	61.11%	7	53.85%	100	62.89%
10	電子機器による確認・照合	1	2.44%	24	34.78%	30	83.33%	13	100.00%	68	42.77%
11	輸血前に患者自身に名前、生年月日、血液型などを名乗ってもらう	18	43.90%	40	57.97%	21	58.33%	9	69.23%	88	55.35%
12	輸血責任医師を任命する	3	7.32%	13	18.84%	14	38.89%	9	69.23%	39	24.53%
13	輸血療法委員会等で不適合輸血予防策を検討し、マニュアルを作成し実施する	2	4.88%	24	34.78%	17	47.22%	9	69.23%	52	32.70%
14	看護手順等に不適合輸血予防策について記載して実施している	8	19.51%	19	27.54%	16	44.44%	8	61.54%	51	32.08%
15	輸血医療に専門性を有する医療従事者（医師、看護師、検査技師、薬剤師など）が巡視し指導・教育する	2	4.88%	3	4.35%	3	8.33%	2	15.38%	10	6.29%
16	院内輸血講習会を行う	3	7.32%	7	10.14%	7	19.44%	6	46.15%	23	14.47%
17	院外講師を呼んで輸血講演を行う	2	4.88%	6	8.70%	3	8.33%	1	7.69%	12	7.55%
	回答施設合計	41		69		36		13		159	

【3】使用実態について

3-1) 輸血を実施した件数と実患者数について

1-161. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血を実施しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	実施した	40	93.02%	69	101.47%	35	97.22%	13	100.00%	157	98.13%
2	実施しなかった	2	5.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	42		69		35		13		159	

1-162. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間での輸血実施患者に関するデータ集計にあたっての主な抽出方法はどちらですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	システムから抽出している	5	11.63%	25	36.76%	29	80.56%	12	92.31%	71	44.38%
2	手作業(システムを使用していない)	32	80.00%	44	64.71%	5	13.89%	1	7.69%	82	51.25%
	回答施設合計	37		69		34		13		153	

1-163. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血を実施した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)同種血のみ実施(件数)	0～19 床	39	1	500	26.03	1015	79.14
	20～199 床	68	0	1412	227.84	15493	284.48
	200～499 床	34	13	5439	1494.06	50798	1462.78
	500床 以上	10	1875	10292	5317.20	53172	3016.97
	全体	151	0	10292	788.18	120478	1681.75
(2)自己血のみ実施(件数)	0～19 床	38	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	68	0	37	1.99	135	6.20
	200～499 床	34	0	109	15.85	539	27.46
	500床 以上	10	4	198	51.80	518	62.66
	全体	150	0	198	8.29	1192	24.43
(3)同種血、自己血併用実施(件数)	0～19 床	38	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	68	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	34	0	14	0.68	23	2.45
	500床 以上	10	0	30	5.80	58	10.72
	全体	150	0	30	0.98	81	3.21
(4)実施合計件数	0～19 床	39	1	500	26.03	1015	79.14
	20～199 床	68	4	1431	229.82	15628	285.61
	200～499 床	34	17	5467	1510.59	51360	1474.75
	500床 以上	10	1900	10320	5374.80	53748	3028.39
	全体	151	1	10320	796.50	121751	1696.93

1-164. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血を実施した実患者数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)同種血のみ実施(件数)	0～19 床	40	1	55	7.83	313	12.00
	20～199 床	67	0	340	86.09	5768	83.81
	200～499 床	32	8	2021	493.59	15795	447.68
	500床 以上	13	611	1713	1118.85	14545	389.76
	全体	152	0	2021	237.23	36421	401.55
(2)自己血のみ実施(件数)	0～19 床	39	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	67	0	34	1.84	123	5.61
	200～499 床	32	0	101	12.94	414	24.49
	500床 以上	13	4	117	42.92	558	41.76
	全体	151	0	117	7.59	1095	20.52
(3)同種血、自己血併用実施(件数)	0～19 床	39	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	67	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	31	0	3	0.29	9	0.64
	500床 以上	13	0	10	3.38	44	3.88
	全体	150	0	10	0.79	53	1.48
(4)実施合計件数	0～19 床	40	1	55	7.83	313	12.00
	20～199 床	67	4	340	87.93	5891	84.42
	200～499 床	32	12	2031	506.81	16218	452.44
	500床 以上	13	632	1808	1165.15	15147	402.50
	全体	152	1	2031	244.68	37569	413.90

3-6) 日赤製剤の発注について

1-201. 日赤への輸血用血液製剤の注文方法として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	手書きしたものをFax送信する	15	38.46%	6	8.45%	1	2.78%	2	15.38%	24	15.09%
2	印刷した物をFax送信する	0	0.00%	1	1.41%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
3	輸血システムから直接Fax送信する	1	2.56%	0	0.00%	1	2.78%	0	0.00%	2	1.26%
4	Webシステムで注文する	22	56.41%	61	85.92%	32	88.89%	8	61.54%	123	77.36%
5	電話で注文する	1	2.56%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
6	その他	0	0.00%	3	4.23%	2	5.56%	3	23.08%	8	5.03%
	回答施設合計	39		71		36		13		159	

「その他」の場合

- ・基本 Web、時間外非輸血専従者は、FAX 送信
- ・日勤帯は Web システムで注文。夜間・休診日は手書き FAX
- ・休日・夜勤帯の輸血専任技師以外は手書き FAX、それ以外は Web システム
- ・輸血システムから直接 FAX と Web システムの併用
- ・(2) (4) が混在。
- ・平日日勤帯は Web システムで注文。土日夜勤帯は電話後手書きしたものを FAX 送信する。
- ・(1) から (4) へ移行した。
- ・1.4 併用

3-7) 院内調製の製剤について

1-202. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で下記製剤を調製しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	0	0.00%	4	11.11%	5	38.46%	9	5.63%
2	調製しなかった	38	100.00%	73	100.00%	32	88.89%	8	61.54%	151	94.38%
	回答施設合計	38		73		36		13		160	

【該当する院内調製血】

院内調製洗浄血小板製剤	院内分割製剤
同種クリオプレシピテート製剤	

1-203. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で洗浄置換もしくは置換血小板を調製しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%	1	11.11%
2	調製しなかった	0	0.00%	0	0.00%	4	100.00%	4	80.00%	8	88.89%
	回答施設合計	0		0		4		5		9	

洗浄置換もしくは置換血小板を調製した件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床						
200～499 床						
500床 以上	1	97	97	97.00	97	
全体	1	97	97	48.50	97	

1-204. 1-203 で「(1) 調製した」の場合、その理由として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すぐに(当日)洗浄置換もしくは置換血小板を使用したいから	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
2	日赤に洗浄血小板製剤の依頼ができなかったから(土日祭日および夜間など)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
3	血小板輸血で有害反応が発生した場合は、以後の血小板製剤は必ず洗浄して使用しているから	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
4	ABO 異型 HLA 適合血小板を輸血する場合、抗A、抗B抗体価は 128 倍より低値であるが可能な限り洗浄血小板を使用したいから	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	回答施設合計	0		0		0		1		1	

「その他」の場合 回答なし

1-205. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した赤血球液を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%	5	100.00%	8	88.89%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	0	0.00%	1	11.11%
	回答施設合計	0		0		4		5		9	

1-206. 1-205 で「(1) 使用した」の場合、2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した赤血球を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 分割した赤血球を使用した患者数（実数）／人	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	2	15	7.33	22	6.81
	500床 以上	4	7	32	17.75	71	11.18
	全体	7	2	32	11.63	93	10.44
(2) 元製剤の本数／本	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	3	15	9.67	29	6.11
	500床 以上	4	14	45	26.25	105	13.43
	全体	7	3	45	16.75	134	13.46
(3) 分割バッグの輸血した本数（輸血件数）／本	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	12	23	17.50	35	7.78
	500床 以上	4	39	139	70.00	280	47.06
	全体	6	12	139	45.00	315	45.56

1-207. 問 1-206 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	対象症例がない	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	100.00%
2	対象症例がいるができない（設備：無菌 接合機・シーラーがない）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	対象症例がいるができない（人的余裕 がない）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	カリウム吸着フィルターを使用すると初 流廃棄量が多いため、分割できないと 判断している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		0		1	

1-208. 問 1-207 で「(2)、(3)：対象症例がいるができない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-209. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した濃厚血小板を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	4	80.00%	6	66.67%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	1	20.00%	3	33.33%
	回答施設合計	0		0		4		5		9	

1-210. 問 1-209 で「(1) 使用した」の場合、2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した濃厚血小板を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 分割した濃厚血小板を使用した患者数（実数）/人	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	2	2	2.00	4	0.00
	500床 以上	3	1	8	3.33	10	4.04
	全体	5	1	8	2.33	14	2.95
(2) 元製剤の本数/本	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	2	2	2.00	4	0.00
	500床 以上	3	1	88	30.00	90	50.23
	全体	5	1	88	15.67	94	38.69
(3) 分割バッグの輸血した本数（輸血件数）/本	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	3	4	3.50	7	0.71
	500床 以上	3	2	207	70.67	212	118.07
	全体	5	2	207	36.50	219	91.23

1-211. 問 1-209 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	対象症例がない	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%	1	100.00%	3	100.00%
2	対象症例があるができない（設備：無菌接合機・シーラーがない）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	対象症例があるができない（人的余裕がない）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	カリウム吸着フィルターを使用すると初流廃棄量が多いため、分割できないと判断している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		2		1		3	

1-212. 問 1-211 で「(2)、(3)：対象症例があるができない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-213. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した新鮮凍結血漿を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	2	40.00%	3	33.33%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%	3	60.00%	6	66.67%
	回答施設合計	0		0		4		5		9	

1-214. 1-213 で「(1) 使用した」の場合、2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で分割した新鮮凍結血漿を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 分割した新鮮凍結血漿を使用した患者数	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	6	6	6.00	6	
	500床 以上	1	13	13	13.00	13	
	全体	2	6	13	6.33	19	4.95
(2) 元製剤の本数／本	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	10	10	10.00	10	
	500床 以上	1	14	14	14.00	14	
	全体	2	10	14	8.00	24	2.83
(3) 分割バッグの輸血した本数(輸血件数)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	1	40	40	40.00	40	
	全体	1	40	40	20.00	40	

1-215. 1-213 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	対象症例がない	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	2	66.67%	5	83.33%
2	対象症例がいるができない(設備:無菌接合機・シーラーがない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	対象症例がいるができない(人的余裕がない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	カリウム吸着フィルターを使用すると初流廃棄量が多いため、分割できないと判断している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	33.33%
	回答施設合計	0		0		3		3		6	

「その他」の場合

- ・期限管理が曖昧となってしまう。
- ・輸血室で融解をしていないため、分割もしていない

1-216. 1-215 で「(2)、(3)：対象症例がいるが分割できない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-217. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)からクリオプレシピテートを作製しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作製した	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%	3	60.00%	6	66.67%
2	作製しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	2	40.00%	3	33.33%
	回答施設合計	0		0		4		5		9	

1-218. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)から作製したクリオプレシピテートを使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	3	100.00%	6	100.00%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		3		3		6	

1-219. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に作製し使用した、クリオプレシピテートの調製用製剤となった血漿製剤の使用総袋（本）数を、患者同型供給の場合は(1)に、AB 型供給のみに統一している場合は(2)に記入してください

【(1) 患者血液型同型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	2	0	0	0.00	0	0.00
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	2	0	0	0.00	0	0.00
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	44	22.00	44	31.11
	500床 以上	2	27	210	118.50	237	129.40
	全体	4	0	210	56.20	281	94.91

【(2) AB 型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	3	0	0	0.00	0	0.00
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	3	0	0	0.00	0	0.00
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	20	48	34.00	68	19.80
	500床 以上	2	32	138	85.00	170	74.95
	全体	4	20	138	47.60	238	53.58

1-220. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)からクリオプレシピテートを作製したが、使用せずに廃棄しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	廃棄した	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%	1	50.00%	3	60.00%
2	廃棄しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	50.00%	2	40.00%
	回答施設合計	0		1		2		2		5	

1-221. 1-220 で「(1) 廃棄した」の場合、廃棄したクリオプレシピテートの調製用製剤となった血漿製剤の廃棄総袋（本）数を、患者同型供給の場合は(1) に、AB 型供給のみに統一している場合は(2)に記入してください

【(1) 患者血液型同型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体						
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体						
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体						

【(2) AB 型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	0	0	0.00	0	
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	0	0	0.00	0	
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480 製剤／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	9	9	9.00	9	
	500床 以上	1	5	5	5.00	5	
	全体	2	5	9	4.67	14	2.83

1-222. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に院内で合成血を調製しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	調製しなかった	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	3	100.00%	6	100.00%
	回答施設合計	0		0		3		3		6	

3-8) 放射線未照射輸血用血液製剤使用について

1-223. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で放射線未照射日赤製剤を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	使用しなかった	39	100.00%	70	100.00%	36	100.00%	13	100.00%	158	100.00%
	回答施設合計	39		70		36		13		158	

1-224. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血が行われた放射線未照射日赤製剤の製剤別単位数を記入してください 回答なし

1-225. 放射線未照射日赤製剤を使用した理由として当てはまるものを全て選んでください
複数回答 回答なし

1-226. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で放射線未照射院内製剤を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	使用しなかった	38	100.00%	68	100.00%	35	100.00%	13	100.00%	154	100.00%
	回答施設合計	38		68		35		13		154	

1-227. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血が行われた放射線未照射院内製剤の製剤別単位数を記入してください 回答なし

1-228. 放射線未照射院内製剤を使用した理由として当てはまるものを全て選んでください
複数回答 回答なし

3-9) 外来輸血について

1-229. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で外来にて輸血を行いましたか（但し、救急外来での輸血は除く）

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	14	36.84%	42	59.15%	28	80.00%	13	100.00%	97	61.78%
2	行わなかった	24	63.16%	29	40.85%	7	20.00%	0	0.00%	60	38.22%
	回答施設合計	38		71		35		13		157	

1-230. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に外来で各製剤を輸血した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／件	0～19 床	14	1	179	24.07	337	45.26
	20～199 床	37	1	717	51.05	1889	142.61
	200～499 床	24	1	1257	193.88	4653	314.86
	500床 以上	12	81	1904	885.92	10631	576.58
	全体	87	1	1904	199.40	17510	397.62
2) 血小板製剤／件	0～19 床	12	0	52	4.33	52	15.01
	20～199 床	35	0	283	9.46	331	47.92
	200～499 床	24	0	297	35.96	863	83.44
	500床 以上	12	0	1169	254.25	3051	328.95
	全体	83	0	1169	51.57	4297	156.90
(3) 血漿製剤／件	0～19 床	12	0	1	0.08	1	0.29
	20～199 床	34	0	3	0.15	5	0.61
	200～499 床	24	0	18	1.63	39	4.55
	500床 以上	12	0	278	42.17	506	79.18
	全体	82	0	278	7.05	551	32.80

1-231. 外来輸血の実施場所として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	外来処置室	2	14.29%	35	83.33%	25	86.21%	13	100.00%	75	76.53%
2	外来の空いている診察室	0	0.00%	4	9.52%	0	0.00%	2	15.38%	6	6.12%
3	輸血部のベッド	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	1.02%
4	病棟の空きベッド	0	0.00%	3	7.14%	1	3.45%	0	0.00%	4	4.08%
5	その他	12	85.71%	10	23.81%	5	17.24%	0	0.00%	27	27.55%
	回答施設合計	14		42		29		13		98	

1-232. 外来輸血後、院内で経過観察する時間を設けていますか（会計等のための待ち時間は含みません）

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	設けている	13	92.86%	28	70.00%	16	59.26%	12	100.00%	69	74.19%
2	設けていない	1	7.14%	12	30.00%	11	40.74%	0	0.00%	24	25.81%
	回答施設合計	14		40		27		12		93	

1-233. 経過観察する時間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	30分未満	0	0.00%	9	33.33%	6	37.50%	3	25.00%	18	26.47%
2	30分～60分	8	61.54%	14	51.85%	7	43.75%	7	58.33%	36	52.94%
3	60分以上	5	38.46%	4	14.81%	3	18.75%	2	16.67%	14	20.59%
	回答施設合計	13		27		16		12		68	

1-234. 帰宅後に見られる輸血関連有害事象（または輸血副反応）の説明を行っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	文書・口頭で実施している	5	35.71%	23	58.97%	11	42.31%	11	91.67%	50	54.95%
2	口頭で実施している	6	42.86%	12	30.77%	11	42.31%	0	0.00%	29	31.87%
3	文章を渡すのみ	2	14.29%	3	7.69%	0	0.00%	1	8.33%	6	6.59%
4	実施していない	1	7.14%	1	2.56%	4	15.38%	0	0.00%	6	6.59%
	回答施設合計	14		39		26		12		91	

1-235. 帰宅後に輸血関連有害事象が発生した時の連絡先の説明方法について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	文書・口頭で実施している	6	42.86%	15	39.47%	10	40.00%	9	75.00%	40	44.94%
2	口頭で実施している	6	42.86%	19	50.00%	9	36.00%	2	16.67%	36	40.45%
3	文章を渡すのみ	1	7.14%	3	7.89%	1	4.00%	1	8.33%	6	6.74%
4	実施していない	1	7.14%	1	2.63%	5	20.00%	0	0.00%	7	7.87%
	回答施設合計	14		38		25		12		89	

1-236. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に、外来輸血を受けて帰宅した後に輸血関連有害事象が発生した時の対応として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	連携医療機関で対応してもらった	0	0.00%	1	2.63%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.09%
2	近隣救急センターを利用してもらった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	救急外来で対応した	0	0.00%	1	2.63%	1	3.57%	3	25.00%	5	5.43%
4	翌日に外来を受診してもらった	0	0.00%	1	2.63%	0	0.00%	1	8.33%	2	2.17%
5	往診した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	電話連絡のみで済ませた	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	1.09%
7	連絡はなかった	13	92.86%	37	97.37%	25	89.29%	9	75.00%	84	91.30%
8	連絡を受ける体制がない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	その他	1	7.14%	0	0.00%	3	10.71%	0	0.00%	4	4.35%
	回答施設合計	14		38		28		12		92	

3-10) 病院外（介護施設・在宅）輸血について

1-237. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に病院外(介護施設・在宅)で輸血を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行わなかった	32	84.21%	70	100.00%	35	100.00%	11	100.00%	148	96.10%
2	関連病院と連携して介護施設・在宅両方で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	関連病院と連携して介護施設で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	関連病院と連携して在宅で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	関連病院と連携なく介護施設・在宅両方で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	関連病院と連携なく介護施設で実施した	1	2.63%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.65%
7	関連病院と連携なく在宅で実施した	5	13.16%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.25%
	回答施設合計	38		70		35		11		154	

1-238. 病院外で輸血を実施した理由として当てはまるものについて、その件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 病院まで距離が遠いため	0～19 床	6	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	0	0.00	0	0.00
(2) 通院困難	0～19 床	6	0	2	0.50	3	0.84
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	2	0.43	3	0.84
(3) 在宅治療を行っているため	0～19 床	6	0	9	2.33	14	3.33
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	9	2.00	14	3.33
(4) 終末期医療のため	0～19 床	6	0	1	0.17	1	0.41
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	1	0.14	1	0.41
(5) 病診連携で病院より依頼されたため	0～19 床	6	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	0	0.00	0	0.00
(6) 患者からの希望	0～19 床	6	0	1	0.17	1	0.41
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	1	0.14	1	0.41
(7) その他	0～19 床	6	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	6	0	0	0.00	0	0.00

1-239. 1-238 で「(2) 通院困難」の場合、通院困難な理由として当てはまるものについて、その件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 交通事情	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 寝たきり	0～19 床	2	0	2	1.00	2	1.41
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	2	0	2	0.67	2	1.41
(3) 身体障害	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(4) 認知症	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.71
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	2	0	1	0.33	1	0.71
(5) その他	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00

1-240. 1-238 で「(3) 在宅治療を行っているため」の場合、患者の疾患として当てはまるものについて、その件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 腎臓疾患(透析など)	0～19 床	4	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(2) 血液疾患(貧血など)	0～19 床	4	0	1	0.75	3	0.50
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	1	0.60	3	0.50
(3) 血液悪性疾患(MDS、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など)	0～19 床	4	0	1	0.25	1	0.50
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	1	0.20	1	0.50
(4) 悪性新生物	0～19 床	4	0	7	2.25	9	3.30
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	7	1.80	9	3.30
(5) 消化器疾患(悪性新生物は除く)	0～19 床	4	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(6) 産婦人科疾患(悪性新生物は除く)	0～19 床	4	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(7) その他	0～19 床	4	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00

1-241. 病院外輸血のインフォームド・コンセント(IC)について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同じ説明・同意書で行っている	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
2	病院外(介護施設・在宅)輸血用の説明・同意書を別に作成し使用している	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
3	その他	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-242. 赤血球製剤の保存に用いている保冷库として当てはまるものを選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液専用保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	血液専用保冷库(自記式記録計付き)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	血液専用保冷库(自記式記録計なし、警報装置なし)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	薬品保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	薬品保冷库(自記式記録計付き)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	薬品保冷库(自記式記録計なし、警報装置なし)	3	7.89%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
7	家庭用冷蔵・冷凍庫	3	7.89%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
8	保冷ボックス	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-243. 複数人分の輸血用血液製剤を同じ場所で保管することがありますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
2	ない	5	83.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-244. 病院外（介護施設・在宅）輸血での交差適合試験の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自院で必ず行っている	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
2	院外の検査センターで必ず行っている	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
3	関連病院で必ず行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	自院、院外の検査センターもしくは関連病院で必ず行っている	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
5	症例によって実施したりしなかったりする	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	実施していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-245. 輸血前後の感染症検査（HBV、HCV、HIV）の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	院内と同様に実施している	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
2	ほとんど実施していない	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%
3	その他	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-246. 輸血前後の検体保存の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	院内と同様に実施している	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%
2	ほとんど実施していない	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
3	その他	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-247. 病院外（介護施設・在宅）輸血を行う場合に実施困難な検査として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査の二重チェック	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
2	血液型検査のウラ試験	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
3	不規則抗体スクリーニング	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	間接抗グロブリン試験(ケームス法)による交差適合試験	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	輸血前感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	輸血後感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-248. 輸血の実施者として当てはまるものを全て選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%
2	輸血担当施設の看護師	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
3	訪問看護ステーションの看護師	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-249. 病院外（介護施設・在宅）輸血後の患者観察（5 分後、15 分後）の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	バイタルサインと患者の症状を確認する	5	83.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%
2	患者の症状のみを確認する	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
3	ほとんど行っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-250. 輸血中に付添う医療従事者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	3	60.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	60.00%
2	輸血担当施設の看護師	5	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	100.00%
3	訪問看護ステーションの看護師	3	60.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	60.00%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	1	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%
	回答施設合計	5		0		0		0		5	

1-251. 輸血中に医療従事者以外で付き添う方として当てはまるものを全て選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	患者の家族	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
2	患者の隣人・知人	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	ヘルパー	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	いない(独居)	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%
5	その他	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

「その他」の場合

・施設看護師

1-252. 輸血終了時の抜針の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
2	輸血担当施設の看護師	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
3	訪問看護ステーションの看護師	3	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-253. 輸血バッグの廃棄方法として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設で廃棄	5	83.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%
2	訪問看護ステーションで廃棄	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%
3	連携病院で廃棄	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-254. 病院外（介護施設・在宅）輸血に際して、自施設で実施している項目を全て選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血開始のための血管確保	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%
2	輸血中の観察	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
3	輸血中の有害事象への対応	6	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%
4	輸血後の抜針	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
5	輸血終了後の輸血バッグの廃棄	5	83.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%
6	輸血終了後(患家を離れた後)の有害事象への対応	5	83.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

1-255. 病院外（介護施設・在宅）輸血に際して、訪問看護ステーションで実施している項目を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血開始のための血管確保	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
2	輸血中の観察	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
3	輸血中の有害事象への対応	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
4	輸血後の抜針	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
5	輸血終了後の輸血バッグの廃棄	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
6	輸血終了後(患家を離れた後)の有害事象への対応	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-256. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で行った病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数と総単位数を記入してください

病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数と総単位数									
項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 赤血球製剤	件数(件)	0～19 床	6	1	22	7.83	47	10.23	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	6	1	22	6.71	47	10.23	
	単位	0～19 床	6	2	44	17.83	107	18.87	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	6	2	44	15.29	107	18.87	
(2) 血小板製剤	件数(件)	0～19 床	5	0	12	2.40	12	5.37	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	5	0	12	2.00	12	5.37	
	単位	0～19 床	5	0	140	28.00	140	62.61	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	5	0	140	23.33	140	62.61	
(3) 血漿製剤	件数(件)	0～19 床	5	0	0	0.00	0	0.00	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	5	0	0	0.00	0	0.00	
	単位	0～19 床	5	0	0	0.00	0	0.00	
		20～199 床							
		200～499 床							
		500床 以上							
		全体	5	0	0	0.00	0	0.00	

1-257. 病院外（介護施設・在宅）輸血後の副反応発症時の対応策として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同様に行っている	4	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%
2	連絡をもらい適切な処置をとるように決めている	2	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%
3	関連病院と連携をとり適切な処置を取るように決めている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	特に決めていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	6		0		0		0		6	

3-11) 輸血副反応について

1-258. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、輸血副反応が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	2	5.13%	22	31.43%	29	82.86%	13	100.00%	66	42.04%
2	発生しなかった	37	94.87%	44	62.86%	5	14.29%	0	0.00%	86	54.78%
3	把握していない	0	0.00%	4	5.71%	1	2.86%	0	0.00%	5	3.18%
	回答施設合計	39		70		35		13		157	

1-259. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で、輸血副反応が発生した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 発熱	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	19	3.73	82	5.302
	200～499 床	28	0	27	5.64	158	6.690
	500床 以上	13	0	149	25.54	332	37.922
	全体	65	0	149	9.02	573	19.236
(2) 悪寒・戦慄	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	2	0.41	9	0.734
	200～499 床	27	0	6	0.89	24	1.553
	500床 以上	13	0	8	4.46	58	2.504
	全体	64	0	8	1.75	92	2.189
(3) 熱感・ほてり	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	5	0.36	8	1.093
	200～499 床	27	0	4	0.81	22	1.442
	500床 以上	13	0	7	2.31	30	2.562
	全体	64	0	7	1.26	60	1.745
(4) 掻痒感・かゆみ	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	4	0.91	20	1.306
	200～499 床	27	0	77	5.52	149	15.678
	500床 以上	13	0	49	16.31	212	15.129
	全体	64	0	77	6.22	382	13.329
(5) 発赤・顔面紅潮	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	4	0.68	15	1.129
	200～499 床	27	0	16	2.30	62	3.871
	500床 以上	13	0	14	5.54	72	4.557
	全体	64	0	16	2.63	149	3.716
(6) 発疹・蕁麻疹	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	16	1.86	41	4.121
	200～499 床	27	0	91	11.33	306	21.525
	500床 以上	13	0	53	22.23	289	15.034
	全体	64	0	91	10.14	637	17.249

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(7) 呼吸困難	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	2	0.41	9	0.666
	200～499 床	27	0	5	0.44	12	1.086
	500床 以上	13	0	6	2.00	26	1.958
	全体	64	0	6	1.06	47	1.336
(8) 嘔気・嘔吐	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	5	0.59	13	1.141
	200～499 床	27	0	4	0.74	20	1.196
	500床 以上	13	0	7	2.00	26	2.273
	全体	64	0	7	1.26	60	1.521
(9) 胸痛・腹痛・腰背部痛	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	3	0.18	4	0.664
	200～499 床	27	0	3	0.30	8	0.724
	500床 以上	13	0	1	0.23	3	0.439
	全体	64	0	3	0.57	15	0.636
(10) 頭痛・頭重感	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	1	0.14	3	0.351
	200～499 床	27	0	2	0.22	6	0.506
	500床 以上	13	0	2	0.38	5	0.650
	全体	64	0	2	0.57	15	0.496
(11) 血圧低下	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	2	0.41	9	0.590
	200～499 床	27	0	10	1.07	29	2.074
	500床 以上	13	0	6	2.92	38	2.397
	全体	64	0	10	1.51	76	1.967
(12) 血圧上昇	0～19 床	2	0	1	0.50	1	0.707
	20～199 床	22	0	3	0.27	6	0.703
	200～499 床	27	0	6	0.74	20	1.583
	500床 以上	13	0	3	1.08	14	1.320
	全体	64	0	6	0.97	41	1.277
(13) 動悸・頻脈	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	1	0.09	2	0.294
	200～499 床	27	0	3	0.44	12	0.847
	500床 以上	13	0	5	1.08	14	1.553
	全体	64	0	5	0.77	28	0.957
(14) 血管痛	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	1	0.09	2	0.294
	200～499 床	27	0	1	0.15	4	0.362
	500床 以上	13	0	1	0.23	3	0.439
	全体	64	0	1	0.48	9	0.350
(15) 意識障害	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	0	0.00	0	0.000
	200～499 床	27	0	1	0.04	1	0.192
	500床 以上	13	0	2	0.31	4	0.630
	全体	64	0	2	0.42	5	0.324
(16) 赤褐色尿	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	0	0.00	0	0.000
	200～499 床	27	0	1	0.07	2	0.267
	500床 以上	13	0	1	0.08	1	0.277
	全体	64	0	1	0.38	3	0.213

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(17) その他	0～19 床	2	0	0	0.00	0	0.000
	20～199 床	22	0	3	0.36	8	0.790
	200～499 床	27	0	4	0.59	16	1.152
	500床 以上	13	0	17	3.62	47	5.966
	全体	64	0	17	1.43	71	3.030

3-12) へき地・離島における輸血管理について

1-260. 貴施設の所在地として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	へき地	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	離島	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	どちらにも該当しない	39	100.00%	69	100.00%	35	100.00%	11	100.00%	154	100.00%
	回答施設合計	39		69		35		11		154	

以下、1-261～1-281 まで回答なし

1-261. 血液センターからの血液製剤の定期搬送にかかる時間として当てはまるものを1つ選んでください

1-262. 貴施設はへき地・離島で中核となる医療機関ですか

1-263. 貴施設は地域医療支援病院ですか

1-264. 貴施設は輸血管理料を算定していますか

1-265. 輸血管理料の算定項目として当てはまるものを1つ選んでください

1-266. 貴施設は地域の合同輸血療法委員会に参加していますか

1-267. 地域の合同輸血療法委員会で僻地・離島の輸血医療連携について検討したことはありますか

1-268. 貴施設では過去に地域の医療施設へ緊急避難的に血液製剤を供給したことがありますか

1-269. 貴施設では過去に地域の病院から緊急避難的に血液製剤を受領したことがありますか

1-270. 貴施設では緊急避難的な血液製剤の供給・受領についてのマニュアルがありますか

1-271. 貴施設の所在地域では緊急避難的な血液の融通を行う必要がありますか

1-272. 貴施設では輸血医療を行っている小規模医療機関に対して技術的な指導を行うことは可能ですか

1-273. 貴施設で実施可能な指導として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

1-274. 貴施設ではブラッドローテンション (BR) を行う要望はありますか

1-275. 問 1-257 で「(1) ある」と回答された施設へ、ATR の使用 (活用) を希望しますか

1-276. 貴施設の所在地域で BR を検討したことがありますか

1-277. 貴施設では輸血が必要な重篤な病態をもつ患者の受け入れが可能ですか

1-278. 貴施設の所在地域の自治体に輸血医療の地域連携についての要請・相談などをしたことがありますか

1-279. 貴施設の所在地域の血液センターに輸血の搬送体制等の要請・相談などをしたことがありますか

1-280. 貴施設の所在地域での自治体や血液センターとの輸血医療連携について問題点があれば記入してください

1-281. 貴施設の所在地域以外の自治体・血液センターとの輸血医療連携について問題点があれば記入してください

3-13) 自己血製剤使用の実績について

1-282. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で自己血（貯血式・希釈式・回収式）を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	12	16.90%	23	65.71%	12	100.00%	47	29.56%
2	使用しなかった	41	100.00%	59	83.10%	12	34.29%	0	0.00%	112	70.44%
	回答施設合計	41		71		35		12		159	

1-283. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間での自己血（貯血式・希釈式・回収式）に関するデータ集計にあたっての主な抽出方法はどちらですか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	システムから抽出している	0	0.00%	5	41.67%	20	90.91%	10	83.33%	35	76.09%
2	手作業(システムを使用していない)	0	0.00%	7	58.33%	2	9.09%	2	16.67%	11	23.91%
	回答施設合計	0		12		22		12		46	

1-284. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で貯血式自己血を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	12	100.00%	22	95.65%	12	100.00%	46	97.87%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	4.35%	0	0.00%	1	2.13%
	回答施設合計	0		12		23		12		47	

1-285. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で貯血式自己血採血の症例数（実患者数）を記入してください

貯血式自己血採血の症例数(人)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床	12	1	37	10.25	123	10.64
200～499 床	21	1	152	26.62	559	35.44
500床 以上	11	4	131	48.18	530	44.45
全体	44	1	152	27.20	1212	35.57

1-286. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で貯血式自己血採血の総件数を記入してください

貯血式自己血輸血採血の総件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0～19 床						
20～199 床	12	1	37	12.17	146	11.17
200～499 床	22	2	380	42.41	933	79.73
500床 以上	12	7	243	80.33	964	72.17
全体	46	1	380	43.72	2043	69.95

1-287. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用した貯血式自己血の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 貯血式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床	11	0	9	1.00	11	2.68
	200～499 床	22	0	32	3.45	76	8.73
	500床 以上	12	0	86	20.33	244	32.34
	全体	45	0	86	7.43	331	19.06
(2) 貯血式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床	12	0	39	11.58	139	12.02
	200～499 床	21	0	188	29.38	617	45.69
	500床 以上	12	6	172	68.33	820	63.61
	全体	45	0	188	34.52	1576	49.64

【特別集計：貯血式自己血の使用総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血の使用総袋(本)	0～19 床						
	20～199 床	12	0	39	12.50	150	11.56
	200～499 床	22	2	188	31.50	693	46.36
	500床 以上	12	7	243	88.67	1064	90.13
	全体	46	0	243	40.83	1907	62.36
貯血式自己血の使用総単位数	0～19 床						
	20～199 床	12	0	78	24.08	289	23.45
	200～499 床	22	4	376	59.55	1310	90.98
	500床 以上	12	13	401	157.00	1884	152.62
	全体	46	0	401	74.36	3483	110.87

【特別集計：一般病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量】

一般病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量(単位) (計算式:貯血式自己血製剤使用量÷一般病床数)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血／単位	0～19 床						
	20～199 床	12	0.0000	1.1143	0.2603	3.1232	0.33
	200～499 床	22	0.0089	0.9424	0.1624	3.5737	0.23
	500床 以上	12	0.0214	0.6772	0.2280	2.7355	0.22
	全体	46	0.0000	1.1143	0.4560	9.4324	0.26

1-288. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用せずに廃棄した貯血式自己血はありましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	5	41.67%	15	68.18%	11	91.67%	31	67.39%
2	なかった	0	0.00%	7	58.33%	7	31.82%	1	8.33%	15	32.61%
	回答施設合計	0		12		22		12		46	

1-289. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用せずに廃棄した貯血式自己血の総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)貯血式自己血(200mL)廃棄総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床	5	0	2	0.60	3	0.89
	200～499 床	15	0	2	0.53	8	0.83
	500床 以上	11	0	7	1.91	21	2.07
	全体	31	0	7	1.16	32	1.52
(2)貯血式自己血(400mL)廃棄総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床	5	0	3	1.80	9	1.30
	200～499 床	15	0	188	18.93	284	47.76
	500床 以上	11	0	34	14.09	155	10.77
	全体	31	0	188	14.16	448	33.76

【特別集計：貯血式自己血の廃棄総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血の廃棄総袋(本)	0～19 床						
	20～199 床	5	1	3	2.40	12	0.89
	200～499 床	15	1	188	19.47	292	47.58
	500床 以上	11	1	41	16.00	176	12.17
	全体	31	1	188	15.16	480	33.80
貯血式自己血の廃棄総単位数	0～19 床						
	20～199 床	5	2	6	4.20	21	2.05
	200～499 床	15	1	376	38.40	576	95.33
	500床 以上	11	1	75	30.09	331	22.90
	全体	31	1	376	29.16	928	67.55

1-290. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で貯血式自己血輸血の実績（実際に使用されたもの）を記入してください

貯血式自己血輸血の実績(単位)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 全血／単位	0～19 床						
	20～199 床	11	0	78	20.73	228	25.10
	200～499 床	22	0	380	61.64	1356	109.61
	500床 以上	11	0	378	126.73	1394	135.68
	全体	44	0	380	66.42	2978	108.49
(2) MAP／単位	0～19 床						
	20～199 床	11	0	10	0.91	10	3.02
	200～499 床	22	0	29	2.05	45	6.49
	500床 以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	44	0	29	1.47	55	4.84
(3) FFP／単位	0～19 床						
	20～199 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	22	0	25	1.32	29	5.36
	500床 以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	43	0	25	0.89	29	3.85
(4) フィブリン糊／単位	0～19 床						
	20～199 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	22	0	19	0.86	19	4.05
	500床 以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	43	0	19	0.66	19	2.90
(5) 血小板糊／単位	0～19 床						
	20～199 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	22	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	43	0	0	0.00	0	0.00

1-291. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で血管迷走神経反応（VVR）の発生件数を、下記の判定基準を参照の上で、重症度別に記入してください

血管迷走神経反応(VVR)の発生件数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) I 度 件／年	0～19 床						
	20～199 床	11	0	78	20.73	228	25.10
	200～499 床	22	0	380	61.64	1356	109.61
	500床 以上	11	0	378	126.73	1394	135.68
	全体	44	0	380	66.42	2978	108.49
(2) II 度 件／年	0～19 床						
	20～199 床	11	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	20	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	10	0	0	0.00	0	0.00
	全体	41	0	0	0.00	0	0.00
(3) III 度 件／年	0～19 床						
	20～199 床	11	0	0	0.00	0	0.00
	200～499 床	20	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	10	0	0	0.00	0	0.00
	全体	41	0	0	0.00	0	0.00

1-292. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で希釈式自己血を使用しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	2	9.52%	2	20.00%	4	9.30%
2	使用しなかった	0	0.00%	12	100.00%	19	90.48%	8	80.00%	39	90.70%
	回答施設合計	0		12		21		10		43	

1-293. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用した、希釈式自己血の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 希釈式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	2	1.00	2	1.41
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	3	0	2	0.67	2	1.15
(2) 希釈式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	4	4	4.00	8	0.00
	500床 以上	1	4	4	4.00	4	
	全体	3	4	4	4.00	12	0.00

【特別集計：希釈式自己血の使用総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
希釈式自己血の使用総袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	4	6	5.00	10	1.41
	500床 以上	1	4	4	4.00	4	
	全体	3	4	6	3.50	14	1.15
希釈式自己血の使用総単位数	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	8	10	9.00	18	1.41
	500床 以上	1	8	8	8.00	8	
	全体	3	8	10	6.50	26	1.15

1-294. 希釈式自己血の運用について輸血部門が関与していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	関与している	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%	1	50.00%	3	75.00%
2	関与していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	25.00%
	回答施設合計	0		0		2		2		4	

1-295. 希釈式自己血の運用について輸血部門が関与している項目を選択してください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	バッグラベルの作成	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	100.00%	2	66.67%
2	採取バッグの準備	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%
3	手術室での採取補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%
4	運用マニュアルの作成	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	100.00%	2	66.67%
	回答施設合計	0		0		2		1		3	

1-296. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で回収式自己血を使用しましたか

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した(濃縮・洗浄法)	0	0.00%	1	8.33%	6	28.57%	6	50.00%	13	28.89%
2	使用した(濾過法)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	2.22%
3	使用しなかった	0	0.00%	11	91.67%	15	71.43%	5	41.67%	31	68.89%
	回答施設合計	0		12		21		12		45	

1-297. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用した、回収式自己血の件数と使用総量を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 回収式自己血使用件数(件)	0～19 床						
	20～199 床	1	17	17	17.00	17	
	200～499 床	5	32	337	146.40	732	125.99
	500床 以上	5	73	558	213.40	1067	201.37
	全体	11	17	558	165.09	1816	161.56
(2) 回収式自己血使用総量(mL)	0～19 床						
	20～199 床	1	4250	4250	4250.00	4250	
	200～499 床	5	3496	202200	64140.00	320700	83459.59
	500床 以上	4	59486	89316	71137.00	284548	14180.89
	全体	10	3496	202200	60949.80	609498	59764.51

1-298. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で術後に手術室から移動した後に回収式自己血輸血を開始したことがありましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	0	0.00%	3	60.00%	3	60.00%	6	54.55%
2	なかった	0	0.00%	1	100.00%	2	40.00%	2	40.00%	5	45.45%
	回答施設合計	0		1		5		5		11	

1-299. 手術室、集中治療室など、輸血部門以外で回収式自己血の一時保管していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	0	0.00%	3	60.00%	1	16.67%	4	33.33%
2	していない	0	0.00%	1	100.00%	2	40.00%	5	83.33%	8	66.67%
	回答施設合計	0		1		5		6		12	

1-300. 回収式自己血の運用について輸血部門が関与していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	関与している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	14.29%	1	7.69%
2	関与していない	0	0.00%	1	100.00%	5	100.00%	6	85.71%	12	92.31%
	回答施設合計	0		1		5		7		13	

1-301. 回収式自己血の運用について輸血部門が関与している項目として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	バッグラベルの作成	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
2	採取バッグの準備	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	手術室での採取補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	運用マニュアルの作成	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		1		1	

1-302. 自己フィブリン糊の作製について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自己クリオプレシビテート(用手法)を作製している	0	0.00%	0	0.00%	1	4.55%	1	8.33%	2	4.35%
2	自己フィブリン糊(調製装置法)を作製している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	自己クリオプレシビテート(用手法)と自己フィブリン糊(調製装置法)の両方を作製している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	いいえ(将来作製予定)	0	0.00%	1	8.33%	2	9.09%	0	0.00%	3	6.52%
5	いいえ(今後も作製する予定はない)	0	0.00%	11	91.67%	19	86.36%	11	91.67%	41	89.13%
	回答施設合計	0		12		22		12		46	

1-303. 自己フィブリン糊を使用している診療科として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	脳神経外科・間脳下垂体外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	50.00%
2	心臓血管外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%
3	整形外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	50.00%
4	産婦人科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	呼吸器外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	消化器外科・肝胆膵外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	歯科・口腔外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	耳鼻咽喉科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	皮膚科・形成外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	50.00%
10	消化器内科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
11	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		1		2	

【4】一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 詳細調査

4-1) 異型適合血および輸血副反応の実態について

2-1. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血過誤による ABO 型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	1.47%	1	2.86%	1	7.69%	3	1.88%
2	発生しなかった	44	100.00%	67	98.53%	34	97.14%	12	92.31%	157	98.13%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	44		68		35		13		160	

「(1)発生した」場合、症例数を整数で記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数／(件)	0～19 床						
	20～199 床	1	1	1	1	1	
	200～499 床	1	1	1	1	1	
	500床 以上	1	1	1	1	1	
	全体	3	1	1	1	3	0

2-2. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血用血液製剤（赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤）の ABO 異型適合血輸血を実施した事例はありましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	3	4.48%	16	47.06%	12	92.31%	31	19.75%
2	なかった	42	97.67%	63	94.03%	18	52.94%	1	7.69%	124	78.98%
3	不明	1	2.33%	1	1.49%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.27%
	回答施設合計	43		67		34		13		157	

2-3. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血用血液製剤の ABO 異型適合血輸血を実施した総件数と総使用単位数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 同型血入手不能時のO型赤血球製剤の輸血	事例数／件	0～19 床					
		20～199 床					
		200～499 床	10	0	1	0.30	0.48
		500床 以上	8	0	2	0.38	0.74
		全体	18	0	2	0.33	0.59
	総使用単位数	0～19 床					
		20～199 床					
		200～499 床	10	0	14	2.20	4.57
		500床 以上	8	0	14	2.25	4.95
		全体	18	0	14	2.22	4.60
(2) 同型血入手不能時のO型以外の赤血球製剤輸血	事例数／件	0～19 床					
		20～199 床					
		200～499 床	9	0	7	0.78	2.33
		500床 以上	9	0	1	0.11	0.33
		全体	18	0	7	0.44	1.65
	総使用単位数	0～19 床					
		20～199 床					
		200～499 床	9	0	22	2.44	7.33
		500床 以上	9	0	2	0.22	0.67
		全体	18	0	22	1.33	5.18

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(3) 血液型未確定時の O 型赤血球製剤輸血	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床	1	1	1	1.00	1	
		200～499 床	12	0	17	2.92	35	4.60
		500床 以上	11	4	91	28.73	316	27.56
		全体	24	0	91	14.67	352	22.70
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床	1	8	8	8.00	8	
		200～499 床	12	0	78	15.75	189	25.51
		500床 以上	11	10	670	177.82	1956	204.87
		全体	24	0	670	89.71	2153	159.43
(4) 血液型未確定時の O 型以外の赤血球製剤輸血	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	9	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	8	0	0	0.00	0	0.00
		全体	17	0	0	0.00	0	0.00
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	9	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	8	0	0	0.00	0	0.00
		全体	17	0	0	0.00	0	0.00
(5) 造血幹細胞移植による異型輸血	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	10	0	157	21.40	214	50.90
		500床 以上	8	0	17	2.88	23	6.08
		全体	18	0	157	12.47	237	38.43
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	10	0	314	62.00	620	130.72
		500床 以上	8	0	44	9.75	78	18.25
		全体	18	0	314	38.78	698	99.49
(6) ABO 不適合の臓器移植による異型輸血	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	9	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	7	0	13	1.86	13	4.91
		全体	16	0	13	0.81	13	3.25
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	9	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	7	0	66	9.43	66	24.95
		全体	16	0	66	3.88	66	16.50
(7) その他(理由を下の枠内に記入してください)	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	12	0	121	10.58	127	34.78
		500床 以上	10	0	4	0.90	9	1.52
		全体	22	0	121	5.96	137	25.11
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	12	0	874	74.67	896	251.76
		500床 以上	10	0	20	3.20	32	6.48
		全体	22	0	874	41.22	948	181.65

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(8) 合計事例数／件	事例数／件	0～19 床						
		20～199 床	2	1	1	1.00	2	
		200～499 床	16	1	161	24.13	386	48.24
		500床 以上	11	4	91	33.18	365	26.42
		全体	29	1	161	25.97	753	39.54
	総使用単位数	0～19 床						
		20～199 床	2	8	20	14.00	28	8.49
		200～499 床	16	2	874	109.31	1749	228.38
		500床 以上	11	24	670	195.64	2152	195.77
		全体	29	2	874	135.48	3929	210.95

「その他」の場合

- ・ 母親由来の移行抗体を陽性の患児に対する輸血時
- ・ Bm の患者に B を輸血
- ・ 血液型未確定時の AB 型 FFP・PC 使用
- ・ HLA-PC 異型輸血、ABO 表裏不一致のため O 型 RBC・AB 型 PC 使用
- ・ 緊急時の AB 型新鮮凍結血漿製剤輸血
- ・ 新生児への輸血時に母親より抗 A, 抗 B の移行を認めたため
- ・ 母由来移行抗体（母子 ABO 不適合）のため
- ・ 輸血依頼伝票への血液型の誤記と確認ミス。カルテの血液型の確認ミス。

2-4. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で ABO 異型輸血、間違った同型輸血以外の重篤な溶血性副反応（輸血過誤以外）が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	2	6.06%	0	0.00%	2	1.31%
2	発生しなかった	42	100.00%	65	100.00%	31	93.94%	13	100.00%	151	98.69%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	42		65		33		13		153	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)		0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
		500床 以上						
		全体	2	1	1	1.00	2	0.00

2-5. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血関連急性肺障害（TRALI）が発生しましたか（疑いも含む）

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	1.49%	1	2.94%	2	16.67%	4	2.58%
2	発生しなかった	42	100.00%	63	94.03%	33	97.06%	10	83.33%	148	95.48%
3	不明	0	0.00%	3	4.48%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.94%
	回答施設合計	42		67		34		12		155	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床	1	1	1	1.00	1	
	200～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500床 以上	2	1	2	1.50	3	0.71
	全体	4	1	2	1.25	5	0.50

2-6. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で重症アレルギー反応が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%	1	50.00%	3	75.00%
2	発生しなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	25.00%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		1		2		4	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
	500床 以上	2	1	2	1.50	3	0.71
	全体	4	1	2	1.25	5	0.50

2-7. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で移植片対宿主病（GVHD）が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	42	100.00%	63	95.45%	34	100.00%	13	100.00%	152	98.06%
3	不明	0	0.00%	3	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.94%
	回答施設合計	42		66		34		13		155	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

2-8. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血による輸血に重篤な細菌感染症が発生しましたか（疑い例も含む）

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	42	100.00%	63	95.45%	34	100.00%	12	100.00%	151	98.05%
3	不明	0	0.00%	3	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.95%
	回答施設合計	42		66		34		12		154	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

2-9. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で輸血関連純化負荷（TACO）発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	0.65%
2	発生しなかった	42	100.00%	63	95.45%	33	100.00%	11	91.67%	149	97.39%
3	不明	0	0.00%	3	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.96%
	回答施設合計	42		66		33		12		153	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	1	2	2	2	2	
	全体	1	2	2	2	2	

2-10. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で上記(2-4～2-9)以外の重篤な副反応が発生しましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	1.52%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.65%
2	発生しなかった	42	100.00%	61	92.42%	34	100.00%	12	100.00%	149	96.75%
3	不明	0	0.00%	4	6.06%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.60%
	回答施設合計	42		66		34		12		154	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床	1	1	1	1	1	
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体	1	1	1	1	1	

4-2) 輸血管理料

2-11. 輸血管理料取得の有無について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管理料Ⅰを取得している	2	4.76%	2	2.99%	11	32.35%	9	69.23%	24	15.38%
2	輸血管理料Ⅱを取得している	1	2.38%	26	38.81%	18	52.94%	4	30.77%	49	31.41%
3	取得していない	39	92.86%	39	58.21%	5	14.71%	0	0.00%	83	53.21%
	回答施設合計	42		67		34		13		156	

2-12. 2-11 で「(3)取得していない」を回答した施設にお尋ねします。取得できない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会の開催回数をクリアできない	16	47.06%	21	60.00%	1	25.00%	0	0.00%	38	52.05%
2	専任(専従)の輸血責任医師が配置されていない	29	85.29%	30	85.71%	3	75.00%	0	0.00%	62	84.93%
3	専任(専従)の常勤臨床検査技師が配置されていない	30	88.24%	26	74.29%	1	25.00%	0	0.00%	57	78.08%
4	輸血製剤及びアルブミン製剤の一元管理がされていない	11	32.35%	15	42.86%	3	75.00%	0	0.00%	29	39.73%
5	指定された輸血関連検査が常時実施できる体制ではない	19	55.88%	16	45.71%	1	25.00%	0	0.00%	36	49.32%
6	輸血前後の感染症検査ができない	8	23.53%	7	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	15	20.55%
7	輸血前後の検体保存ができない	8	23.53%	6	17.14%	1	25.00%	0	0.00%	15	20.55%
8	副反応監視体制ができない	5	14.71%	2	5.71%	1	25.00%	0	0.00%	8	10.96%
9	輸血療法の実施に関する指針及び血液製剤の使用指針が厳守できていない	2	5.88%	4	11.43%	2	50.00%	0	0.00%	8	10.96%
	回答施設合計	34		35		4		0		73	

2-13. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間での輸血適正使用加算に関する新鮮凍結血漿、赤血球濃厚液及びアルブミン製剤の使用状況、血漿交換療法の回数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球濃厚液(RBC)の使用量(整数)／単位	0～19 床	17	0	684	55.82	949	162.57
	20～199 床	32	0	2824	614.38	19660	567.42
	200～499 床	28	0	11196	2990.93	83746	2536.25
	500床 以上	11	4494	15757	10247.91	112727	4233.97
	全体	88	0	15757	2466.84	217082	3783.91
(2) 新鮮凍結血漿(FFP)の全使用量(整数)／単位	0～19 床	11	0	12	1.82	20	3.74
	20～199 床	30	0	2950	138.23	4147	532.82
	200～499 床	28	0	7078	892.25	24983	1427.35
	500床 以上	11	1276	12564	5518.91	60708	3417.65
	全体	80	0	12564	1123.23	89858	2352.00
(3-1) 血漿交換療法における新鮮凍結血漿(FFP)の使用量(整数)／単位	0～19 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	24	0	1240	56.00	1344	252.59
	200～499 床	27	0	512	78.56	2121	148.77
	500床 以上	11	0	1576	733.09	8064	553.98
	全体	72	0	1576	160.13	11529	364.23
(3-2) 新鮮凍結血漿(FFP)を用いた血漿交換療法の回数(整数)／回	0～19 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	24	0	68	3.25	78	13.84
	200～499 床	26	0	26	2.69	70	5.96
	500床 以上	10	0	77	25.10	251	24.54
	全体	70	0	77	5.70	399	14.83
(4) アルブミン製剤の使用量(小数第二位)／単位	0～19 床	12	0	550	92.37	1108.49	181.50
	20～199 床	27	0	4012.5	516.37	13942.01	823.90
	200～499 床	25	0	14887.49	3591.19	89779.84	3703.20
	500床 以上	11	6358	42510	14320.85	157529.36	10916.86
	全体	75	0	42510	3498.13	262359.7	6582.97

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5-1) 血漿交換療法におけるアルブミン製剤の使用量(小数第二位)/単位	0～19 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	24	0	10	0.42	10	2.04
	200～499 床	23	0	1401	87.00	2001	301.79
	500床 以上	10	0	8552	1505.23	15052.34	2706.33
	全体	67	0	8552	254.68	17063.34	1144.21
(5-2) アルブミン製剤を用いた血漿交換療法の回数(整数)/回	0～19 床	10	0	0	0.00	0	0.00
	20～199 床	24	0	8	0.54	13	1.89
	200～499 床	23	0	25	1.87	43	5.75
	500床 以上	8	0	75	24.38	195	24.88
	全体	65	0	75	3.86	251	11.87
(6) FFP/RBC 比 ((2) - (3-1)/2) / (1) = (小数第二位)	0～19 床	9	0	12	2.01	18.11	4.24
	20～199 床	24	0	0.83	0.10	2.38	0.18
	200～499 床	27	0	0.62	0.18	4.95	0.17
	500床 以上	11	0.09	0.8	0.45	4.97	0.21
	全体	71	0	12	0.43	30.41	1.57
(7) アルブミン/RBC 比 ((4) - (5-1)) / (1) = (小数第二位)	0～19 床	9	0	106.66	12.10	108.86	35.47
	20～199 床	25	0	5.78	0.95	23.75	1.21
	200～499 床	24	0	4	1.03	24.77	0.80
	500床 以上	10	0.61	2.7	1.27	12.7	0.64
	全体	68	0	106.66	2.50	170.08	12.86

2-14. 2-11 で「(1) 輸血管管理料Ⅰを取得している」、「(2) 輸血管管理料Ⅱを取得している」と回答した施設に伺います。輸血適正使用加算取得の有無について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血適正使用加算を取得していない	2	66.67%	20	76.92%	21	72.41%	8	61.54%	51	71.83%
2	輸血適正使用加算を取得している	1	33.33%	6	23.08%	8	27.59%	5	38.46%	20	28.17%
	回答施設合計	3		26		29		13		71	

2-15. 2-14 で「(2) 輸血適正使用加算を取得していない」と回答した施設にうかがいます。取得できない理由として当てはまるもの全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	FFP/RBCの基準をクリアできない	0	0.00%	4	66.67%	7	87.50%	5	100.00%	16	80.00%
2	ALB/RBCの基準をクリアできない	0	0.00%	1	16.67%	4	50.00%	2	40.00%	7	35.00%
3	その他	1	100.00%	1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	2	10.00%
	回答施設合計	1		6		8		5		20	

「その他」の場合

- ・輸血部門に臨床検査技師が配属されていない
- ・条件を把握していない

2-16. 2-11 で「（１）輸血管管理料Ⅰを取得している」と回答し、かつ 2-15 で「（１）FFP/RBC の基準をクリアできない」と回答した施設にうかがいます。2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で基準をクリアできない原因となる病態・治療法に当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	大量出血（外傷，産科大量出血，(2)～(6)以外の術中大量出血）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
2	心臓血管外科手術（移植を除く）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
3	肝・胆・膵手術（移植を除く）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
4	肝移植	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
5	心臓移植	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
6	肺移植	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
7	血漿交換治療（PE）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		1		1	

2-17. 2-16 で選択した項目の 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間の症例数、FFP と RBC の使用単位数を記入ください 回答なし

2-18. 2-11 で「（１）輸血管管理料Ⅰを取得している」と回答し、かつ 2-15 で「（２）ALB/RBC の基準をクリアできない」と回答した施設にうかがいます。2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間でその基準をクリアできない原因となる病態・治療法に当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	出血性ショック	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
2	人工心肺を使用する心臓手術	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
3	肝硬変に伴う難治性腹水	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
4	重症熱傷	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
5	肝移植	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
6	腎移植	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
7	血漿交換療法（PE）	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		1		1	

2-19. 2-18 で選択した項目の 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間の症例数、アルブミンと RBC の使用単位数を記入ください 回答なし

2-20. 貯血式自己血輸血管管理体制加算の取得の有無について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取得している	0	0.00%	2	4.08%	1	3.57%	5	41.67%	8	6.61%
2	取得する予定	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	0.83%
3	取得する予定なし	32	100.00%	47	95.92%	27	96.43%	6	50.00%	112	92.56%
	回答施設合計	32		49		28		12		121	

4-3) 血液粘弾性検査について

2-21. 施設内で血液粘弾性検査（トロンボエラストメトリー）を周術期に行っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	0	0.00%	1	2.86%	5	41.67%	6	3.95%
2	行っていない	39	100.00%	66	100.00%	34	97.14%	7	58.33%	146	96.05%
	回答施設合計	39		66		35		12		152	

2-22. 血液粘弾性検査を行う機器を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ROTEM	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	25.00%	2	40.00%
2	TEG 6s	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%	3	60.00%
3	Sonoclot	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-23. 血液粘弾性検査を行う機器の設置場所として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	手術室	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	3	75.00%	4	80.00%
2	ICU等	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	検査部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	輸血部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-24. 血液粘弾性検査を行う診療科を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	心臓血管外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	4	100.00%	5	100.00%
2	産婦人科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	2	40.00%
3	救急科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	肝胆膵外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
5	麻酔科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	2	50.00%	3	60.00%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

「その他」の場合

・脳外科

2-25. 施設内で1週間に行う血液粘弾性検査のおおよその回数として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0-30回	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	3	100.00%	4	100.00%
2	31-60回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	61-90回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	91-120回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	121回以上	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

2-26. 血液粘弾性検査の結果の共有方法として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	紙カルテ／電カルテで共有している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	3	75.00%
2	共有していない	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	25.00%
3	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

2-27. 凝固検査用 POCT 機器（CG02N、COAG2N、FibCare など）を導入されていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	1	2.44%	6	9.68%	1	3.13%	3	30.00%	11	7.59%
2	導入していない	40	97.56%	56	90.32%	31	96.88%	7	70.00%	134	92.41%
	回答施設合計	41		62		32		10		145	

4-4) 大量出血時の輸血について

2-28. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で大量出血のため 24 時間以内に赤血球製剤 10 単位以上輸血した症例はありましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	11	16.42%	23	65.71%	13	100.00%	47	29.75%
2	なかった	43	100.00%	56	83.58%	12	34.29%	0	0.00%	111	70.25%
	回答施設合計	43		67		35		13		158	

2-29. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に使用する製剤として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	新鮮凍結血漿のみ	0	0.00%	10	100.00%	18	78.26%	6	50.00%	34	75.56%
2	新鮮凍結血漿＋クリオプレシピテート	0	0.00%	0	0.00%	3	13.04%	2	16.67%	5	11.11%
3	新鮮凍結血漿＋フィブリノゲン濃縮製剤	0	0.00%	0	0.00%	2	8.70%	3	25.00%	5	11.11%
4	新鮮凍結血漿＋クリオプレシピテート、または新鮮凍結血漿＋フィブリノゲン濃縮製剤	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	2.22%
	回答施設合計	0		10		23		12		45	

2-30. 2-29 で「(2)～(4)」と回答した施設では、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の投与基準を決めていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	決めている	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%	4	80.00%	5	50.00%
2	決めていない	0	0.00%	0	0.00%	4	80.00%	1	20.00%	5	50.00%
	回答施設合計	0		0		5		5		10	

2-31. 2-30 で「(1) 決めている」と回答した施設は、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の投与基準を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 出血量(mL)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体						
(2) PT 値(%)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上						
	全体						
(3)フィブリノゲン値 (mg/dL)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	150	150	150.00	150	
	500床 以上	4	100	150	125.00	500	28.87
	全体	5	100	150	130.00	650	27.39

2-32. 2-29 で「(2)および(4)」と回答した施設は、2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で作成し使用したクリオプレシピテートの、調製用製剤となった血漿製剤の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-120製剤)／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0	0	
	500床 以上	3	0	0	0	0	
	全体	6	0	0	0	0	
(2) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-240製剤)／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0	0	
	500床 以上	3	0	0	0	0	
	全体	6	0	0	0	0	
(3) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-480製剤)／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	20	48	36.33	109	14.57
	500床 以上	3	60	318	171.33	514	132.58
	全体	6	20	318	103.83	623	112.18
(4) 合計／袋(本)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	20	48	36.33	109	14.57
	500床 以上	3	60	318	171.33	514	132.58
	全体	6	20	318	103.83	623	112.18

2-33. 2-29 で「(2)～(4)」と回答した施設は、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の 1 回あたりの投与量を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) クリオプレシピテート/バック	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	4	0	41	11.75	47	19.55
	500床 以上	3	2	3	2.33	7	0.58
	全体	7	0	41	7.71	54	14.72
2) フィブリノゲン濃縮製剤/g	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	3	1.00	3	1.73
	500床 以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	4	0	3	1.00	4	1.41

2-34. 2-29 で「(2)～(4)」と回答した施設は、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤を使用する診療科と 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間での件数を記入してください

クリオプレシピテート使用件数(件)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 心臓血管外科(小児を含む)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	4	0	41	12.00	48	19.44
	500床 以上	2	11	46	28.50	57	24.75
	全体	6	0	46	17.50	105	20.54
(2) 産科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	4	1.67	5	2.08
	500床 以上	1	2	2	2.00	2	
	全体	4	0	4	1.75	7	1.71
(3) 救命救急	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	8	8	8.00	8	
	全体	3	0	8	2.67	8	4.62
(4) 肝胆膵外科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	1	0.67	2	0.58
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	1	0.50	2	0.58
(5) 血液内科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	3	0	0	0.00	0	0.00
(6) その他	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	3	1.67	5	1.53
	500床 以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	4	0	3	1.50	6	1.29

フィブリノゲン濃縮製剤使用件数(件)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 心臓血管外科(小児を含む)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(2) 産科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(3) 救命救急	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(4) 肝胆膵外科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(5) 血液内科	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(6) その他	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	3	0	0	0.00	0	0.00
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00

「その他」の場合

- ・ 消化器
- ・ 内科
- ・ 腎臓内科、消化器内科

2-35. 貴院では MTP (Massive transfusion protocol) を実施していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	0	0.00%	2	5.88%	3	25.00%	5	3.33%
2	導入していない	40	100.00%	64	100.00%	32	94.12%	9	75.00%	145	96.67%
	回答施設合計	40		64		34		12		150	

2-36. MTP (Massive transfusion protocol) をオーダーリングで運用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	運用している	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	33.33%	2	40.00%
2	運用していない	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	2	66.67%	3	60.00%
	回答施設合計	0		0		2		3		5	

2-37. MTP を対象としている部署について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	救急外来(初療室)	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	3	100.00%	4	100.00%
2	手術室	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%	2	50.00%
3	分娩室	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	25.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

2-38. MTP を導入して問題となっていることを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	製剤の廃棄率の増加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	25.00%
2	不適切な使用(適応外使用)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	50.00%
3	人員確保	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	50.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	25.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

4-5)移植に伴う輸血について

2-39. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に肝移植、肺移植、心臓移植、腎移植、膵移植、小腸移植を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	36.36%	4	2.58%
2	行わなかった	41	97.62%	66	98.51%	35	100.00%	7	63.64%	149	96.13%
3	わからない	1	2.38%	1	1.49%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.29%
	回答施設合計	42		67		35		11		155	

2-40. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間での移植（肝移植、肺移植、心臓移植、腎移植、膵移植、小腸移植）例で術中に輸血を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	100.00%	4	100.00%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		4		4	

2-41. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で術中輸血をした肝移植、肺移植、心臓移植、腎移植、脾移植、小腸移植の各件数と各製剤の使用量を記入してください

- (1) 肝移植（小児 生体）回答なし
- (2) 肝移植（小児 脳死）回答なし
- (3) 肝移植（成人 生体）回答なし
- (4) 肝移植（成人 脳死）回答なし
- (5) 肺移植（小児 生体）回答なし
- (6) 肺移植（小児 脳死）回答なし
- (7) 肺移植（成人 生体）回答なし
- (8) 肺移植（成人 脳死）回答なし
- (9) 心臓移植（小児）回答なし
- (10) 心臓移植（成人）

(10) 心臓移植(成人)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
手術件数／件	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	6	3	6	4.24
	全体	2	0	6	2	6	4.24
赤血球製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0	0	0
	全体	2	0	0	0	0	0
血小板製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0	0	0
	全体	2	0	0	0	0	0
血漿製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0	0	0
	全体	2	0	0	0	0	0
アルブミン製剤／g	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0	0	0
	全体	2	0	0	0	0	0

- (11) 腎移植（小児 献腎）回答なし
- (12) 腎移植（小児 生体）回答なし

(13) 腎移植 (成人 献腎)

(13) 腎移植(成人 献腎)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
手術件数／件	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	1	0.50	1	0.71
	全体	2	0	1	0.50	1	0.71
赤血球製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	6	3.00	6	4.24
	全体	2	0	6	3.00	6	4.24
血小板製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	
血漿製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	8	4.00	8	5.66
	全体	2	0	8	4.00	8	5.66
アルブミン製剤／g	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	1	0	0	0.00	0	

(14) 腎移植（成人 生体）

(14) 腎移植(成人 生体)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
手術件数／件	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	8	4.00	8	5.66
	全体	2	0	8	4.00	8	5.66
赤血球製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	20	10.00	20	14.14
	全体	2	0	20	10.00	20	14.14
血小板製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	
血漿製剤／単位	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	2	0	26	13.00	26	18.38
	全体	2	0	26	13.00	26	18.38
アルブミン製剤／g	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床						
	500床 以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	1	0	0	0.00	0	

(15) 臍移植（臍腎同時移植）回答なし

(16) 臍移植（腎移植後臍移植）回答なし

(17) 臍移植（臍単独移植）回答なし

(18) 小腸移植 回答なし

4-6) 血漿交換療法が保険適応となる疾患に対する治療法について

2-42. 血漿交換療法が保険適応の疾患に対して、アルブミンを置換液とした血漿交換を行っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	0	0.00%	4	12.12%	7	63.64%	11	7.33%
2	行っていない	40	100.00%	66	100.00%	29	87.88%	4	36.36%	139	92.67%
	回答施設合計	40		66		33		11		150	

2-43. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間でアルブミンを置換液とした血漿交換を実施した適応疾患の件数と総使用グラム数を記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 重症筋無力症	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	6	1.60	8	2.61
		全体	7	0	6	1.14	8	2.27
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	1140	333.00	1665	505.17
		全体	7	0	1140	237.86	1665	443.32
(2) 多発性硬化症	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	1	0.40	2	0.55
		全体	7	0	1	0.29	2	0.49
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床						
		500床 以上	5	0	400	115.00	575	176.42
		全体	5	0	400	82.14	575	154.59
(3) 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	1	0.20	1	0.45
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	437.5	87.50	437.5	195.66
		全体	7	0	437.5	54.69	437.5	165.36
(4) ギラン・バレー症候群	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	3	0	3	1.00	3	1.73
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	8	0	3	0.38	3	1.06
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	3	0	300	100.00	300	173.21
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	8	0	300	37.50	300	106.07
(5) 天疱瘡	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	2	0.40	2	0.89
		全体	7	0	2	0.29	2	0.76
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	260	52.00	260	116.28
		全体	7	0	260	37.14	260	98.27

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(6) 類天疱瘡	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(7) 中毒性皮膚壊死症	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(8) スティーブンス・ジョンソン症候群	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	2	0.40	2	0.89
		全体	7	0	2	0.29	2	0.76
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	225	45.00	225	100.62
		全体	7	0	225	32.14	225	85.04
(9) 多発性骨髄腫	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(10) マクログロブリン血症	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(11) 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	5	1.00	5	2.24
		全体	7	0	5	0.71	5	1.89
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	2000	400.00	2000	894.43
		全体	7	0	2000	285.71	2000	755.93
(12) 溶血性尿毒症症候群	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(13) インヒビターを有する血友病	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(14) 術後肝不全	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(15) 急性肝不全(劇症肝炎)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(16) 慢性 C 型ウイルス肝炎	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(17) 巣状糸球体硬化症	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(18) 抗糸球体基底膜抗体型 急速進行性糸球体 腎炎(抗 GBM 抗体型 RPGN)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	1	0.20	1	0.45
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	225	45.00	225	100.62
		全体	7	0	225	32.14	225	85.04
(19) 抗白血球細胞質抗体型 急速進行性糸球体 腎炎 (ANCA 関連 RPGN)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	1	0.50	1	0.71
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	80	40.00	80	56.57
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	80	11.43	80	30.24
(20) ABO 血液型不適合もし くは抗リンパ球抗体陽性の同 種腎移植	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	6	1.80	9	2.68
		全体	7	0	6	1.29	9	2.36
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	812.5	285.00	1425	396.61
		全体	7	0	812.5	203.57	1425	352.43

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(21) ABO 血液型不適合もしくは抗リンパ球抗体陽性の同種肝移植	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(22) 家族性高コレステロール血症(FH)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(23) 閉塞性動脈硬化症(ASO)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(24) 全身性エリテマトーデス(SLE)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(25) 悪性関節リウマチ(MRA)	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(26) 川崎病	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(27) 重度血液型不適合妊娠	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(28) 薬物中毒	件数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

2-44. 血漿交換療法が保険適応の疾患に対して、FFP を置換液とした血漿交換を行っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	2	3.13%	8	25.00%	8	66.67%	18	12.24%
2	行っていない	39	100.00%	62	96.88%	24	75.00%	4	33.33%	129	87.76%
	回答施設合計	39		64		32		12		147	

2-45. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で FFP を置換液とした血漿交換を実施した適応疾患の件数と総使用単位数を記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 重症筋無力症	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	6	1.50	6	3.00
		全体	10	0	6	0.60	6	1.90
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	36	9.00	36	18.00
		全体	10	0	36	3.60	36	11.38

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(2) 多発性硬化症	件数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	5	0	1	0.20	0.45
		全体	11	0	1	0.09	0.30
	総使用グラム数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	5	0	140	28.00	62.61
		全体	11	0	140	12.73	42.21
(3) 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)	件数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	6	0	3	0.50	1.22
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	0	0	3	0.27	0.90
	総使用グラム数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	6	0	78	13.00	31.84
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	11	0	78	5.00	23.52
(4) ギラン・バレー症候群	件数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00
	総使用グラム数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00
(5) 天疱瘡	件数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00
	総使用グラム数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00
(6) 類天疱瘡	件数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00
	総使用グラム数	0～19 床					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0
		200～499 床	5	0	0	0.00	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(7) 中毒性皮膚壊死症	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(8) スティーブンス・ジョンソン症候群	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(9) 多発性骨髄腫	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(10) マクログロブリン血症	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(11) 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	1	0.20	1	0.45
		500床 以上	4	0	8	3.25	13	3.59
		全体	10	0	8	1.36	14	2.63
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	60	12.00	60	26.83
		500床 以上	4	0	328	162.00	648	137.11
		全体	10	0	328	70.80	708	112.96

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(12) 溶血性尿毒症症候群	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(13) インヒビターを有する 血友病	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(14) 術後肝不全	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	1	0.40	2	0.55
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	1	0.27	2	0.42
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	360	90.00	450	155.88
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	360	45.00	450	114.24
(15) 急性肝不全(劇症肝炎)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	1	0.40	2	0.55
		500床 以上	4	0	13	7.00	28	6.48
		全体	10	0	13	3.00	30	5.10
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	308	66.40	332	135.46
		500床 以上	4	0	402	199.50	798	188.68
		全体	10	0	402	113.00	1130	161.16
(16) 慢性 C 型ウイルス肝炎	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(17) 巣状糸球体硬化症	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床	0					
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(18) 抗糸球体基底膜抗体型 急速進行性糸球体 腎炎 (抗 GBM 抗体型 RPGN)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	5	1.00	5	2.24
		500床 以上	5	0	1	0.20	1	0.45
		全体	11	0	5	0.55	6	1.51
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	512	102.40	512	228.97
		500床 以上	5	0	84	16.80	84	37.57
		全体	11	0	512	54.18	596	153.92
(19) 抗白血球細胞質抗体型 急速進行性糸球体 腎炎 (ANCA 関連 RPGN)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	3	0.60	3	1.34
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	3	0.30	3	0.95
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	112	22.40	112	50.09
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	112	11.20	112	35.42
(20) ABO 血液型不適合もし くは抗リンパ球抗体陽性の同 種腎移植	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	1	1	1.00	1	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	1	0.10	1	0.32
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	64	64	64.00	64	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	64	6.40	64	20.24
(21) ABO 血液型不適合もし くは抗リンパ球抗体陽性の同 種肝移植	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(22) 家族性高コレステロール血症(FH)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(23) 閉塞性動脈硬化症(ASO)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(24) 全身性エリテマトーデス(SLE)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	4	1.00	5	1.73
		全体	11	0	4	0.45	5	1.21
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	5	0	112	43.20	216	59.22
		全体	11	0	112	19.64	216	43.72
(25) 悪性関節リウマチ(MRA)	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(26) 川崎病	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(27) 重度血液型不適合妊娠	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	0	0.00	0	0.00
		全体	10	0	0	0.00	0	0.00
(28) 薬物中毒	件数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	1	0.25	1	0.50
		全体	10	0	1	0.10	1	0.32
	総使用グラム数	0～19 床						
		20～199 床	1	0	0	0.00	0	
		200～499 床	5	0	0	0.00	0	0.00
		500床 以上	4	0	32	8.00	32	16.00
		全体	10	0	32	3.20	32	10.12

4-7) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

2-46. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に、下記の参考資料 6 に示す、成分採血・細胞処理・凍結・保存・保管を輸血部または関連する部門で行いましたか

【参考資料 6：該当する項目】

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| (1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞 | (2) 自家末梢血幹細胞 |
| (3) ドナーリンパ球（アフエレーシス法） | (4) 顆粒球採取（アフエレーシス法） |
| (5) 自己リンパ球（アフエレーシス法） | |

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	7	20.00%	8	61.54%	15	9.68%
2	行わなかった	40	100.00%	67	100.00%	28	80.00%	5	38.46%	140	90.32%
	回答施設合計	40		67		35		13		155	

2-47. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血部または関連する部門で、血縁および非血縁末梢血幹細胞採取を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%	5	71.43%	7	53.85%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	4	66.67%	2	28.57%	6	46.15%
	回答施設合計	0		0		6		7		13	

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)		0～19 床						
		20～199 床						
		200～499 床	2	6	20	13.00	26	9.90
		500床 以上	4	2	13	7.25	29	4.50
		全体	6	2	20	9.17	55	6.37

2-48. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血部または関連する部門で、自家末梢血幹細胞採取を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0	0	0		6		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	4	2	11	6.00	24	4.24
	500床 以上	6	1	45	16.50	99	15.04
	全体	10	1	45	12.30	123	12.69

2-49. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血部または関連する部門で、ドナーリンパ球採取（アフエレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	0	0.00%	1	7.69%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%	7	100.00%	12	92.31%
	回答施設合計	0		0		6		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	1	6	6	6	6	
	500床 以上						
	全体	1	6	6	6	6	

2-50. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に月の期間に輸血部または関連する部門で、顆粒球採取（アフエレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
	回答施設合計	0		0		6		7		13	

2-51. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血部または関連する部門で、自己リンパ球（アフエレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
	回答施設合計	0		0		6		7		13	

2-52. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に輸血部または関連する部門で、輸血部または関連する部門で細胞の凍結処理・保管管理を行いましたか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%	6	85.71%	11	84.62%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	1	14.29%	2	15.38%
	回答施設合計	0		0		6		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0～19 床						
	20～199 床						
	200～499 床	5	2	27	11.40	57	10.11
	500床 以上	5	1	58	21.80	109	21.88
	全体	10	1	58	16.60	166	16.98

2-53. 成分採血・細胞処理・凍結保存・保管に関する標準作業手順書（SOP）を作成・使用していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%	7	87.50%	10	71.43%
2	していない	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%	1	12.50%	4	28.57%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

2-54. 成分採血・細胞処理・凍結保存・保管に関する作業工程の記録をしていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%	7	87.50%	10	71.43%
2	していない	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%	1	12.50%	4	28.57%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

2-55. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に実施された成分採血で、連続成分採血装置の主な操作者の職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	0	0.00%	2	33.33%	1	12.50%	3	21.43%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	1	7.14%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	3	50.00%	4	50.00%	7	50.00%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	2	25.00%	3	21.43%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

2-56. 2022 年 4 月～2023 年 3 月までの期間に実施された成分採血で、血管穿刺の主な操作者の職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%	6	75.00%	12	85.71%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	1	7.14%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	1	7.14%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

2-57. 2022 年 4 月～2023 年 3 月までの期間に実施された成分採血で、静脈路への接続について
主に関わる職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	0	0.00%	5	83.33%	6	75.00%	11	78.57%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	1	7.14%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	1	16.67%	1	12.50%	2	14.29%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

2-58. 2022 年 4 月～2023 年 3 月までの期間に実施された成分採血で、静脈路からの抜針・止血
について主に関わる職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	0	0.00%	6	100.00%	4	50.00%	10	71.43%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	25.00%	2	14.29%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	25.00%	2	14.29%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		6		8		14	

4-8) 細胞治療（再生医療等製品）に関する実施状況調査

2-59. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間に下記参考資料 7 に示す、再生医療等製品を用いた細胞治療を行いましたか

【参考資料 7：該当する再生医療等製品】

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| (1) ヒト（同種）骨髄由来間葉系幹細胞 | 『テムセル HS 注』 |
| (2) ヒト（自己）骨格筋由来細胞シート | 『ハートシート』 |
| (3) ヒト（自己）表皮由来細胞シート | 『ジェイス』 |
| (4) ヒト（自己）軟骨由来組織 | 『ジャック』 |
| (5) ヒト（自己）骨髄由来 間葉系幹細胞 | 『ステミラック注』 |
| (6) チサゲンレクルユーセル | 『キムリア点滴静注』 |
| (7) ヒト（自己）角膜輪部由来角膜上皮細胞シート | 『ネピック』 |
| (8) アキシカブタゲン シロルユーセル | 『イエスカルタ点滴静注』 |
| (9) リソカブタゲン マラルユーセル | 『ブレヤンジ静注』 |
| (10) ヒト（自己）口腔粘膜由来上皮細胞シート | 『オキュラル』 |
| (11) ダルバドストロセル | 『アロフィセル注』 |
| (12) ヒト羊膜基質使用ヒト（自己）口腔粘膜由来上皮細胞シート | 『サクラシー』 |
| (13) イデカブタゲン ビクルユーセル | 『アベクマ点滴静注』 |
| (14) シルタカブタゲン オートルユーセル | 『カービクティ点滴静注』 |
| (15) メラノサイト含有ヒト（自己）表皮由来細胞シート | 『ジャスミン』 |
| (16) ネルテペンドセル | 『ビズノバ』 |

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	1	2.94%	4	36.36%	5	3.27%
2	行わなかった	40	100.00%	68	100.00%	33	97.06%	7	63.64%	148	96.73%
	回答施設合計	40		68		34		11		153	

2-60. 2022 年 4 月～2023 年 3 月の期間で使用した再生医療等製品を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ヒト(同種) 骨髄由来間葉系幹細胞『テムセル HS 注』	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	4	100.00%	5	100.00%
2	ヒト(自己) 骨格筋由来細胞シート『ハートシート』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	ヒト(自己) 表皮由来細胞シート『ジェイス』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	ヒト(自己) 軟骨由来組織『ジャック』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	ヒト(自己) 骨髄由来 間葉系幹細胞『ステミラック注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	チサゲンレクルユーセル『キムリア点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
7	ヒト(自己) 角膜輪部由来角膜上皮細胞シート『ネビック』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	アキシカブタゲン シロルユーセル『イエスカルタ点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	リソカブタゲン マラルユーセル『ブレヤンジ静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
10	ヒト(自己) 口腔粘膜由来上皮細胞シート『オキュラル』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
11	ダルバドストロセル『アロフィセル注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
12	ヒト羊膜基質使用ヒト(自己) 口腔粘膜由来上皮細胞シート『サクラシー』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
13	イデカブタゲン ビクルユーセル『アベクマ点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
14	シルタカブタゲン オートルユーセル『カービクティ点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
15	メラノサイト含有ヒト(自己) 表皮由来細胞シート『ジャスミン』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
16	ネルテペンドセル『ビズノバ』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-61. 再生医療等製品の投与記録を管理していますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	管理している	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	4	100.00%	5	100.00%
2	管理していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-62. 院内で投与記録の管理を担当する部署として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	2	50.00%	3	60.00%
2	事務部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	薬剤部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
4	その他の部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	20.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-63. 再生医療等製品の調製担当者として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部医師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	診療科医師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	2	40.00%
3	検査技師	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	2	50.00%	3	60.00%
4	薬剤師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

2-64. 調製担当者は、認定細胞治療管理師の資格を持っていますか

番号	項目	0～19 床		20～199 床		200～499 床		500床 以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	持っている	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	25.00%	2	40.00%
2	持っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%	3	60.00%
	回答施設合計	0		0		1		4		5	

4-9) その他

2-65. 赤十字血液センターについてご意見があれば記入してください

- ・"web 発注のシステムを使いやすく改修してほしい。
- ・特に PC の発注一覧のソートを発注日で縛れるようにしてほしい。"
- ・特記事項なし
- ・特になし
- ・新生児への輸血の際に製剤を院内で分割していますが、無菌接合装置で接合する際にバッグと第一セグメントまでの距離が短く(特に血小板製剤)、1度失敗すると再接合が難しいです。可能であればチューブに記載されたロット番号1つ分長くして欲しいです。
- ・千葉県血液センター供給課はとても対応が悪い。大病院に対しては丁寧に対応しているようだが、施設により態度が異なるようだ。
- ・輸血の知識を深めたいので、Web 等で勉強会など開催して欲しい。
- ・午前便の発注締め切り時間を過ぎて、午後便では間に合わない依頼が出た場合、午前便の配送車の持ち合わせ分を届けてもらうことがあり、とても助かっております。
- ・常日頃より無理な要望にもレスポンス良くご対応いただいて感謝申し上げます
- ・"Web 発注になってから CSV ファイルでデータ抽出が行えるようになり血液製剤購入数の把握がしやすくなりました。
- ・1単位製剤に変更可のチェック欄のようながあると助かります。こちらでもコメント記載するように心がけていますが、忘れてしまい血液センターから電話が来ることがあります。時間的に忙しいことも多くありますのでチェック欄で毎回選択できるようにしていただけたらいいと思います。"
- ・いつも大変お世話になっております。今後もよろしくお願い致します。

2-64. 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会についてご意見があれば記入してください

- ・アルブミン以外の血漿分画製剤を管理している薬剤部より、毎年この調査に膨大な時間と手間をかけているが供給量などの改善が全く見られないとの意見をもらいました。来年度からの調査の協力について考え直したいということです
- ・特になし
- ・ここ2年位実態調査の配達物が検査部に届かないので、配達先を輸血部ではなく検査部に変更して頂きたいです。
- ・アンケート量が多くかなりの時間を費やすため、質問を減らしてください。
- ・輸血の知識を深めたいので、Web等で勉強会など開催して欲しい。
- ・今後ともご指導よろしくお願い申し上げます
- ・特にありません。